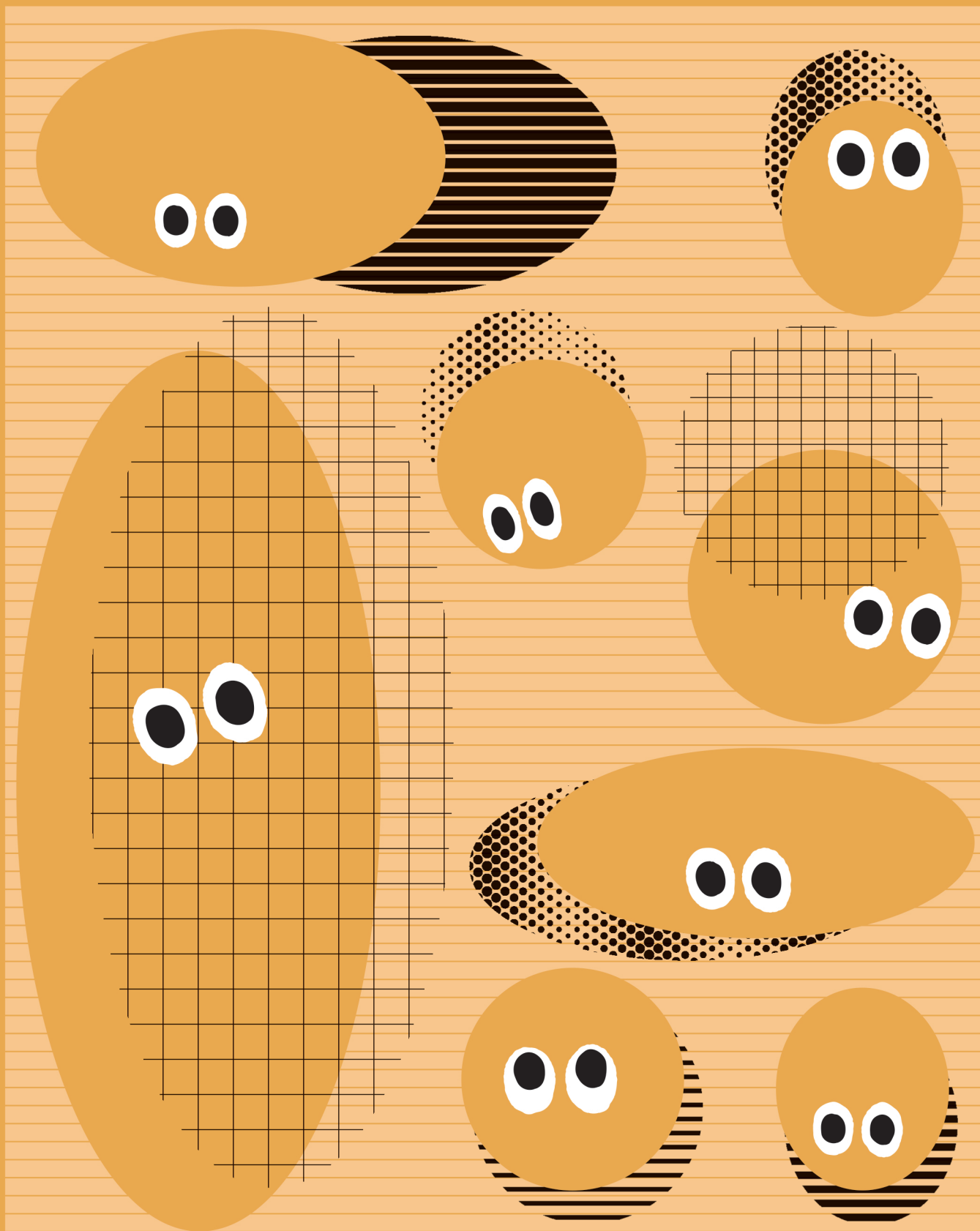
8つのアート1つのハート

日本大学藝術学部

百藝
1921－創設100周年－2021
Nihon University College of Art

NU
Nihon University College of Art
Art

2020年度 受験用 入試案内



Photography Cinema FineArts Music LiteraryArts Theatre Broadcasting Design

Illustration by Natsumi Asai © 2019

日本大学芸術学部教育体系

- 大学院芸術学研究科
  - 博士後期課程
    - 芸術専攻
  - 博士前期課程
    - 文芸学専攻
    - 映像芸術専攻
    - 造形芸術専攻
    - 音楽芸術専攻
    - 舞台芸術専攻

- 芸　術　学　部
  - 写真学科
  - 映画学科
    - 映像表現・理論コース
      - 理論・批評専攻
      - シナリオ専攻
      - 映像専攻
    - 監督コース
    - 撮影・録音コース
      - 撮影専攻
      - 録音専攻
    - 演技コース
  - 美術学科
    - 絵画コース
      - 絵画専攻
      - 版画専攻
    - 彫刻コース
      - 彫刻専攻
      - 地域芸術専攻
  - 音楽学科
    - 作曲・理論コース
      - 作曲
      - 理論
    - 音楽教育コース
    - 声楽コース
    - ピアノコース
    - 弦管打楽コース
      - ヴァイオリン
      - ヴィオラ
      - チェロ
      - コントラバス
      - ギター
      - フルート
      - オーボエ
      - クラリネット
      - ファゴット
      - サクソフォーン
      - ホルン
      - トランペット
      - トロンボーン
      - ユーフォニウム
      - テューバ
      - 打楽器
    - 情報音楽コース
  - 文芸学科
  - 演劇学科
    - 舞台構想コース
      - 劇作専攻
      - 演出専攻
      - 音響専攻
      - 舞台監督専攻
      - 企画制作専攻
    - 演技コース
      - 演技専攻
    - 舞台美術コース
      - 美術専攻
      - 照明専攻
    - 舞踊コース
      - 日舞専攻
      - 洋舞専攻
  - 放送学科
  - デザイン学科

掲載内容について

2019年４月現在の情報を掲載しています。
今後，内容に変更等が発生した場合には，
本学部ホームページにてお知らせします。

入学試験等に関するお問い合わせは…

・入学試験に関する質問
・学部資料請求
・キャンパス見学（69ページ参照）

等については，入試係までお願いします。
また，入試情報等については，ホームページ
でもご覧いただけます。

日本大学芸術学部 入試係

03-5995-8282

〒176-8525　東京都練馬区旭丘2-42-1

（事務取扱時間）
月曜日～金曜日
9：00～17：00
土曜日
9：00～12：00

日本大学芸術学部ホームページ
http://www.art.nihon-u.ac.jp/

日本大学ホームページ
http://www.nihon-u.ac.jp/

日本大学芸術学部
2020年度受験用入試案内

CONTENTS

一部学科の教育組織等変更について ―― 2
日本大学芸術学部　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） 4

一般入学試験
2020年度　一般入学試験について ―― 6
2020年度　一般入学試験 A方式（第１期）概要 ―― 7
2020年度　一般入学試験 A方式（第1期）専門試験（二次試験）実施内容 ― 10
2019年度　一般入学試験 A方式（第１期）結果 ―― 11
2019年度　一般入学試験 A方式（第1期）小論文・作文課題一覧 ― 12
2019年度　一般入学試験 A方式（第１期）実技科目（課題）一覧 ― 13
2020年度　一般入学試験 A方式（第２期）概要 ―― 16
2020年度　一般入学試験 A方式（第2期）専門試験（二次試験）実施内容 ― 18
2019年度　一般入学試験 A方式（第２期）結果 ―― 19
2019年度　一般入学試験 A方式（第２期）小論文・作文課題一覧 ― 20
2019年度　一般入学試験 A方式（第２期）実技科目（課題）一覧 ― 21
2020年度　一般入学試験 N方式（第１期）概要 ―― 23
2019年度　一般入学試験 N方式（第１期）結果 ―― 24

日藝オーディション〈AO入学試験〉
2020年度　日藝オーディション〈AO入学試験〉について ―― 25
2020年度　日藝オーディション〈AO入学試験〉概要 ―― 26
2019年度　日藝オーディション〈AO入学試験〉結果 ―― 30
2019年度　日藝オーディション〈AO入学試験〉科目（課題）一覧 ― 31

一般推薦（公募制）入学試験
2020年度　一般推薦（公募制）入学試験について ―― 37
2020年度　一般推薦（公募制）入学試験概要 ―― 38
2019年度　一般推薦（公募制）入学試験結果 ―― 41
2019年度　一般推薦（公募制）入学試験小論文・作文課題一覧 ― 42
2019年度　一般推薦（公募制）入学試験実技科目（課題）一覧 ― 43

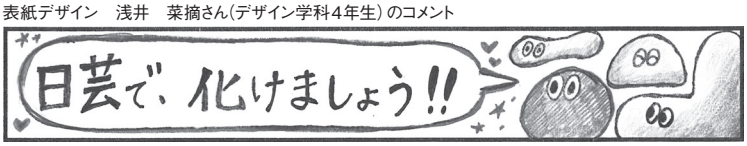
2020年度　その他の入学試験等
外国人留学生・帰国生入学試験，校友子女入学試験 ―― 45
編入学・転部試験／2019年度　編入学・転部試験結果 ―― 46

2020年度　音楽学科入学試験実技課題曲案内 ―― 47

学部Q＆A ―― 51

学部概要
授業等について ―― 60
入学金・授業料等納入金について［昨年度参考］ ―― 61
2019年度　授業科目一覧 ―― 62
卒業制作等，学生の作品発表を見るには… ―― 66
入学後のキャリア形成について　～卒業後の「職」を考える～ ―― 68
校舎案内／キャンパス見学について ―― 69
外部進学相談会について ―― 70

表紙デザイン　浅井　菜摘さん（デザイン学科4年生）のコメント



一部学科の教育組織等変更について

2020 年 4 月入学生（編入学・転部者を除く）から，美術学科及び演劇学科で教育組織等を変更します。美術学科の変更内容については2ページを，演劇学科の変更内容は3ページをそれぞれご覧ください。
なお，記載内容に変更等が生じた場合は，本学部ホームページでお知らせします。

美術学科：絵画コース版画専攻の運用を変更します 彫刻コースに地域芸術専攻を新設します

版画専攻が 1 年生から開講

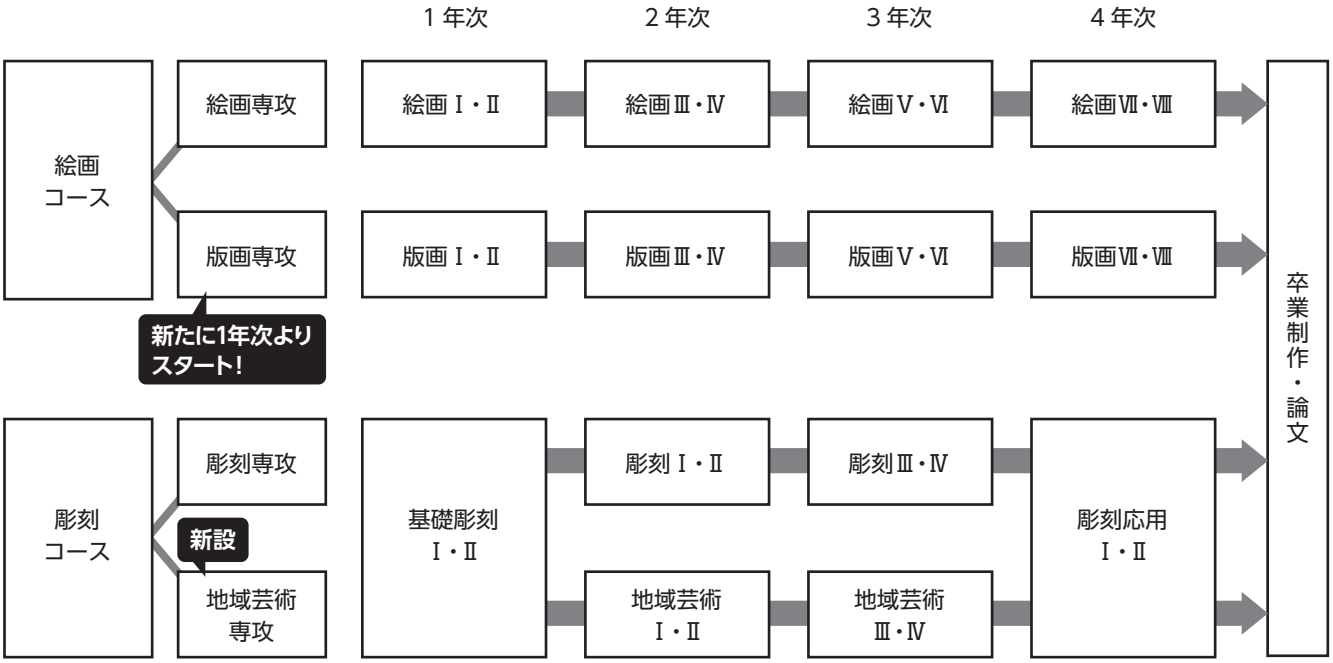
「感性を刺激する」ために，イメージ描写やドローイング，基礎的な素材や色彩にこだわり「紙」と「版表現」の可能性を探ります。そして，「表現を広げる」ために，活版による絵本制作やペンによるイラスト，ポートフォリオ，アートブックなどで，表現を深めていきます。

彫刻コースの中に地域芸術専攻が開講

満を持して地域芸術専攻を新設します。
彫刻コースでは，2004 年より参加している「大地の芸術祭」を中心に，アートの力を信じて日本における社会の問題に，真摯に向かい合っている実績があります。
もちろん，それは簡単なことではありません。しかしながら日本が抱える問題をアートの力で変えていく可能性があることは，少しずつ浸透してきました。こうした社会の動きの中でさらなる継続に向けて，社会や人との関わりを広く持ちたい学生を募集します。アートが開かれた概念であるとすれば，これからの社会に直接関わることのできる素晴らしい体験を身に付けてもらいたいと思います。

美術はさまざまな芸術の中で，歴史的にも大きな役割を担ってきました。そして今，科学技術の進歩や生活革新が急速に進む中，美術も多様な変化を生み出しています。このような変化に伴い，美術学科も彫刻コースの中に地域芸術専攻を新設し，また絵画コースの中にある版画専攻は３年次から１年次に変更し，新たにスタートすることになりました。

※入学試験時に選択した科目によって，専攻が決まります。科目の選択方法は入学試験要項で必ずご確認ください。



演劇学科：現行の8コースから4コース10専攻に改編します

多角的に，未来を，学ぶ。

〈舞台構想コース〉

演劇を構成する諸要素を学び，舞台芸術の未来を構想していくコースです。舞台構想コースには５つの専攻があります。創作の種となる「劇作」，方向性を示し作品を花開かせる「演出」，劇場で耳にする全ての音を管理する「音響」，作品を稽古場から劇場へ導き上演をリードする「舞台監督」，演劇と社会とのつながりを考え実践する「企画制作」。１年次はこれらの分野を多角的に複数学び，２年次に所属専攻を決定します。

To be or not to be…

〈演技コース〉

演技を学ぶコースです。１年次より演技専攻に所属し，専門的な実習授業が始まります。

センスとワザのデザイン

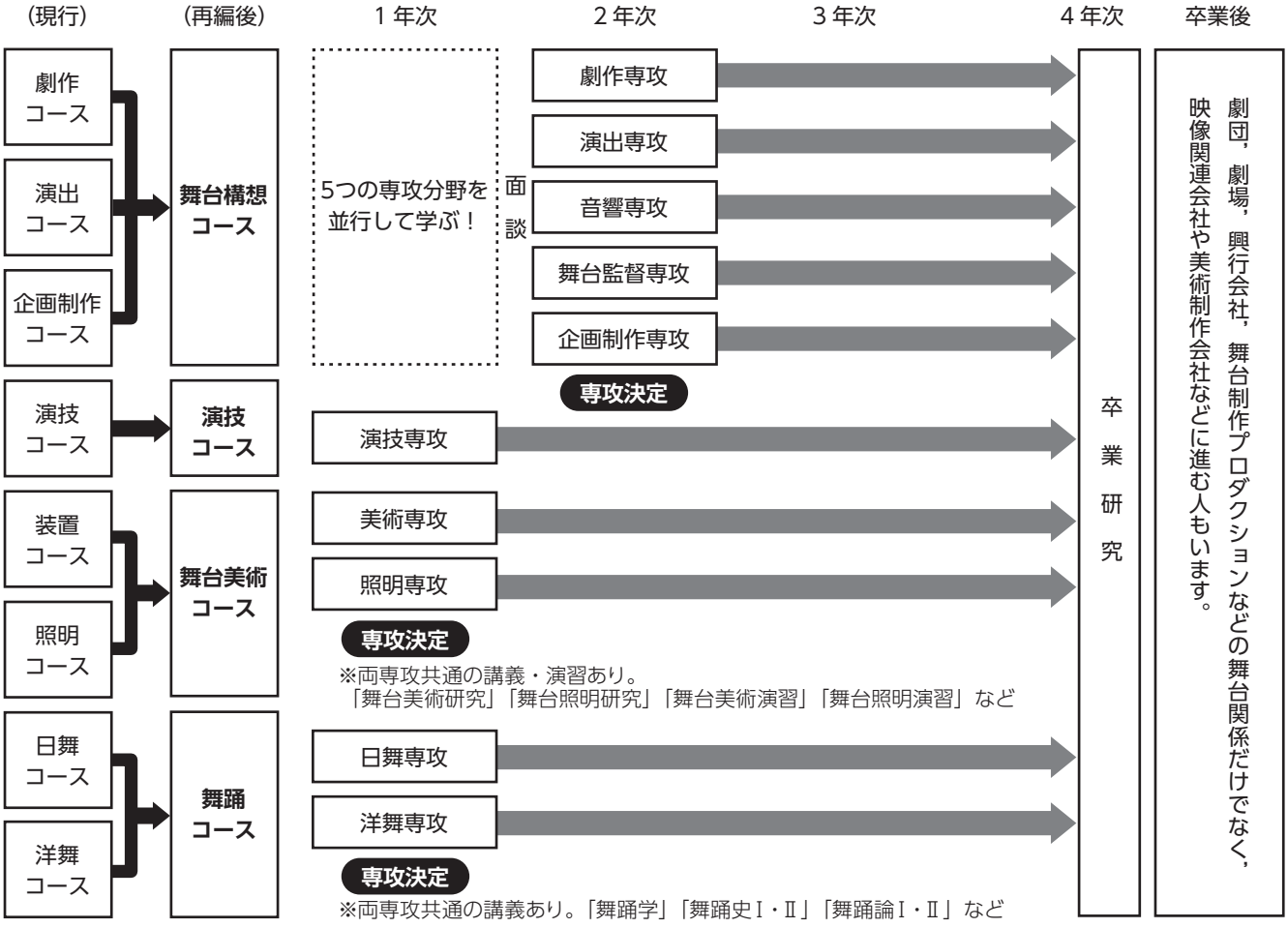
〈舞台美術コース〉

舞台芸術の美術と照明を学ぶコースです。「美術専攻」は，主に舞台装置のデザインや大道具制作等を学ぶ専攻です。「照明専攻」は，主に舞台照明のデザインと技術を学ぶ専攻です。どちらの専攻も１年次より各専攻を選択し，専門的な実習を学びます。一方，両専攻共通の演習授業も開かれ，互いに美術・照明の基礎知識を学ぶことができます。

イマジネーションを育む！ 躍る！

〈舞踊コース〉

古典・クラシックを基盤として，これからの舞踊創造の未来を担う舞踊・ダンスの創作者を育むコースです。１年次より「日舞専攻」「洋舞専攻」にわかれ，創作への道を歩みはじめます。



※全コース共通の講義・演習あり。「演劇概論Ⅰ・Ⅱ」「演劇史Ⅰ・Ⅱ」「演劇基礎演習」など。

日本大学芸術学部　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

日本大学芸術学部では，本学の教育理念である「自主創造」のもと，自ら学び，自ら考え，自ら道をひらく能力を持った人材を育成します。そのため，８つの芸術分野それぞれを強く志す人，創造性が豊かでコミュニケーション能力に富み，芸術全般にわたり強い関心を持つ人，自らが芸術家，クリエイターになることを真剣に考えている人を求めます。

選抜方法として，学部実施の入学試験においては，各学科の特性に基づき，小論文，作文や実技等による専門試験及び面接試験を実施して，受験生の適性や創造性を個別的かつ直接的に審査するよう心掛けています。

以上を踏まえた，各学科における受入れ方針は以下のとおりです。

写真学科では，写真における芸術表現を中心に学習を行うため，写真の歴史や理論を学び，写真表現の技法について考え，報道，広告，ポートレート，芸術等の多様な分野に対応し，それぞれの専門とする写真表現を創造できる人材を求めます。

映画学科では，映画・映像における芸術表現を中心に学習を行うため，映画・映像の歴史や理論を学び，映画・映像表現の技法について考え，それぞれの専門とする映画・映像表現を創造できる人材を求めます。

美術学科では，美術における芸術表現を中心に学習を行うため，美術の歴史や理論を学び，美術表現の技法や活動の在り方について考え，それぞれの専門とする美術表現を創造できる人材を求めます。

音楽学科では，西洋音楽を中心に学習を行うため，音楽の歴史や理論及び技法を学び，音楽表現について考え，それぞれの専門とする音楽表現を創造できる人材を求めます。

文芸学科では，創作，研究，ジャーナリズムにわたる多様な表現活動の学習を行うため，文芸の歴史や理論を基礎教養として学び，文芸史の意義や現代文学の表現方法について考え，次世代を担う文芸表現を創造できる人材を求めます。

演劇学科では，グローバルな視野から，劇場芸術及びそれに関連する実践について学習を行うため，演劇と舞踊の理論や歴史を現代社会とのつながりの中で学び，その技法についても考え，各自の専門とする領域を研究，創造できる人材を求めます。

放送学科では，情報時代の中心的役割を果たす「放送」を深く認識させる学習を行うため，放送に関する歴史や理論を学び，映像や音響，ＣＭの表現について考え，放送を担うにふさわしい自由で豊かな表現を創造できる人材を求めます。

デザイン学科では，デザインにおける思考及び表現を中心に学習を行うため，デザインの歴史や理論を学び，デザイン手法について考え，それぞれの専門とする分野で新たなデザイン表現を創造できる人材を求めます。

日本大学芸術学部では，上記の学部及び学科における入学者受入れ方針に基づき，入学試験においては，試験区分により以下のとおり審査し，評価します。

１　一般入学試験（全学科共通）

一般入学試験では，Ａ方式及びＮ方式においては，学力試験により大学生としての基礎学力到達度を審査します。また，Ａ方式においては，学力試験とともに各学科の特性に基づいた専門試験及び面接試験等を実施して，受験生の適性や創造性を個別的かつ直接的に審査し，評価します。

２　そのほかの入学試験

本学部では，一般入学試験のほかにも，出願資格の異なる多様な入学試験を実施しますが，なかでもＡＯ入学試験は，「日藝オーディション」として，学科ごとに求める学生像を示し，特色ある人材を受入れるよう心掛けています。試験科目については，原則として各入学試験共通のものですが，ＡＯ入学試験については，学科によりほかの入学試験とは異なる選考方法で審査，評価しています。

①写真学科

小論文試験では発想力，論理性，鑑賞力及び考察力を審査し，その創造性を評価します。また，面接試験では写真への情熱，写真を学習する適性及び人間性を審査し，評価します。

なお，ＡＯ入学試験においては実技試験，プレゼンテーション，小論文試験を実施します。実技試験では観察力，発想力及び対応力を，プレゼンテーションでは自己表現力，伝達能力を，小論文試験では論理性，鑑賞力及び考察力をそれぞれ審査し，その創造性を評価します。また，面接試験では写真への情熱，写真を学習する適性及び人間性を審査し，評価します。

②映画学科

小論文試験または実技試験（演技コースのみ）を実施します。小論文試験では論理性及び発想力を，実技試験では資質，技術及び表現力をそれぞれ審査し，その創造性を評価します。また，面接試験では映画を学ぶ意欲，適性及び人間性を審査し，評価します。

なお，ＡＯ入学試験においては，面接試験に加え，実技試験，記述試験，ディベートなどのコース別試験を実施して，各コースに応じた能力を審査し，その創造性を評価します。

③美術学科

実技試験・小論文試験ではこれまでの美術経験，表現力及び発想力を審査し，その創造性を評価します。また，面接試験では美術学習の適性及び人間性を審査し，評価します。

なお，ＡＯ入学試験においては，実技試験または小論文試験及び面接試験を実施して，各コース・専攻に応じた能力や適性を審査し，その創造性を評価します。

④音楽学科

実技試験ではこれまでの音楽経験及び表現力を，またコースにより併せて実施する音楽に関する小論文試験では論理性及び発想力をそれぞれ審査し，その創造性を評価します。また，面接試験では音楽学習の適性及び人間性を審査し，評価します。

⑤文芸学科

想像力と思考力を必要とする出題方法で小論文・作文試験を実施します。小論文試験では論理性及び発想力を，作文試験では語彙力及び表現力をそれぞれ審査し，その創造性を評価します。また，面接試験では志望動機及び適性を審査し，評価します。

⑥演劇学科

コースごとに実技試験と面接試験を実施します。実技試験ではこれまでに培ってきた技術や経験のみならず，表現力と伝達力を，また，面接試験では劇場芸術を学ぶ意欲，適性及び人間性を審査し，評価します。

なお，ＡＯ入学試験においては，他の入学試験で実施する実技試験･面接試験に加えて，作文試験を実施します。作文試験では課題に対する着眼点と表現力を審査し，その創造性を評価します。

⑦放送学科

作文試験では与えられた課題に対する着眼点，構成力及び表現力を審査し，その創造性を評価します。また，面接試験では放送分野を学ぶ上での意欲，適性及び人間性を審査し，評価します。

なお，ＡＯ入学試験においては，実技試験，小論文試験及び面接試験を実施します。実技試験では将来アナウンサーとなる適性を，小論文試験では主として時事問題についての自分の考え方をそれぞれ審査します。また，面接試験では将来アナウンサーとなる上で求められる適性，人間性及び将来性を審査し，評価します。

⑧デザイン学科

実技試験では観察力，表現力及び発想力を審査し，その創造性を評価します。また，面接試験ではデザイン学習の適性及び人間性を審査し，評価します。

なお，ＡＯ入学試験においては，実技試験，プレゼンテーション及び面接試験を実施します。実技試験では観察力，表現力及び発想力を，プレゼンテーションでは自己表現力及び伝達力をそれぞれ審査し，その創造性を評価します。また，面接試験ではデザインへの情熱，デザインを学習する適性及び人間性を審査し，評価します。

以　上

2020年度　一般入学試験について

2月・3月で3回入学試験を実施します！

芸術学部独自に実施する２回の入学試験（A方式）と日本大学の統一入学試験（N方式）があり，一般入学試験は，２月にN方式（第１期）とA方式（第１期），３月にA方式（第２期）と，３回実施します。

A方式（第1期・第2期）とN方式（第1期）の違いについて

比較項目	A方式（第１期・第２期）	N方式（第１期）
方　式	**本学部が独自に実施する試験**です。 学科により試験期日が設定されます。	**日本大学が同一試験日に実施する試験**です。 ※実施学科（コース）については，23ページ参照
試験場	**本学部校舎**で実施します。	**全国各地**の会場で実施します。
併　願	第１期は，**受験学科により併願が可能です**（７ページ参照）。 第２期は，全学科同一日程のため**併願できません**。	**日本大学の複数学部（学科）や，本学部内の複数学科の併願が可能**です。
試験科目	**学力試験**（外国語・国語）及び各学科の**専門試験**（学科・コースにより科目は異なります）を実施します。	学科指定の試験科目（**学力試験**）のみ実施します。 各学科の**専門試験は実施しません。**

一般入学試験の流れ

【一般入学試験要項の入手】
2019年10月頃に日本大学ホームページ上で公開する予定です。

【出　願】
2020年１月５日（日）より，日本大学入試センターで郵送受付を開始します（試験により出願締切日は異なります）。

【入学試験 N方式（第１期）】
2020年２月１日（土）
全学科で実施
ただし，音楽学科は作曲・理論，弦管打楽，情報音楽コースのみ，演劇学科は舞台構想コースのみ実施

【入学試験 A方式（第１期）】
第1週：2020年2月4日(火)～7日(金) の学科指定日
写真，美術（２月４日・５日試験），音楽，演劇，放送の５学科

第2週：2020年2月11日(火/祝)・12日(水) の学科指定日
映画，美術（２月11日・12日試験），文芸，デザインの４学科

【入学試験 A方式（第２期）】
2020年３月３日（火）
～６日（金）の学科指定日
全学科で実施

【合格発表】
N方式（第1期）・A方式（第1期［第1週］）
2020年２月14日（金）

【合格発表】
A方式（第１期［第2週］）
2020年２月21日（金）

【合格発表】
A方式（第２期）
2020年３月17日（火）

2020年度　一般入学試験 A方式（第１期）概要

（期日はすべて2020年となります）

1　出願手続

学　科	出　願　期　間
【第１週】 ［写真，美術（２月４日･５日試験），音楽，演劇，放送］	１月５日（日）～１月25日（土）
【第２週】 ［映画，美術（２月11日･12日試験），文芸，デザイン］	１月５日（日）～２月１日（土）

※ 映画，美術，音楽，演劇の各学科を志望する場合は，コースを１つだけ選択してください。
※ 出願方法，提出書類等の詳細は「一般入学試験要項」を確認してください。

《併願について》
上の表のように，**第１週・第２週と，２ブロックに分けて実施**，別のブロックであれば併願も可能です。ただし，同一ブロック（同じ週に試験が実施される学科・コース）内での併願はできません。

○ **併願が可能な例**：演劇学科と映画学科，放送学科と文芸学科，美術学科の「２月４日･５日試験」と「２月11日･12日試験」等（ブロックが別で試験を実施する場合）
× **併願ができない例**：写真学科と放送学科，映画学科と文芸学科 等（同じブロックで試験を実施する場合）

2　試験期日及び試験科目

1　入学試験場

すべて本学部校舎で実施します。

2　学力試験（一次試験）及び専門試験（二次試験）

①学力試験（一次試験）科目は，外国語（英語）及び国語の２科目で，いずれの科目も全問マークシート方式です。

教　科	科　目	時　間	配　点
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ」	60 分	100 点
国　語	「国語総合」（漢文を除く）	60 分	100 点

②放送学科以外の各学科の試験は，一次・二次試験の区別なく全受験生に対して行い，学力試験当日の午後から引き続き専門試験を実施します（一部の学科・コースは，実施しない場合があります）。
放送学科については，一次試験で合格判定を行い，合格者のみが二次試験を受験できます。一次試験の合格発表は，二次試験期日の前日に行います。

学　科	学力試験（一次試験）		専門試験（二次試験）
	試験種別	一次試験判定	
写真，映画，美術，音楽，文芸，演劇，デザイン	学力試験として **全員受験**		専門試験として**全員受験**
放送	一次試験として **全員受験**	外国語及び国語の合計得点（200 点満点）により合格判定を行います	**一次試験合格者のみ** 二次試験として**受験**

③専門試験（二次試験）
試験科目は，小論文，作文，実技，面接等で，学科・コースにより実施内容は異なります。実施科目の詳細については，８ページの「3 学科（コース）別試験科目一覧」を参照してください。

3　学科（コース）別試験科目一覧

【第１週】写真，美術（２月４日･５日試験），音楽，演劇，放送学科

学科	募集人員	コース	学力試験（一次試験）				専門試験（二次試験）							総合点
			試験期日	外国語	国語	備考	試験期日	小論文	作文	実技	面接	配点	備考	
写真	30	—	２月４日（火）	● 配点100点	● 配点100点		２月４・５日（火・水）	●			●	200点		400点
美術（２月4日･5日試験）	10	絵画					２月４・５日（火・水）			●	●	300点		500点
		彫刻					２月４・５日（火・水）	●※		●※	●	300点	※彫刻は実技，地域芸術は小論文	500点
音楽	35	作曲・理論					２月４・５・６日（火・水・木）	●※		●	●	300点	※小論文は理論のみ	500点
		音楽教育					２月４・５・６日（火・水・木）	●		●	●	300点		500点
		声楽					２月４・５・６日（火・水・木）			●	●	300点		500点
		ピアノ					２月４・５・６日（火・水・木）			●	●	300点		500点
		弦管打楽					２月４・５・６日（火・水・木）			●	●	300点		500点
		情報音楽					２月４・５・６日（火・水・木）	●		●	●	300点		500点
演劇	43	舞台構想					２月４・５日（火・水）		●		●	200点		400点
		演技					２月４・５日（火・水）			●	●	200点		400点
		舞台美術					２月４・５日（火・水）			●	●	200点		400点
		舞踊					２月４・５日（火・水）			●	●	200点	実技は日舞･洋舞のいずれかを選択	400点
放送	59	—				一次試験＊	２月７日（金）		●		●	100点	二次試験 一次試験合格者のみ	300点

＊放送学科は，外国語及び国語の総合得点（200点満点）により一次試験合格者（二次試験受験対象者）を決定します。

【第２週】映画，美術（２月11日･12日試験），文芸，デザイン学科

学科	募集人員	コース	学力試験（一次試験）				専門試験（二次試験）							総合点
			試験期日	外国語	国語	備考	試験期日	小論文	作文	実技	面接	配点	備考	
映画	62	映像表現･理論	２月11日（火）	● 配点100点	● 配点100点		２月11・12日（火/祝・水）	●			●	150点		350点
		監督					２月11・12日（火/祝・水）	●			●	150点		350点
		撮影・録音					２月11・12日（火/祝・水）	●			●	150点		350点
		演技					２月11・12日（火/祝・水）			●	●	150点		350点
美術（２月11日･12日試験）	10	絵画					２月11・12日（火/祝・水）			●	●	300点		500点
		彫刻					２月11・12日（火/祝・水）	●※		●※	●	300点	※彫刻は実技，地域芸術は小論文	500点
文芸	38	—					２月11日（火/祝）	●			●	100点	小論文または作文と面接	300点
デザイン	30	—					２月11・12日（火/祝・水）			●	●	300点	実技は科目を選択	500点

美術学科の試験について

第１週に「２月４日・５日試験」，第２週に「２月11日・12日試験」として実施し，**「２月４日･５日試験」と「２月11日･12日試験」は，併願が可能です。**

3　合格発表及び入学手続

1　合格判定

すべての学科とも，学力試験及び専門試験の総合得点（放送学科については，一次試験及び二次試験の総合得点）により合格判定を行いますが，**学力試験の合計得点が200点満点中60点未満の場合**は，総合得点が合格最低点を超えていても不合格となります。

2　合格発表期日，発表方法及び入学手続

各期日については，下表を参照してください。
入学手続については，所定の手続を行うことにより，３月11日（水）まで入学手続を延期することができます（二段階手続方式）。
なお，本試験については，追加合格を出す場合があります。

学　科	一次試験合格発表期日	最終合格発表期日	入学手続期限
写真，美術（２月４日・５日試験），音楽，演劇		２月14日（金）13時	２月27日（木）
放送	２月６日（木）13時		
映画，美術（２月11日・12日試験），文芸，デザイン		２月21日（金）13時	３月５日（木）

2020年度　一般入学試験 A方式（第１期）　専門試験(二次試験)実施内容

学　科	科　　目
写　　真	①小論文（60分・600字） ②面　接
映　　画	①小論文あるいは実技 映像表現・理論，監督，撮影・録音コース：小論文（80分・800字程度） 演　技　コ　ー　ス：実技（基礎的な音声及び身体表現） ※服装については，動きやすい普段着とします ②面　接
美　　術 〔2月4日・5日試験，2月11日・12日試験　共　通〕	①小論文あるいは実技 絵画コース：絵　画－実技（油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し，人物を描く。［６時間］） ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンバス（Ｆ15号），画用紙，木炭紙，カルトン，イーゼル等は大学で用意します 版　画－実技（デッサン　鉛筆・木炭のいずれかを選択し，静物を描く。［６時間］） ※鉛筆，木炭，消しゴム等を持参してください ※画用紙，木炭紙，カルトン，イーゼル等は大学で用意します 彫刻コース：彫　刻－実技（デッサン　鉛筆，木炭のいずれかを選択して，モノと空間を描く。［６時間］） ※鉛筆，木炭，消しゴム等を持参してください ※画用紙，木炭紙，カルトン，イーゼル等は大学で用意します 地域芸術－小論文（60分・800字以内） ②面　接 ※両コースとも，出願後すみやかに，受験する専攻を選択してください（詳細は『一般入学試験要項』で指示します）
音　　楽	①実　技（一部のコースで小論文も実施） 作曲・理論コース：作曲－（1）作曲　（2）和声または楽典　（3）ピアノ　（4）ソルフェージュ 理論－（1）小論文（60分・800字程度）　（2）楽典　（3）ピアノ　（4）ソルフェージュ 音楽教育コース：（1）小論文（60分・800字程度）　（2）楽典　（3）ピアノ　（4）声楽　（5）ソルフェージュ 声　楽　コ　ー　ス：（1）声楽　（2）楽典　（3）ピアノ　（4）ソルフェージュ ピアノコース：（1）ピアノ　（2）楽典　（3）ソルフェージュ 弦管打楽コース：（1）それぞれの専攻する弦楽器，管楽器または打楽器　（2）楽典　（3）ピアノ　（4）ソルフェージュ 情報音楽コース：（1）小論文（60分・800字程度）　（2）演奏またはソルフェージュ ※課題曲等の詳細については，47～49ページの『2020年度音楽学科入学試験実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください（詳細は『一般入学試験要項』で指示します） ②面　接
文　　芸	①小論文または作文（60分・800字以内） ②面　接
演　　劇	①作文あるいは実技 舞台構想コース：作文（60分・600字） 演　技　コ　ー　ス：実技（（1）演技　（2）音感・リズム感） ※体操着及び上履きを持参してください 舞台美術コース：実技（プレゼンテーション） ※舞台美術コース志願者は，入学後の専攻にかかわらず共通の試験内容となります。 舞　踊　コ　ー　ス：日舞－実技（各自所属流派修得の任意の曲目を踊る） ※着物，帯，足袋，扇子，上履きを持参してください ※自由選択の曲については，カセットテープ，ＣＤあるいはＭＤを持参してください 洋舞－実技（リズム運動，舞踊的身体運動及びイメージ表現） ※稽古着（タイツ，レオタード，シューズ）を持参してください ※舞踊コース志願者は，出願後，指定された期日までに，受験する専攻の試験内容（日舞または洋舞）を演劇学科へ郵送してください（詳細は『一般入学試験要項』で指示します） ②面　接
放　　送	①作　文（時間・字数は当日指定） ②面　接
デザイン	①実　技 鉛筆によるデッサン（４時間）またはデザインプレゼンテーション（４時間）のいずれかを選択。 ※実技試験科目は事前の選択が必要です（受験票の記載に従って入力していただきます。詳細は『一般入学試験要項』で指示します） ※選択にかかわらず，デッサン用鉛筆，クリップ，消しゴム（練ゴム），カッターナイフ等を持参してください（デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可） ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ②面　接

持参作品等

演劇学科舞台美術コース志願者は，自作作品を専門試験当日に持参してかまいません（持参は任意とし，持参の作品は面接試験時の参考とします）。デザイン学科志願者は，面接試験の参考資料とするため，自作作品を専門試験日当日に持参してください（下表参照）。

学　科	持参作品等
演　　劇	**舞台美術コース志願者**は，石膏像デッサン，水彩画等を専門試験当日に持参してかまいません
デザイン	自作作品５点以内とします。 なお，映像作品については，タブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

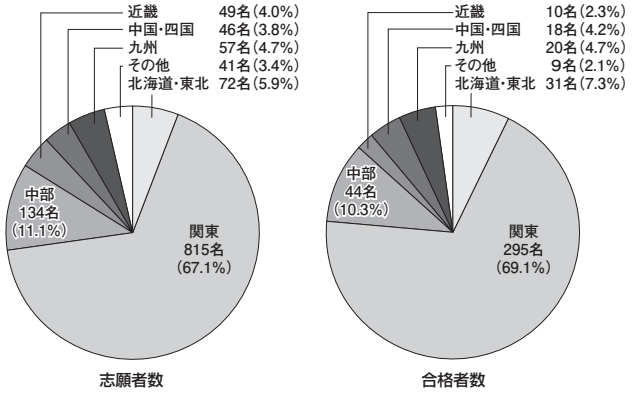
※持参作品については，面接試験終了後に返却します

2019年度(昨年度)　一般入学試験 A方式(第1期) 結果

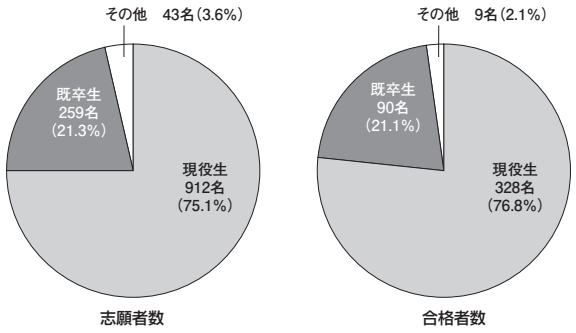
学科・コース ＼ 項目		募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A)/(B)	2018年度競争率	総点	合格者最低点 2019年度	合格者最低点 2018年度
写真学科		30	70 (29)	63 (26)	46 (21)	1.4倍	1.9倍	400	254	263
映画学科	映像表現・理論コース	72	105 (49)	97 (47)	37 (23)	2.6倍	2.7倍	350	224	249
	監督コース		66 (26)	63 (25)	20 (9)	3.2倍	4.5倍		230	252
	撮影・録音コース		54 (35)	50 (33)	21 (18)	2.4倍	2.1倍		217	229
	演技コース		63 (38)	61 (37)	5 (3)	12.2倍	20.5倍		267	284
	計	72	288 (148)	271 (142)	83 (53)	—	—	—	—	—
美術学科	絵画コース (2/5・6試験)	24※	25 (14)	23 (14)	13 (8)	1.8倍	1.9倍	500	346	336
	絵画コース (2/12・13試験)		21 (13)	19 (13)	9 (6)	2.1倍	2.6倍		373	352
	絵画コース コース計		46 (27)	42 (27)	22 (14)	—	—	—	—	—
	彫刻コース (2/5・6試験)		5 (2)	5 (2)	1 (1)	5.0倍	1.0倍	500	302	365
	彫刻コース (2/12・13試験)		10 (4)	10 (4)	7 (2)	1.4倍	2.0倍		298	380
	彫刻コース コース計		15 (6)	15 (6)	8 (3)	—	—	—	—	—
	計	24	61 (33)	57 (33)	30 (17)	—	—	—	—	—
音楽学科	作曲・理論コース	38	4 (2)	4 (2)	4 (2)	1.0倍	1.0倍	500	376	350
	音楽教育コース		8 (5)	8 (5)	7 (5)	1.1倍	1.3倍		340	322
	声楽コース		9 (2)	9 (2)	9 (2)	1.0倍	1.0倍		317	339
	ピアノコース		5 (4)	5 (4)	5 (4)	1.0倍	1.0倍		332	318
	弦管打楽コース		8 (5)	8 (5)	8 (5)	1.0倍	1.1倍		338	349
	情報音楽コース		39 (15)	38 (15)	15 (8)	2.5倍	2.2倍		366	365
	計	38	73 (33)	72 (33)	48 (26)	—	—	—	—	—
文芸学科		42	136 (64)	122 (58)	44 (26)	2.8倍	3.6倍	300	194	213
演劇学科	劇作コース	43	11 (3)	11 (3)	6 (2)	1.8倍	3.3倍	400	233	241
	演出コース		28 (21)	27 (21)	11 (8)	2.5倍	3.4倍		254	242
	演技コース		132 (92)	128 (88)	13 (2)	9.8倍	15.5倍		258	234
	装置コース		8 (8)	8 (8)	3 (3)	2.7倍	1.5倍		268	273
	照明コース		17 (13)	17 (13)	7 (6)	2.4倍	3.0倍		266	260
	日舞コース		7 (5)	7 (5)	2 (2)	3.5倍	2.0倍		273	266
	洋舞コース		13 (13)	12 (12)	4 (4)	3.0倍	2.0倍		306	282
	企画制作コース		13 (11)	12 (10)	8 (8)	1.5倍	2.7倍		249	263
	計	43	229 (166)	222 (160)	54 (35)	—	—	—	—	—
放送学科		59	266 (148)	261 (147)	78 (55)	3.3倍	3.5倍	300	198	189
デザイン学科		30	91 (62)	82 (56)	44 (34)	1.9倍	3.7倍	500	338	380
合計		338	1,214 (683)	1,150 (655)	427 (267)	—	—	—	—	—

※美術学科の募集人員は，2/5・6試験：12名，2/12・13試験：12名　　( ) 内は女子内数

【出身校地域別人数】



【現役生・既卒生等別人数】



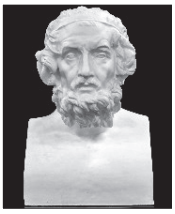
2019年度(昨年度)　一般入学試験 A方式(第1期) 小論文・作文課題一覧

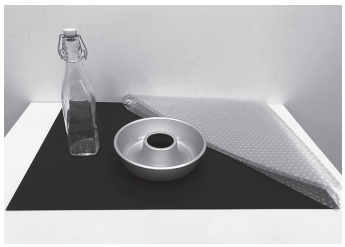
学科・コース		時間	字数	課　　題
写　　真		60分	600字	＜小論文＞ これは写真家・原直久氏が1974年に撮影した作品です。この写真を見てあなたが読みとったこと感じたこと考えたことを述べなさい。 ※原直久「8-00532　1974/9/3　14:51　レアールの工事現場 パリ１区 フランス」
映　　画 (演技を除く)		80分	800字 以内	＜小論文＞ 次の文章は1971年に書かれたものだが，あなたは今，必要な「知識」とはどのようなものだと考えますか。800字以内で書きなさい。 ※野間省一「講談社文庫刊行の辞」講談社文庫
音楽	作曲・理論 (理論)	60分	800字 程度	＜小論文＞ 次の三つのテーマの中から一つを選び，800字程度の小論文を書きなさい。 1 私にとって音楽とは 2 クラシック音楽の魅力 3 理論コースで学びたいこと
音楽	音楽教育	60分	800字 程度	＜小論文＞ 次のテーマから１つを選び，800字程度の小論文を書きなさい。 1 音楽教員に求められる音楽の専門性について 2 音楽活動と社会貢献について
音楽	情報音楽	60分	800字 程度	＜小論文＞ 下記の３つの題目から１つ選び，800字程度の小論文を完成させてください。 1 大学で最も学びたいことと，その理由について 2 リズムが人間の感情に与える影響について 3 人工知能が音楽制作に与える影響について
文　　芸		60分	800字 以内	＜小論文または作文＞ 次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください) ①「わからない」というのが口癖の人が登場する作文を書いてください。 ②「寛容」と「不寛容」について自由に論じてください。
演劇	劇　作 演　出 照　明	60分	600字	＜作文＞ 「劇場」を題材とした物語をつくりなさい。
放　　送		60分	600字	＜作文＞ 「記憶」

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2019年度(昨年度)　一般入学試験 A方式(第1期) 実技科目(課題) 一覧

学科・コース		科　目　・　課　題
映　画 (演技)		**基礎的な音声及び身体表現** **発声１　次の内容をはっきりと述べてください。** 受験番号（　　）番，（　氏　名　）です。出身は（　都道府県名　）で，学校は（　学校名　）高校を卒業する予定です。年齢は，（　　）歳です。 **発声２　次の文章を朗読してください。** ※浅田次郎「活動寫眞の女」集英社，2003年，89ページ **動　作　次の内容をしぐさのみで表現してください。** 〔設定〕 冬の寒い朝。少し寝坊をしたので，慌てている。 鞄に，持っていく教科書などの荷物を入れている。 時計を見ると，あまりゆっくりしていられない。 鞄を持って部屋を出ようとすると，携帯電話を持っていないことに気付く。 散らかっている机の上や，ベッドの上も探すが無い。 もう一度時計を見ると，遅刻しそうだ。しょうがないと諦め部屋を出ようとする。 クローゼットの中から携帯の着信音が聞こえてくる。 昨日着ていた上着のポケットから携帯電話を掴んで，部屋を出ていく。 （そのまま退室してください）
美　術（2月5日・6日試験）	絵　画	**油彩，アクリル，水彩，鉛筆，木炭のいずれかを選択し，人物を描く。** （6時間）≪キャンバスはF15号，その他の支持体は65cm×50cm≫ ［モチーフ］ 人物（コスチューム） コスチューム：ニット（長袖），パンツ 布　　×1 椅子　　×1
	彫　刻	**鉛筆，木炭のいずれかを選択し，モノと空間を描く。** （6時間）≪画用紙または木炭紙　65cm×50cm≫ ［モチーフ］ コチレドン　オルビキュラータ　×1
美　術（2月12日・13日試験）	絵　画	**油彩，アクリル，水彩，鉛筆，木炭のいずれかを選択し，人物を描く。** （6時間）≪キャンバスはF15号，その他の支持体は65cm×50cm≫ ［モチーフ］ 人物（コスチューム） コスチューム：ブラウス，スカート，パンプス 布　　×1 椅子　　×1
	彫　刻	**鉛筆，木炭のいずれかを選択し，モノと空間を描く。** （6時間）≪画用紙または木炭紙　65cm×50cm≫ ［モチーフ］ アンスルム・フーケリー　×1 箱イス　　×1

学科・コース		科　目　・　課　題
音楽	作曲・理論（作曲）	①作曲（100分）　②和声または楽典（80分）　③ピアノ　④ソルフェージュ
	作曲・理論（理論）	①楽典（80分）　②ピアノ　③ソルフェージュ
	音楽教育	①楽典（60分）　②ピアノ　③声楽　④ソルフェージュ
	声　楽	①声楽　②楽典（60分）　③ピアノ　④ソルフェージュ
	ピアノ	①ピアノ　②楽典（60分）　③ソルフェージュ
	弦管打楽	①それぞれの専攻する弦楽器，管楽器または打楽器　②楽典（60分）　③ピアノ　④ソルフェージュ
	情報音楽	演奏またはソルフェージュ
演劇	演　技	**演技（音感・リズム感を含む）** ①演技 (1)台詞表現　（「エレクトラ」より抜粋） ※ジョン・バートン　ケネス・カヴァンダー編・英訳「エレクトラ」『グリークス』 吉田美枝訳，劇書房，1987年，159ページ (2)エチュード あなたはバスを待っていますが，来るはずのバスが来ません。他に移動する手段はなく，そのまま待ち続ける。という状況をシーン化する。 なお，以下の条件で取り組むこと。（複数名で行う） ・あなたではなく或る役（キャラクター）を演じてください ・他の人とコミュニケーションを取ってください ・使っていい台詞は以下の四つ「まだですかね」「そうですね」「遅いですね」「さあ」 ②音感・リズム感 (1)アカペラで一人ずつ歌う（自由課題） (2)音楽を用いた即興表現
	装　置	**鉛筆による石膏デッサン**（2時間）≪B3画用紙≫ ［モチーフ］ 石膏（ホーマー胸像）　×1 
	日　舞	各自所属流派修得の任意の曲目を踊る
	洋　舞	リズム運動，舞踊的身体運動及びイメージ表現 ①基本運動 (1)バレエ・テクニック (2)ジャズ・テクニック (3)モダンダンス・テクニック ②イメージによる動き 題『体の部位を意識して表現する』 ◆動きのデザイン ◆内容と共に表現する
	企画制作	プレゼンテーション 多くの人が芸術を体験する企画を提案しなさい。

学科・コース	科　目　・　課　題
デザイン	**鉛筆によるデッサン（4時間）またはデザインプレゼンテーション（4時間）のいずれかを選択。** **①鉛筆によるデッサン**（4時間）≪B3画用紙≫ 与えられたモチーフを台紙の上にセットし，鉛筆でデッサンしなさい。 定規，コンパス，デッサンスケールは使用不可とする。 ※はかり棒は使用可。 ［モチーフ］ 角型ボトル　×1 ケーキ型　×1 梱包用緩衝材　×1  条件 (1)机の上に置いてある角型ボトル，ケーキ型，梱包用緩衝材をすべて組み合わせること。梱包用緩衝材はそのままではなく形を変えること。* (2)台紙は描かなくてもよい。 (3)用紙は横位置で使用すること。 (4)A3の上質紙はエスキース（下書き）用として使用してもしなくてもどちらでも構わない。 *緩衝材の形を保持しにくい場合はネリゴム等で固定してください **②デザインプレゼンテーション**（4時間）≪B3ケント紙＋PMパッド1枚≫ 私たちの生活に関わる「気候変動」に関わる問題を見つけ出し，あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。 この「気候変動」に対してデザインでどのような問題を解決できるのか具体的に提案してください。 もしくは，気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。 例えば，新しい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」などあなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。 条件 (1)用紙は2枚あります。PMパッド（薄い紙）1枚はアイデアやメモとして自由に使い，ケント紙には最終回答を記入すること。 (2)表現方法は自由（持参した鉛筆，および配布された色鉛筆を使用すること） (3)用紙は横位置にて使用すること。 (4)用紙は2枚ともすべて提出とし，2枚の総合評価とする。 (5)定規・コンパスは使用不可。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2020年度　一般入学試験 A方式（第２期）概要

（期日はすべて2020年となります）

1　出願手続

学　科	出　願　期　間
全　学　科 ［写真，映画，美術，音楽，文芸，演劇，放送，デザイン］	１月５日（日）～２月25日（火）

※ 映画，美術，音楽，演劇の各学科を志望する場合は，コースを１つだけ選択してください。
※ 出願方法，提出書類等の詳細は「一般入学試験要項」を確認してください。

《併願について》
全学科統一日程のため**併願はできません。**

2　試験期日及び試験科目

1　入学試験場
すべて本学部校舎で実施します。

2　学力試験（一次試験）及び専門試験（二次試験）
①学力試験（一次試験）科目は，外国語（英語）及び国語の２科目で，いずれの科目も全問マークシート方式です。

教　科	科　目	時　間	配　点
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ」	60 分	100 点
国　語	「国語総合」（漢文を除く）	60 分	100 点

②放送学科以外の各学科の試験は，一次・二次試験の区別なく全受験生に対して行い，学力試験当日の午後から引き続き専門試験を実施します（一部の学科・コースは，実施しない場合があります）。
放送学科については，一次試験で合格判定を行い，合格者のみが二次試験を受験できます。一次試験の合格発表は，二次試験期日の前日に行います。

学　科	学力試験（一次試験）		専門試験（二次試験）
	試験種別	一次試験判定	
写真，映画，美術，音楽， 文芸，演劇，デザイン	学力試験として **全員受験**		専門試験として**全員受験**
放送	一次試験として **全員受験**	外国語及び国語の合計得点（200 点満点）により合格判定を行います	**一次試験合格者のみ** 二次試験として**受験**

③専門試験（二次試験）
試験科目は，小論文，作文，実技，面接等で，学科・コースにより実施内容は異なります。実施科目の詳細については，17ページの「３ 学科（コース）別試験科目一覧」を参照してください。

3　学科（コース）別試験科目一覧

学科	募集人員	コース	学力試験（一次試験）				専門試験（二次試験）							総合点
			試験期日	外国語	国語	備考	試験期日	小論文	作文	実技	面接	配点	備考	
写真	5	—	3月3日（火）				3月3日（火）				●	200点		400点
映画	10	映像表現・理論					3月3・4日（火・水）	●			●	150点		350点
		監督					3月3・4日（火・水）	●			●	150点		350点
		撮影・録音					3月3・4日（火・水）	●			●	150点		350点
		演技					3月3・4日（火・水）			●	●	150点		350点
美術	2	絵画					3月3・4日（火・水）			●	●	300点		500点
		彫刻					3月3・4日（火・水）	●※		●※	●	300点	※彫刻は実技，地域芸術は小論文	500点
音楽	4	作曲・理論					3月3・4日（火・水）	●※		●	●	300点	※小論文は理論のみ	500点
		音楽教育					3月3・4日（火・水）	●		●	●	300点		500点
		声楽					3月3・4日（火・水）			●	●	300点		500点
		ピアノ					3月3・4日（火・水）			●	●	300点		500点
		弦管打楽					3月3・4日（火・水）			●	●	300点		500点
		情報音楽					3月3・4日（火・水）			●	●	300点		500点
文芸	15	—					3月3日（火）	●	●		●	300点		500点
演劇	11	舞台構想					3月3・4日（火・水）		●		●	200点		400点
		演技					3月3・4日（火・水）			●	●	200点		400点
		舞台美術					3月3・4日（火・水）			●	●	200点		400点
		舞踊					3月3・4日（火・水）			●	●	200点	実技は日舞・洋舞のいずれかを選択	400点
放送	20	—				一次試験＊	3月6日（金）	●			●	100点	二次試験 一次試験合格者のみ	300点
デザイン	5	—					3月3・4日（火・水）			●	●	300点	実技は科目を選択	500点

3月3日（火）	● 配点100点	● 配点100点

＊放送学科は，外国語及び国語の総合得点（200点満点）により一次試験合格者（二次試験受験対象者）を決定します。

3　合格発表及び入学手続

1　合格判定

すべての学科とも，学力試験及び専門試験の総合得点（放送学科については，一次試験及び二次試験の総合得点）により合格判定を行いますが，**学力試験の合計得点が200点満点中60点未満の場合**は，総合得点が合格最低点を超えていても不合格となります。

2　合格発表期日，発表方法及び入学手続

各期日については，下表を参照してください。
入学手続については，二段階手続は行いません。
なお，本試験については，追加合格を出す場合があります。

学　科	一次試験合格発表期日	最終合格発表期日	入学手続期限
写真，映画，美術，音楽，文芸，演劇，デザイン		3月17日（火）13時	3月25日（水）
放送	3月5日（木）13時		

2020年度 一般入学試験 A方式(第2期) 専門試験(二次試験)実施内容

学 科	科 目
写 真	面 接
映 画	①小論文あるいは実技 映像表現･理論，監督，撮影･録音コース：小論文（80分・800字程度） 演 技 コ ー ス：実技（基礎的な音声及び身体表現） ※服装については，動きやすい普段着とします ②面 接
美 術	①小論文あるいは実技 絵画コース：絵 画－実技（油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し，静物を描く。[6時間]） ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンバス（F15号），画用紙，木炭紙，カルトン，イーゼル等は大学で用意します 版 画－実技（デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し，静物を描く。[6時間]） ※鉛筆，木炭，消しゴム等を持参してください ※画用紙，木炭紙，カルトン，イーゼル等は大学で用意します。 彫刻コース：彫 刻－実技（デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択して，モノと空間を描く。[6時間]） ※鉛筆，木炭，消しゴム等を持参してください ※画用紙，木炭紙，カルトン，イーゼル等は大学で用意します 地域芸術－小論文（60分・800字以内） ②面 接 ※両コースとも，出願後すみやかに，受験する専攻を選択してください（詳細は『一般入学試験要項』で指示します）
音 楽	①実 技（一部のコースで小論文も実施） 作曲･理論コース：作曲－ (1) 作曲 (2) ソルフェージュ 理論－ (1) 小論文（60分・800字程度） (2) ソルフェージュ 音楽教育コース：(1) 小論文（60分・800字程度） (2) ピアノ (3)声楽 (4) ソルフェージュ 声 楽 コ ー ス：(1) 声楽 (2) ソルフェージュ ピ ア ノ コ ー ス：(1) ピアノ (2) ソルフェージュ 弦管打楽コース：(1) それぞれの専攻する弦楽器，管楽器または打楽器 (2) ソルフェージュ 情報音楽コース：プレゼンテーション ※課題曲等の詳細については，49ページの『2020年度音楽学科入学試験実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください（詳細は『一般入学試験要項』で指示します） ②面 接
文 芸	①小論文及び作文（各800字以内，合わせて120分） ※辞書持込み可（電子辞書不可）。また，学科指定施設内の資料の参照も可 ②面 接
演 劇	①作文あるいは実技 舞台構想コース：作文（60分・600字） 演 技 コ ー ス：実技（(1) 演技 (2) 音感・リズム感） ※体操着及び上履きを持参してください 舞台美術コース：実技（プレゼンテーション） ※舞台美術コース志願者は，入学後の専攻にかかわらず共通の試験内容となります。 舞 踊 コ ー ス：日舞－実技（各自所属流派修得の任意の曲目を踊る） ※着物，帯，足袋，扇子，上履きを持参してください ※自由選択の曲については，カセットテープ，CDあるいはMDを持参してください。 洋舞－実技（リズム運動，舞踊的身体運動及びイメージ表現） ※稽古着（タイツ，レオタード，シューズ）を持参してください ※舞踊コース志願者は，出願後，指定された期日までに，受験する専攻の試験内容（日舞または洋舞）を演劇学科へ郵送してください（詳細は『一般入学試験要項』で指示します） ②面 接
放 送	①小論文（時間・字数は当日指定） ②面 接
デザイン	①実 技 鉛筆によるデッサン（4時間）またはデザインプレゼンテーション（4時間）のいずれかを選択 ※実技試験科目は事前の選択が必要です（受験票の記載に従って入力していただきます。詳細は『一般入学試験要項』で指示します） ※選択にかかわらず，デッサン用鉛筆，クリップ，消しゴム（練ゴム），カッターナイフ等を持参してください（デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可） ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ②面 接

持参作品等

音楽学科作曲･理論コース（作曲）志願者及びデザイン学科志願者は，面接試験の参考資料とするため，自作作品を専門試験日当日に持参してください。演劇学科舞台美術コース志願者は，自作作品を専門試験当日に持参してかまいません（持参は任意とし，持参の作品は面接試験時の参考とします）。(下表参照)

学 科	持参作品等
音 楽	**作曲･理論コース（作曲）志願者**は，3分程度の自作のピアノ曲の楽譜
演 劇	**舞台美術コース志願者**は，石膏像デッサン，水彩画等を専門試験当日に持参してかまいません
デザイン	自作作品5点以内とします。 なお，映像作品については，タブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

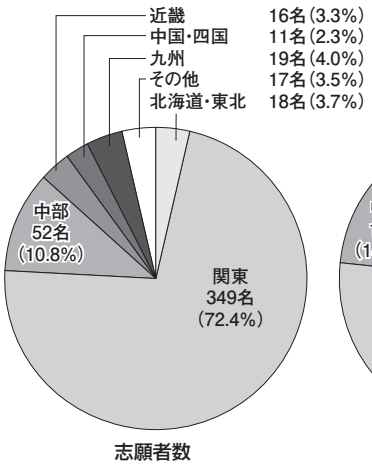
※持参作品については，面接試験終了後に返却します

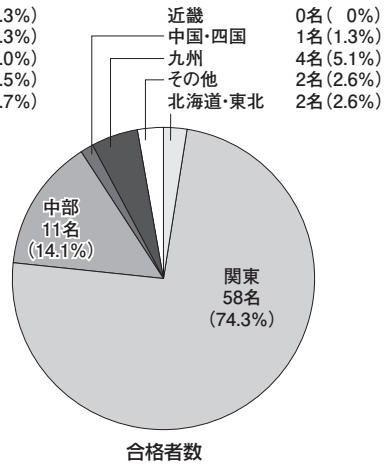
2019年度(昨年度)　一般入学試験 A方式(第2期) 結果

学科・コース ＼ 項目		募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A)/(B)	2018年度競争率	総点	2019年度合格者最低点※
写真学科		5	31 (19)	25 (16)	1 (0)	25.0倍	2.3倍	400	364
映画学科	映像表現・理論コース	10	34 (14)	33 (13)	5 (3)	6.6倍	3.0倍	350	258
	監督コース		20 (6)	17 (5)	3 (2)	5.7倍	4.8倍		265
	撮影・録音コース		13 (8)	11 (6)	4 (3)	2.8倍	2.5倍		257
	演技コース		28 (19)	27 (18)	2 (1)	13.5倍	11.0倍		279
	計	10	95 (47)	88 (42)	14 (9)	—	—	—	—
美術学科	絵画コース	3	23 (11)	20 (11)	3 (3)	6.7倍	1.7倍	500	376
	彫刻コース		3 (0)	2 (0)	1 (0)	2.0倍	1.0倍		339
	計	3	26 (11)	22 (11)	4 (3)	—	—	—	—
音楽学科	作曲・理論コース	4	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	500	—
	音楽教育コース		3 (2)	2 (1)	0 (0)	—	1.5倍		—
	声楽コース		0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—		—
	ピアノコース		4 (3)	4 (3)	3 (3)	1.3倍	1.5倍		306
	弦管打楽コース		1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0倍	—		423
	情報音楽コース		13 (5)	10 (4)	0 (0)	—	—		—
	計	4	21 (11)	17 (9)	4 (4)	—	—	—	—
文芸学科		15	61 (31)	54 (29)	12 (8)	4.5倍	3.5倍	500	321
演劇学科	劇作コース	11	10 (4)	5 (2)	3 (1)	1.7倍	2.7倍	400	256
	演出コース		6 (5)	5 (4)	0 (0)	—	—		—
	演技コース		61 (43)	58 (42)	1 (1)	58.0倍	5.3倍		310
	装置コース		7 (7)	7 (7)	2 (2)	3.5倍	1.0倍		279
	照明コース		3 (1)	3 (1)	1 (0)	3.0倍	4.0倍		297
	日舞コース		0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—		—
	洋舞コース		6 (6)	5 (5)	2 (2)	2.5倍	10.0倍		312
	企画制作コース		4 (3)	4 (3)	3 (2)	1.3倍	1.0倍		281
	計	11	97 (69)	87 (64)	12 (8)	—	—	—	—
放送学科		20	96 (47)	89 (44)	18 (12)	4.9倍	4.5倍	300	210
デザイン学科		5	55 (31)	46 (26)	13 (8)	3.5倍	1.9倍	500	366
合計		73	482 (266)	428 (241)	78 (52)	—	—	—	—

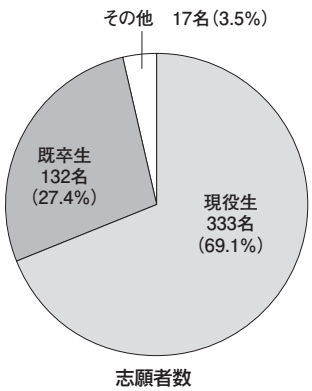
※ 2018 年度の合格者最低点は公表しておりません　　( ) 内は女子内数

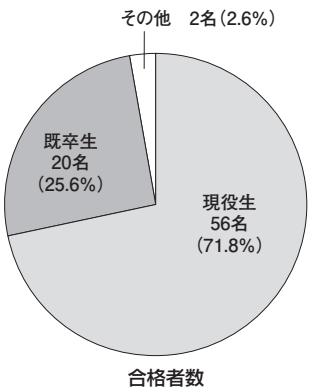
【出身校地域別人数】





【現役生・既卒生等別人数】





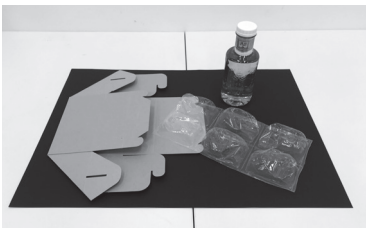
2019年度(昨年度)　一般入学試験 A方式(第2期) 小論文・作文課題一覧

学科・コース		時間	字　数	課　　題
映　画 (演技を除く)		80分	800字	＜小論文＞ 次の文章を読んで，あなたが考えたことを論じなさい。 ※岡田秀則『映画という《物体X》 フィルム・アーカイブの眼で見た映画』立東舎，2016年，208～209ページ
音楽	作曲・理論 (理論)	—	—	【当該コース志願者なし】
音楽	音楽教育	60分	800字程度	＜小論文＞ 次のテーマから1つを選び，800字程度の小論文を書きなさい。 1 音楽教員の志望理由と音楽教育コースで学びたいこと 2 様々な価値観を持つ現代社会に音楽が貢献できること 3 これまでの音楽経験で印象に残っていること
文　芸		120分	各800字以内	＜小論文＞ 「文章を書く必要性」について自由に論じてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください。)
				＜作文＞ 「自分に不利な道を選ぶ人」が登場する話を作文してください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください。)
演劇	劇作 演出 照明	60分	600字	＜作文＞ シェイクスピアの作品が今も上演される理由を作文しなさい。
放　送		80分	800字	＜小論文＞ 米軍普天間飛行場の移設計画をめぐり，名護市辺野古沿岸部の埋め立ての是非を問う県民投票が2月24日に行われた。その結果，「反対」が72.15%，「賛成」が19.10%，「どちらでもない」が8.75%であった。投票率は52.48%。この結果についてあなたはどう考えるか論じなさい。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2019年度(昨年度)　一般入学試験 A方式(第2期) 実技科目(課題) 一覧

学科・コース		科　目　・　課　題
映　画 (演技)		**基礎的な音声及び身体表現** **発声１　次の内容をはっきりと述べてください。** 受験番号（　　）番，（　氏　名　）です。出身は（　都道府県名　）で，学校は（　学校名　）高校を卒業する予定です。年齢は，（　　）歳です。 **発声２　次の文章を朗読してください。** ※千葉伸夫『原節子　伝説の女優』平凡社，2010年，317ページ **動　作　次の内容をしぐさのみで表現してください。** 〔設定〕早朝から出掛けて，仲間たちと山に登る約束をしているので，早起きするはずが寝坊してしまった。 ガイドブックをリュックにしまい，それを背負って部屋を出ようとする。 携帯電話にメール着信があり，電車が止まっているとの情報。 この電車に乗らなければならない。 時計を見ると，少し遠回りだが別ルートで行けば，何とか間に合いそうだ。 車で駅まで送ってもらおうとキッチンに行くと，いつもの朝と違った雰囲気だ。 テーブルに，メモと朝食のサンドイッチが置いてある。 《病院に行くので先に出ます。気を付けて行きなさいよ。朝ごはんちゃんと食べてね》と書いてある。 サンドイッチを頬張りながら，家の鍵を取り出そうとするが持っていない。 いつも置いてあるところから鍵を取って，慌てて出ていく。 （そのまま，試験会場から退室してください）
美術	絵　画	**デッサン** （鉛筆，木炭のいずれかを選択）（６時間） ≪画用紙または木炭紙　(65cm × 50cm)≫ [モチーフ] 石膏像　× 1 布　× 1 毛糸　× 1 観葉植物　× 1 たとう　× 1
美術	彫　刻	**デッサン** （鉛筆，木炭のいずれかを選択し，モノと空間を描く）（６時間） ≪画用紙または木炭紙　(65cm × 50cm)≫ [モチーフ] ウンベラータ　× 1 箱イス　× 1
音楽	作曲・理論 (作曲)	【当該コース志願者なし】
音楽	作曲・理論 (理論)	【当該コース志願者なし】
音楽	音楽教育	**①ピアノ　②声楽　③ソルフェージュ**
音楽	声　楽	【当該コース志願者なし】
音楽	ピアノ	**①ピアノ　②ソルフェージュ**
音楽	弦管打楽	**①専攻する弦楽器，管楽器または打楽器　②ソルフェージュ**
音楽	情報音楽	**①プレゼンテーション**（口頭発表または演奏）　**②ソルフェージュ**

学科・コース		科　目　・　課　題
演劇	演　技	**演技（音感・リズム感を含む）** **①演技** (1)台詞表現（三好十郎作『冒した者』より抜粋） ※三好十郎「三好十郎Ⅲ 冒した者」『演劇34』早川書房, 2013年, 9ページ (2)エチュード (1)の台詞に登場する「後ろにいるやつ」に対して，三種類の単語を順番に一回ずつ投げかける。その際，それぞれの単語にふさわしいジェスチャーをつけて行う。 ※単語の品詞は問わない ※使うのは「単語」であり，「文章」ではない ※「三種類の単語」以外は使うことができない **②音感・リズム感** (1)アカペラで一人ずつ歌う（自由課題） (2)音楽を用いた即興表現
	装　置	**鉛筆による石膏デッサン**（２時間）≪Ｂ３画用紙≫ ［モチーフ］ 石膏（パルテノン首像）　×１
	日　舞	【当該コース志願者なし】
	洋　舞	**リズム運動，舞踊的身体運動及びイメージ表現** **①基本運動** (1)バレエ・テクニック (2)ジャズ・テクニック (3)モダンダンス・テクニック **②イメージによる動き** 題『○，△，□を体で表現する』 ◆動きのデザイン ◆内容とともに表現する
	企画制作	**プレゼンテーション** 鉄道会社と提携しうるダンス・フェスティバルを企画しなさい。
デザイン		**鉛筆によるデッサン（４時間）またはデザインプレゼンテーション（４時間）のいずれかを選択。** **①鉛筆によるデッサン**（４時間）≪Ｂ３画用紙≫ 与えられたモチーフを台紙の上にセットし，鉛筆でデッサンしなさい。 定規，コンパス，デッサンスケールは使用不可とする。 ※はかり棒は使用可。 ［モチーフ］ ミネラルウォーターボトル　×１ ダンボール型　×１ 梱包用緩衝材（粒タイプ６個）　×１  条件 (1)机の上に置いてあるミネラルウォーターボトル，ダンボール型，梱包用緩衝材（粒タイプ６個）をすべて組み合わせること。ダンボール箱はそのままではなく形を変えること。緩衝材は切り離しても可。＊ (2)台紙は描かなくてもよい。 (3)用紙は横位置で使用すること。 (4)Ａ３の上質紙はエスキース（下書き）用として使用してもしなくてもどちらでも構わない。 ＊軽い緩衝材の位置を保持しにくい場合はネリゴム等で固定してください **②デザインプレゼンテーション**（４時間）≪Ｂ３ケント紙＋ＰＭパッド１枚≫ 私たちの生活に関わる「教育」に関わる問題を見つけ出し，あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。 この「教育」に対してデザインでどのような問題を解決できるのか具体的に提案してください。 もしくは，気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。 例えば，あたらしい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」などあなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。 条件 (1)用紙は２枚あります。ＰＭパッド（薄い紙）１枚はアイデアやメモとして自由に使い，ケント紙には最終回答を記入すること。 (2)表現方法は自由（持参した鉛筆，および配布された色鉛筆を使用すること） (3)用紙は横位置にて使用すること。 (4)用紙は２枚ともすべて提出とし，２枚の総合評価とする。 (5)定規・コンパスは使用不可。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2020年度　一般入学試験 N方式（第１期）概要

（期日はすべて2020年となります）

1　出願手続

学　科	出　願　期　間
写真・映画・美術・音楽（作曲・理論，弦管打楽，情報音楽コースのみ）・文芸・演劇（舞台構想コースのみ）・放送・デザイン	１月５日（日）～１月24日（金）

※ 映画，美術，音楽の各学科を志望する者は，コースを１つだけ選択してください
※ 出願方法，提出書類等の詳細は「一般入学試験要項」を確認してください

2　試験期日及び試験科目

試験科目は学科により異なります。また，本試験では学科専門試験を実施しません。

試験期日	学科〔コース〕	募集人員	教　科	科　目 ※1	時間	配　点
2月1日（土）	写真	2	国語	「国語総合（漢文を除く）」	60分	100点
			外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
			地理歴史 公民	「日本史Ｂ」，「世界史Ｂ」，「地理Ｂ」，「政治・経済」のうちから**１科目選択**	60分	100点
	映画〔映像表現・理論／監督／撮影・録音／演技〕	2	国語	「国語総合（漢文を除く）」	60分	100点
			外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
			地理歴史 公民 数学① 理科	「日本史Ｂ」，「世界史Ｂ」，「地理Ｂ」，「政治・経済」，「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ（確率分布と統計的な推測を除く）」，「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」のうちから**１科目選択** ※2	60分	100点
	美術〔絵画／彫刻〕	2	国語 外国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科	「国語総合（漢文を除く）」，「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」，「日本史Ｂ」，「世界史Ｂ」，「地理Ｂ」，「政治・経済」，「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ（確率分布と統計的な推測を除く）」，「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ（確率分布と統計的な推測を除く）」，「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」のうちから**２科目選択** ※2 （ただし，「理科」間の組合せは不可）	各60分	200点（100点×2）
	デザイン	2				
	音楽〔作曲・理論／弦管打楽／情報音楽〕	5	国語	「国語総合（漢文を除く）」	60分	100点
	文芸	6	外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
	演劇〔舞台構想〕	2				
	放送	2	国語	「国語総合（漢文を除く）」	60分	100点
			外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
			地理歴史 公民 数学①	「日本史Ｂ」，「世界史Ｂ」，「地理Ｂ」，「政治・経済」，「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ（確率分布と統計的な推測を除く）」のうちから**１科目選択**	60分	100点

※１　選択科目を指定科目数以上受験した場合は，高得点の科目を合否判定に使用します
※２　「理科」については，医学部併願者は２科目選択，その他の出願者は１科目のみ選択となります。２科目受験する場合は，解答順に「第１解答科目」「第２解答科目」に区分し，合否判定に使用する場合は，「第１解答科目」のみを使用します

3　合格発表及び入学手続

1　合格判定

すべての学科とも，学力試験の総合得点により合格判定を行います。

2　合格発表期日，発表方法及び入学手続

各期日については，下表を参照してください。
入学手続については，所定の手続を行うことにより，3月11日（水）まで入学手続を延期することができます（二段階手続方式）。

合格発表期日	入学手続期限
2月14日（金）13時	2月27日（木）

本試験についての注意事項【重要】

各学科の試験教科及び科目については23ページに記載のとおりですが，同一時間割での実施の場合は，受験可能な科目が制限されます。また，併願する学部（学科）により受験教科及び科目が異なりますので，これらの点も含めた本試験の詳細については，**日本大学ホームページ，一般入学試験要項**等で必ず確認してください。

2019年度（昨年度）　一般入学試験 N方式（第1期）結果

学科・コース ＼ 項目		募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率(A)/(B)	2018年度競争率	総点	合格者最低点 2019年度	合格者最低点 2018年度
写真学科		2	45（24）	40（23）	3（2）	13.3倍	19.3倍	300	249	267
映画学科	映像表現・理論コース	2	61（29）	55（27）	1（1）	55.0倍	54.0倍	300	264	278
	監督コース		22（9）	22（9）	1（0）	22.0倍	28.0倍		274	274
	撮影・録音コース		15（9）	12（8）	2（2）	6.0倍	35.0倍		253	257
	演技コース		31（16）	29（16）	0（0）	—	—		—	—
	計	2	129（63）	118（60）	4（3）	—	—	—	—	—
美術学科	絵画コース	2	25（10）	24（10）	1（1）	24.0倍	20.0倍	200	180	181
	彫刻コース		2（0）	2（0）	1（0）	2.0倍	3.5倍		172	183
	計	2	27（10）	26（10）	2（1）	—	—	—	—	—
音楽学科	情報音楽コース	2	25（6）	23（6）	2（1）	11.5倍	18.5倍	200	159	176
	計	2	25（6）	23（6）	2（1）	—	—	—	—	—
文芸学科		6	124（67）	115（64）	17（10）	6.8倍	18.9倍	200	158	177
演劇学科	劇作コース	2	36（21）	34（21）	7（6）	4.9倍	※	200	154	※
	計	2	36（21）	34（21）	7（6）	—	—	—	—	—
放送学科		2	116（70）	106（65）	2（0）	53.0倍	52.0倍	300	266	263
デザイン学科		2	70（40）	64（38）	3（3）	21.3倍	54.0倍	200	172	200
合計		20	572（301）	526（287）	40（26）	—	—	—	—	—

※ 2018年度演劇学科は実施しておりません　　（　）内は女子内数

2020年度　日藝オーディション〈AO入学試験〉について

日本大学芸術学部らしい，ＡＯ入学試験〈日藝オーディション〉は，芸術各分野における入学後の目的が明確であり，その目的を実現するのに十分な能力を持っていること，さらにその能力を具体的に表現できることを基本的な出願条件として，公募に基づき選抜する試験です。学力試験だけでは判定することができない，「あなた」を具体的に表現できるか，その適性を求める入学試験です。

NU ART AUDITION!
日藝オーディション

日藝オーディション＜AO入学試験＞の流れ

（期日はすべて2019年となります）

【自己紹介アンケートのダウンロード】

もっとも興味・関心を持った学科の所定の「自己紹介アンケート」を本学部ホームページからダウンロードしてください（６月上旬に掲載予定）。

↓

【自己紹介アンケートへの回答】

期間内（**７月１日［月］～７月８日［月］**）に，「自己紹介アンケート」に回答してください
（簡易書留郵便にて締切日必着）。

↓

【エントリー】

①**エントリーシートの提出**
「自己紹介アンケート」回答者には，回答学科の「エントリーシート」を７月19日（金）に発送します。
受付期間：８月１日（木）～８月３日（土）（簡易書留郵便にて締切日必着）

②**結果通知：８月22日（木）**
エントリーシート等の内容により入学試験対象者を決定し，通過の可否にかかわらず全員に通知します。
なお，通過者には出願書類（「入学試験要項」等）を同封します。

↓

※エントリーまでは，入学検定料は徴収しません。

【入学試験】

出 願 期 間：８月30日（金）～９月４日（水）（簡易書留郵便にて締切日必着）
試 験 期 日：９月15日（日）・16日（月・祝）（学科・コースにより異なります）
※映画，文芸，演劇の各学科は，一次選考として実施し，一次選考通過者に対して９月29日（日）に二次選考を実施します
選 考 方 法：学科・コースにより異なります。
合格発表期日：10月９日（水）

2020年度　日藝オーディション〈AO入学試験〉概要

（期日はすべて2019年となります）

1　募集学科・コース及び募集人員

学　科	コ　ー　ス	募集人員
写　真		30名
映　画	映像表現･理論，監督，撮影･録音，演技	30名
美　術	絵画，彫刻	22名
音　楽	作曲･理論，音楽教育，声楽，ピアノ，弦管打楽，情報音楽	20名
文　芸		18名
演　劇	舞台構想，演技，舞台美術，舞踊	15名
放　送		5名
デザイン		16名

※映画，美術，音楽，演劇の各学科を志望する場合は，コースを１つだけ選択してください
※学科・コースの併願はできません

2　入学試験諸日程

内　容	
自己紹介アンケート回答期間	７月 １日（月）～７月 ８日（月） （簡易書留郵便に限る・締切日必着）※必ず提出してください。
エントリーシート受付期間	８月 １日（木）～８月 ３日（土） （簡易書留郵便に限る・締切日必着）
出　願　期　間	８月30日（金）～９月 ４日（水） （簡易書留郵便に限る・締切日必着）
試験（一次選考）期日	９月15日（日）・16日（月・祝）のうち学科指定日
二次選考期日	９月29日（日）※映画学科，文芸学科，演劇学科のみ実施
合格発表期日	10月９日（水）
入学手続期間	10月９日（水）～10月23日（水） ※入学時納入金は，入学手続期間内に一括納入となります

試験実施方法についての注意

学科により試験実施方法が異なります。下表を参照してください。

学　科	実施方法
写真，美術，音楽，放送，デザイン	９月15日（日）・16日（月･祝）の学科指定日のみ試験を実施します。
映画，文芸，演劇	９月15日（日）に実施する試験を「一次選考」とし，一次選考通過者を対象に，９月29日（日）に「二次選考」を実施します。

3　出願資格・出願要件

＜出願資格＞

高等学校または中等教育学校等を卒業した者あるいは2020年３月卒業見込みの者，及びそれと同等以上の学力があると認められる者。

＜出願要件＞

①試験の内容をよく理解した上で，エントリーを経て審査を通過した者。
②下表に示した，各学科が求める学生像をよく理解し，本学部を第一志望とする者。

学　科	求める学生像
写　真	次のいずれかに該当する者を求めます。 a　写真に関する明確な将来の志望を持っている者。 b　写真に特に強い興味・関心を持っている者。 c　写真の関連分野について顕著な成果をあげている者。
映　画	芸術分野に対する豊かな感受性を有し，映像表現分野における創作活動，あるいは映像理論分野における研究活動に対する能力が認められる者を求めます。
美　術	芸術領域において創造的・積極的な姿勢を持っている者で次のいずれかの分野に関する能力が認められる者を求めます。 a　絵画・版画・彫刻における創作活動 b　社会と芸術に関わる創作活動 c　美術に関する理論的研究活動
音　楽	次のいずれかに該当し，自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます。 a　音楽学科各コースの教育内容を理解し，考・動・創・力に富み，芸術，とりわけ音楽の素質豊かな潜在能力を有し，創作力，実技演奏力，論文表現力等に秀で，豊かな人間性を感じさせる者。 b　音楽活動（オーケストラ，吹奏楽，合唱，各種演奏オーディション，コンクール等）に積極的に参加し，実績をあげた者。
文　芸	次のいずれかに該当する者を求めます。 a　創作，評論を問わず，文芸表現を第一義にめざす者。 b　文芸表現分野において顕著な成果をあげている者。
演　劇	大学で舞台芸術を学ぶことについて積極的な動機を持ち，次のいずれかに該当する者を求めます。 a　演劇・舞踊に特別な可能性を見いだす者。 b　学力試験的な方法以外で実力をアピールしたい者。 c　一回限りの面接ではなく段階的また多面的に自己をアピールしたい者。 d　調査書にあらわれない学業的成果をもって自己をアピールしたい者。 e　その他の，意外なまたは例外的な経歴・個性あるいは「力」をアピールしたい者。
放　送	放送学科のカリキュラムを理解し，将来アナウンサーを志す者。
デザイン	次のいずれかに該当し，自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます。 a　デザインに関する明確な将来の志望を持っている者。 b　デザインを通じて社会・文化に貢献したいと考えている者。 c　新たなものごとやシステムを考え，デザインの視点から創作することが好きな者。 d　デザインに関わる新技術に興味を持ち，新たな「表現」や「ものづくり」に関心がある者。 e　デザイン・美術において顕著な成果を上げた者。

※出願に先立ち，「エントリー」を行っていただきます

4　自己紹介アンケートへの回答

本学部に興味や関心を持っていただいた方は，**最初に以下の要領に従って，自己紹介アンケートへの回答をお願いします。**

(1) 自己紹介アンケートの入手方法

本学部ホームページから**「もっとも興味・関心を持った学科」**の自己紹介アンケート及び宛名シート（いずれも６月上旬に掲載予定）をダウンロードし，必要事項を記入の上，本学部入試係あてに回答してください。

(2) 自己紹介アンケートの内容

ここでは「もっとも興味･関心を持った学科」に「あなた」をアピールしてください。詳細は下表を参照してください。

学　科	自己紹介アンケート　主な記入項目
写　真	自己紹介，興味・関心を持った理由，写真関連分野の実績，将来の希望，履歴
映　画	自己紹介，興味・関心を持った理由，履歴，自己PR，将来について
美　術	自己紹介，興味・関心を持った理由，芸術活動報告
音　楽	自己紹介，興味・関心を持った理由，各種芸術活動報告，音楽歴，特技・資格・趣味等，将来の展望
文　芸	自己紹介，興味・関心を持った理由，履歴，印象に残った作品，自由作文
演　劇	自己紹介，興味・関心を持った理由，履歴
放　送	自己紹介
デザイン	自己紹介，興味・関心を持った理由，履歴及び各種デザイン活動の有無，将来の目標，自己アピール

(3) 自己紹介アンケート回答期間

７月１日（月）～７月８日（月）　簡易書留郵便に限る（締切日必着）

5　エントリー

自己紹介アンケート回答者のうち，受験を決定した方は，以下の要領に従ってエントリーをしてください。

(1) エントリーシートの発送

「自己紹介アンケート」回答者に対して，「自己紹介アンケート受理通知」とともに，回答学科の「エントリーシート」及び「宛名シート」を**７月19日（金）**に発送します。

(2) エントリーシート受付期間

８月１日（木）～８月３日（土）　簡易書留郵便に限る（締切日必着）

(3) 提出書類

①エントリーシート（写真１枚貼付）

ここでは，「あなた」が「日藝」で学びたいことをテーマとして，自由に表現していただきます。

なお，エントリーする学科（コース）は，「自己紹介アンケート」で回答した学科（コース）と同一のものとします。

②宛名シート

③学科指定の提出物

写真学科・音楽学科・文芸学科・デザイン学科については，別途指定の提出物を提出してください（下表参照）。

学　科	学科指定の提出物
写　真	写真関連分野における実績がある場合は，関連資料またはその写し。写真作品は後日返却します
音　楽	各種芸術活動を証明する書類の写し
文　芸	文芸表現分野での実績がある者は，各種文芸賞または作文コンクール等の受賞や文芸活動を証明する書類の写し
デザイン	制作物をまとめたポートフォリオ（作品集）（A４サイズ）

(4) 審査及び審査結果通知発送日

提出されたエントリーシート（学科指定の提出物を含む）をもとに審査を行い，入学試験対象者を決定します。

審査結果は，**８月22日（木）**に通過の可否にかかわらず全員に通知します。

※「自己紹介アンケート」も参考とします

※ 学科・コースによっては，試験日までに課題提出等を求める場合があります

6　入学試験

(1) 出願期間

8月30日（金）～9月4日（水）　簡易書留郵便に限る（締切日必着）

※ 出願方法，提出書類等の詳細は「入学試験要項」を確認してください

(2) 試験場

本学部校舎

(3) 試験期日及び試験科目

①9月15日（日）・16日（月・祝）の期間に実施する学科

学　科	試験期日及び試験科目	
	9月15日（日）	9月16日（月・祝）
写　　真	①実　技　②プレゼンテーション	面　接（事前小論文課題を含む） ※自作作品持参可
美　　術	コース別専攻別試験	実施せず
音　　楽	コース別試験	①コース別試験　②面　接
放　　送	①適性をみる課題　②小論文	面　接
デザイン	①実　技　②面　接	①実　技　②プレゼンテーション　③面　接

※ 音楽学科試験科目については，50ページの『2020年度音楽学科入学試験実技課題曲案内』に従ってください

※ 受験曲目等を学科サイトより別途入力してください。詳細は『入学試験要項』で指示します

②9月15日（日）に一次選考，9月29日（日）に二次選考を実施する学科

学　科		試験期日及び試験科目	
		9月15日（日）【一次選考】	9月29日（日）【二次選考】
映　　画		①コース別試験　②面　接	コース別適性試験
文　　芸		小論文または作文	面　接
演劇	舞台構想コース 舞台美術コース	①作　文　②ワークショップ	面　接
	演技コース 舞踊コース	①作　文　②実　技	面　接

※ 学科・コースによっては，二次選考までに課題提出等を求める場合があります

③結果通知発送日

	一次選考結果通知日	最終合格（二次選考）結果通知日
写真，美術，音楽， 放送，デザイン		10月9月（水）
映画，文芸，演劇	9月19日（木）	

※ 結果にかかわらず全員に通知します

2019年度(昨年度)　日藝オーディション〈AO入学試験〉結果

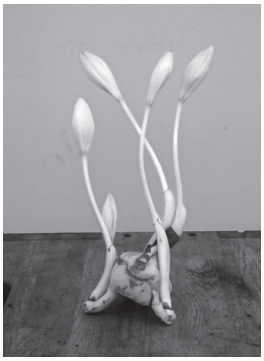
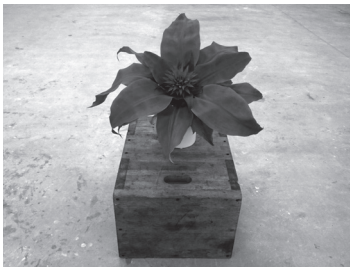
学科・コース ＼ 項目		募集人員	エントリー者数	試験(一次選考)対象者数	試験(一次選考)志願者数	一次選考受験者数(A)	二次選考対象者数	試験(二次選考)受験者数(B)	合格者数(C)	競争率(A)/(B)または(B)/(C)	2018年度競争率
写真学科		26	101 (60)	53 (39)	51 (37)	—	—	51 (37)	26 (21)	2.0倍	2.0倍
映画学科	映像表現・理論コース	20	52 (24)	42 (23)	39 (22)	39 (22)	20 (13)	20 (13)	11 (7)	3.5倍	4.4倍
	監督コース		49 (19)	15 (9)	15 (9)	15 (9)	6 (3)	6 (3)	4 (2)	3.8倍	4.2倍
	撮影・録音コース		28 (20)	20 (15)	20 (15)	20 (15)	12 (9)	12 (9)	10 (8)	2.0倍	2.7倍
	演技コース		92 (60)	32 (21)	32 (21)	32 (21)	13 (8)	13 (8)	6 (3)	5.3倍	4.9倍
	計	20	221 (123)	109 (68)	106 (67)	106 (67)	51 (33)	51 (33)	31 (20)	—	—
美術学科	絵画コース	20	34 (22)	34 (22)	30 (20)	—	—	30 (20)	27 (19)	1.1倍	1.1倍
	彫刻コース		2 (1)	2 (1)	2 (1)	—	—	2 (1)	2 (1)	1.0倍	1.1倍
	計	20	36 (23)	36 (23)	32 (21)	—	—	32 (21)	29 (20)	—	—
音楽学科	作曲・理論コース	20	6 (1)	6 (1)	6 (1)	—	—	6 (1)	6 (1)	1.0倍	1.2倍
	音楽教育コース		14 (12)	11 (9)	11 (9)	—	—	11 (9)	5 (4)	2.2倍	1.2倍
	声楽コース		5 (4)	4 (4)	4 (4)	—	—	4 (4)	4 (4)	1.0倍	1.3倍
	ピアノコース		11 (9)	11 (9)	10 (8)	—	—	10 (8)	7 (6)	1.4倍	1.0倍
	弦管打楽コース		13 (12)	13 (12)	13 (12)	—	—	13 (12)	10 (9)	1.3倍	1.9倍
	情報音楽コース		36 (18)	17 (12)	17 (12)	—	—	17 (12)	7 (4)	2.4倍	2.2倍
	計	20	85 (56)	62 (47)	61 (46)	—	—	61 (46)	39 (28)	—	—
文芸学科		18	61 (37)	61 (37)	59 (35)	59 (35)	40 (26)	40 (26)	29 (20)	2.0倍	2.2倍
演劇学科	劇作コース	15	7 (4)	4 (3)	4 (3)	4 (3)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	—	3.5倍
	演出コース		26 (20)	9 (7)	8 (6)	8 (6)	3 (2)	3 (2)	2 (1)	4.0倍	2.3倍
	演技コース		145 (105)	39 (31)	38 (30)	38 (30)	4 (3)	4 (3)	3 (2)	12.7倍	12.3倍
	装置コース		7 (7)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	—	3.0倍
	照明コース		17 (13)	7 (5)	7 (5)	7 (5)	3 (2)	3 (2)	2 (1)	3.5倍	9.0倍
	日舞コース		8 (8)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	1.7倍	1.5倍
	洋舞コース		33 (30)	16 (16)	16 (16)	16 (16)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4.0倍	4.0倍
	企画制作コース		14 (13)	5 (5)	4 (4)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	5.0倍
	計	15	257 (200)	90 (77)	87 (74)	87 (74)	20 (17)	20 (17)	14 (11)	—	—
放送学科		5	43 (31)	24 (20)	23 (19)	—	—	23 (19)	2 (2)	11.5倍	7.7倍
デザイン学科		16	57 (36)	40 (25)	39 (25)	—	—	39 (25)	24 (16)	1.6倍	1.6倍
合計		140	861 (566)	475 (336)	458 (324)	252 (176)	111 (76)	317 (224)	194 (138)	—	—

( ) 内は女子内数

2019年度(昨年度)　日藝オーディション〈AO入学試験〉科目(課題)一覧

学科・コース		科　目　・　課　題
写　　真		**①事前小論文課題**（試験当日持参） 写真のもつ社会における機能と力は何か，そしてそれは今後どのように展開すると考えますか。(1,000字程度) **②実　技**（1日目） 「こちらで用意した機材のみを使って撮影する」 ・学部校舎校地内における写真撮影。(60分) ・デジタル一眼レフカメラを貸与し，使用方法を説明後撮影。こちらで用意した機材のみを使って撮影する。 また，三脚，撮影用被写体・小道具等は持参不可。 ・5枚の写真を提出する。 **③プレゼンテーション**（1日目） プレゼンテーション及び質疑応答（10分程度） ・実技試験で，自分が撮影した作品（5枚）を通してプレゼンテーションする。 **④面　接**（自作作品持参可）（2日目）
映画	映像表現・理論	**一次選考** **①記述試験** (1)上映する作品は，成瀬巳喜男監督初期のサイレント映画「腰弁頑張れ」(1931年作）である。この作品を観て，あなたが感じたことを書きなさい。(60分・800字以内) ※成瀬巳喜男「腰弁頑張れ」1931年 (2)「真っ赤な嘘」をキーワードに，ストーリーを作りなさい。(60分・800字以内) **②面　接** **二次選考** **①以下は養老孟司『バカの壁』の一節です。これを読んで，あなたが考えることを述べなさい。**(80分・1000字以内) （題名は自由に付けてください） ※養老孟司「バカの壁」新潮社，2003年，184～185ページ **②今年は明治150年の年に当たります。もしもあなたがタイムトラベルで150年前に戻り，未来を変えることができるとしたら，どこで何をしますか。** **なお，未来が変わってしまったとしても，あなたの存在は脅かされないものとします。** ＊10分間で発表準備をし，各自2分間のプレゼンテーションをしてください。 ＊各自がプレゼンテーションを終えた後に，複数名で約5分間のディベートを行います。
	監　督	**一次選考** **①レポート課題**（事前に郵送により提出） あなたの好きな最近の日本の映画について好きな理由を2,000字程度でまとめてください。 （必ず，終わりまで書き上げること） **②レポート課題**（60分・800字以内） 短編映画2作品を鑑賞し，その内1作品の感想と批評をレポートにまとめなさい。 その際，レポートには必ず題名を付け題名欄に記入すること。 ※平成20年度，25年度映画学科卒業制作作品 **③面　接** **二次選考（事前に課題を通知）** **ショート・シチュエーションを演出・撮影していただきます。** **【試験方法】** (1)4ショットの作品を創っていただきます。 (2)撮影機材は，ビデオカメラ（大学所有）を使用します。 (3)出演俳優は本学部の在学生に依頼しますので，試験当日，演技内容を指示してください。 (4)編集は本学部の教職員が行います。 (5)全員で完成試写を行います。 **【創作主題】「待つ」** 約束の場所で友達と待ち合わせをしているが，なかなか待ち人が来ない。待っている人の心境を表現してください。 **【創作条件】** (1)登場人物は1名です。なお，あなたと異性で考えてください。 (2)撮影場所は，好天の場合は学校構内の屋上とし，雨天の場合は教室内とします。なお，撮影場所は当日の状況により判断します。どこでも表現できるように考えておいてください。 (3)俳優は本学部在学生が行います。 (4)完成作品の時間は60秒程度，70秒以内とします。 (5)台詞（独り言）の有無はどちらでも構いませんが，音楽や効果音は考慮しない内容にしてください。アフレコ作業などは行いません。 **【当日持参するもの】** 上記4ショットの画コンテ及び台詞がある場合は，シナリオを書いて持参してください。 **【参考】** (1)カメラは簡単な機材を用意します。当日の説明で十分理解できますので，操作については心配しなくて結構です。 (2)打ち合わせ時間は機材の取扱い説明等も含め，全体で1時間程度です。 (3)撮影時間は1人30分程度です。 (4)編集終了後，口頭試問を行います。

学科・コース		科　目　・　課　題
映画	撮影・録音	**一次選考** **①記述試験** (1)これから映画を上映します。この映画をみて「作品テーマと音の関係」について記述してください。 （上映時間と記述時間合わせて90分・600字） ※映画学科制作作品 (2)これから映画を上映します。この映画をみて「この映画のテーマについて」書きなさい。また,「撮影者はどのようなことを工夫して撮影していると思うか」,記述してください。 （２回の上映時間と記述時間合わせて80分・600字） ※平成29年度映画学科卒業制作作品 **②面　接** **二次選考** **①(1)「デジタルカメラでの白黒写真撮影」** **(2)「撮影した写真についてのプレゼンテーション」** 撮影場所 ・撮影スタジオ１ 被写体 ・撮影スタジオ１に用意してある静物（自由に選んでください） ・撮影時間は30分とします（試験官の合図で始めます） ・撮影終了後,教室で「記録メディア」と「試験問題用紙」を提出していただきます。その後カメラを返却してください。 ・撮影した写真データは試験官及び補助係員が教室でノートパソコンにデータを取り込みます。その後,撮影した写真の中から２枚選んでください。再集合時（※最集合の時間は別途指示します）に選んだ写真について「撮影で工夫した点」を試験官に説明していただきます。写真はプロジェクターにて上映します。 **②8種類の写真と音の組み合わせから一つだけ選んでください。** あなたの選んだ写真と音からイメージしてください。 (1)季節はいつですか？時間は何時頃ですか？場所はどこですか？ (2)あなたなら何の音を足したい（または削除したい）ですか？それはなぜですか？ (3)この写真にストーリーがあるとしたらどんなものですか？ を一人ずつプレゼンテーションしていただきます。 プレゼンテーション原稿を考えている間は，いつでもあなたが選んだ写真を見ながらヘッドフォンで音を聴くことができます。 プレゼンテーション用の用紙と，この問題用紙はプレゼンテーション終了後に回収します。
	演　技	**一次選考** **①レポート課題**（事前に郵送により提出） 最近の作品で一番感動した演技＜映画・演劇・TVドラマ・CM・アニメ（声優）・ドキュメンタリー(ナレーション）＞について800字程度で何故かを述べてください。 **②レポート課題**（60分・800字） 短編映画を鑑賞し，登場人物一人を選び，その役作りについて800字でまとめてください。 その際，レポートには必ず題名を付け題名欄に記入すること。 ※平成29年度映画学科卒業制作作品 **③実　技** **発声１ 次の内容をはっきりと述べてください。** 受験番号（　　）番,（　氏名　）です。出身は（　都道府県名　）で，学校は（　学校名　）高校を卒業する予定です。年齢は，（　　）歳です。 **発声２ 次の文章を朗読してください。** ※Jimmy Neil Smith編著，阿彦周宜訳「ストーリーテラーたち―現代アメリカのフォークロア―」大修館書店，1992年，424～425ページ **動　作 次の内容をしぐさのみで表現してください。** ［設定］猛暑の夏休み，昼下がりに補習が終わって帰宅する。家には誰も居ないので，家中猛烈に暑い。 荷物を置いて,クーラーのスイッチを入れるが,なかなか冷えないので,たまらず扇風機を付けて風に当たる。 少し涼しくなってきたので，荷物を片付ける。 財布がないことに気付く。 最後にどこで財布を出したのかを考え思い出し，心配になりながら家を出て行く。 （そのまま退出してください） **④面　接**

学科・コース		科　目　・　課　題
映画	演　技	**二次選考（事前に課題を通知）** **①ショート・シチュエーションを演技していただきます。** **【試験前準備】** (1)以下の設定から自分の希望の設定を選び，２人の芝居を考えてきてください。 **1)口喧嘩　2)世間話　3)内緒話** なお，相手役の設定は，あなたと同性で考えてください。 (2)台詞の入った脚本を書いてきてください。 (3)自分が演じる役の台詞を覚えてきてください。 (4)60秒以上，90秒以内の時間で収まるようにしてください。 **【試験方法】** (1)本学部の在学生を相手役として，他の方々の前で芝居を演じていただきます。 (2)２人の芝居を，教職員が撮影します。 (3)作品は最終的に上映し，採点します。 (4)上記課題の終了後，口頭試問を行います。 **②あなたの決意を宣言していただきます。** **【試験前準備】** (1)宣言にタイトルをつけてきてください。(「～宣言」) (2)下記の例に捕らわれずに，自らが映画学科演技コースで学ぶ決意を述べてください。 (3)20秒以上，30秒以内でまとめてください。 例：「世界人権宣言」 **【試験方法】** カメラに向かって宣言していただきます。
美術	絵　画	**①実　技**（６時間） 油彩・アクリル・水彩・鉛筆・木炭のいずれかを選択し，静物画を描く。 ≪キャンバスはF 15号，その他の支持体は65cm × 50cm ≫ [モチーフ] 布　× 1 瓶　× 1 幾何系体　× 1 かぼちゃ　× 1 りんご　× 1 バケット　× 1 **②面　接**
	彫　刻	**①実　技**（６時間）（１日目） 鉛筆・木炭のいずれかまたは併用して，モノと空間を描く。 ≪画用紙または木炭紙　65cm × 50cm ≫ [モチーフ] コルチカム　× 1 箱椅子　× 1  **②実　技**（６時間）（２日目） 鉛筆・木炭のいずれかまたは併用して，モノと空間を描く。 ≪画用紙または木炭紙　65cm × 50cm ≫ [モチーフ] エクメア　タヨエンシス　× 1 箱椅子　× 1  **③面　接**（２日目）

学科・コース		科　目　・　課　題
音楽	作曲・理論	作曲　①**実　技**（１日目） **(1)自作品（当日持参）の審査ならびに口述試問** **(2)作曲試験**：指定した旋律を冒頭におき，オーボエ独奏のための小品を作りなさい。(120分) ②**面　接**（２日目） 理論　①**実　技**（１日目） **(1)音楽に関するレポート（当日持参）の審査ならびに口述試問** **(2)任意の器楽曲または声楽曲の演奏** ②**面　接**（２日目）
	音楽教育	①**実　技**（１日目） **(1)小論文** 次のテーマから１つを選び800字程度の小論文を書きなさい。(60分) １ 音楽教育がもたらすもの ２ 生涯学習として音楽の果たす役割 ３ 音楽教育コースで学びたいこと **(2)ピアノ**：任意のピアノ曲 **(3)声楽**：任意の声楽曲 ②**面　接**（２日目）
	声　楽	①**実　技**（１日目） **声楽（＊）** （＊）『2019年度音楽学科入学試験実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択 ②**面　接**（２日目）
	ピアノ	①**実　技**（１日目） **(1)練習曲またはバッハ(＊)** **(2)ソナタ(＊)** **(3)任意のピアノ曲** （＊）『2019年度音楽学科入学試験実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択 ②**面　接**（２日目）
	弦管打楽	①**実　技**（１日目） **(1)音階及び分散和音（当日指定の調）(＊)** （＊）「2019年度音楽学科入学試験実技課題曲案内」の音型例による （＊）小太鼓受験者は，基本奏法（１つ，２つ，５つ打ちより当日指定） **(2)任意の楽曲または練習曲** ②**面　接**（２日目）
	情報音楽	①**実　技**（１日目） **(1)任意の楽曲（任意の楽器または歌唱）** **(2)口頭発表** テーマを下記の中から一つ選択して２時間で口頭発表の準備をせよ。 発表時間は５分以内とする。プレゼン方法及びプレゼンツールは自由とする。 １ 私の今後の10年計画 ２ ライブでのＶＲ技術について ３ なぜ音楽は人を感動させるのか？ ４ 2020年東京オリンピック開会式のパフォーマンス予想 ５ 次世代の電子楽器を考える ②**面　接**（２日目）

学科・コース	科　目　・　課　題
文　　芸	**一次選考** **作文または小論文**（180分・3,200字以内） 次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。 （タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください） ①「無自覚に同じことを繰り返す人」が登場する話を作文してください。 ②「架空の存在にリアリティを与える方法」について自由に論じてください。 **二次選考** **面　接**
演　　劇 （全コース）	**一次選考** ①**ワークショップ**（90分） 「指定されたグループごとに，配布された試験当日の新聞記事をもとに，10分程度の作品を創作。創作の時間は50分間。創作の前に会場ごとに20分のウォーミングアップを実施（ウォーミングアップは採点には含まない）」 ②**プレゼンテーション（全コース共通）** **(1)ペーパープレゼンテーション（小論文）**（60分・400～600字） 「あなたが考える理想の情報入手方法について述べよ」 **(2)プレゼンテーション**（作成時間30分） 「ワークショップにおけるグループワークで，自分なりにどのような関わり方をしたか。また，どのような成果をあげられたか，客観的に伝えてください」 ワークショップにおける課題に基づき，まずプレゼンテーションのための資料（全コース共通で，ワークショップを客観的に振り返ってもらう）を30分で作成し，その資料に基づき各コース別に実施。 **二次選考** **面　接** ※面接の参考資料を事前に郵送により提出すること。 **【必須】**自己をアピールするチラシ（Ａ４片面）を１部（作成手段は自由） **【任意】**面接時に用いたい資料（集）（二次元のものに限る） ※装置コースの受験生は，自分で制作した作品（ジャンルは問わない）を試験当日に持参すること。
放　　送	①**作　文**（60分・600字）（１日目） 「忖度」 ②**適性をみる課題**（１日目） テレビスタジオで音声・カメラテストを行う。 ２分程度の自己紹介を考え，指定のニュース原稿を読む。 ③**面　接**（２日目）

学科・コース	科　目　・　課　題
デザイン	**①予備課題** 「私」を代表する作品１点を発表用にわかりやすくまとめてくる。 **②持参作品** 予備課題以外に作品３点以内を試験１日目に持参してください。なお，映像作品については，タブレット端末またはノートＰＣの持参による発表を認めます。 **③実　技**（１日目） **⑴デザイン**（５時間／昼食１時間）（１日目） **テーマ：「自然災害」についてのデザイン提案** 自然災害とは，危機的な自然現象（例えば気象，火山噴火，地震，地すべり）によって，人命や人間の社会的活動に被害が生じる現象をいう。日本の法令上では「自然災害」は「暴風，豪雨，豪雪，洪水，高潮，地震，津波，噴火その他の異常な自然現象により生ずる被害」と定義されている（被災者生活再建支援法第２条第１号） この現象に対してデザインでどのような問題を解決できるのか具体的に提案してください。もしくは問題点を抽出して知らしめるための提案でも構いません。例えば，新しい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題を知ってもらうための広告」など，あなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。 ２枚のＰＭパッド（薄い紙）にはそのアイデアに至った経緯を描き，ケント紙には最終案を１案示し，デザインのポイントを明示してください。 ・与えられた画材以外は持参した鉛筆のみを使用可とする ・着彩は自由 ・使用画材：色鉛筆，デッサンで使用する鉛筆やデッサン道具 **⑵面接及びプレゼンテーション**（約10分程度） 予備課題，持参作品を発表する。 **④実　技**（２日目） **⑴ドローイング**（４時間） 顔に手を添えて（頬杖でも可）熟考する自分」を想定し画用紙に鉛筆でデッサンしてください。更には背景は各自，自由に設定し描き込んでください。 ※鏡自体は描いても描かなくてもどちらでも構いません。 ・はかり棒は使用してもよい **⑵グループ面接及びプレゼンテーション**（約１時間半程度） 前日作品（デザイン）の発表及び質疑応答

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2020年度　一般推薦（公募制）入学試験について

全国から意欲ある受験生を求めます！

一般推薦（公募制）入学試験は，指定校推薦入学試験とは異なり，広く全国の高等学校あるいは中等教育学校等の現役生を対象にした推薦入学試験です。
皆さんの学力は，出身学校の調査書をもとに判断し，小論文，作文，面接，実技等の学科別試験によって適性を判定します。
※放送学科は募集していません。

一般推薦（公募制）入学試験の流れ

（期日はすべて2019年となります）

【入学試験要項の入手】

頒布時期：９月上旬を予定
※請求方法については，本学部ホームページにて確認してください

↓

【出　願】

出願期間：**11月１日（金）～11月６日（水）**（簡易書留郵便に限る・締切日必着）

↓

【入学試験】

試験期日：**11月24日（日）**
選考方法：学科・コースにより異なります。

↓

【合格発表】

発表期日：**12月３日（火）**

2020年度　一般推薦（公募制）入学試験概要

（期日はすべて2019年となります）

1　募集方法

公募制

2　募集学科・コース及び募集人員

学　科	コ ー ス	募集人員
写　真		21名
映　画	映像表現･理論，監督，撮影･録音，演技	8名
美　術	絵画，彫刻	3名
音　楽	作曲･理論，音楽教育，声楽，ピアノ，弦管打楽，情報音楽	14名
文　芸		17名
演　劇	舞台構想，演技，舞台美術，舞踊	27名
デザイン		15名

※映画，美術，音楽，演劇の各学科を志望する場合は，コースを１つだけ選択してください
※学科・コースの併願はできません。また，放送学科は募集しません

3　入学試験諸日程

内　容	
出願期間及び方法	11月 1日(金)～6日(水)（簡易書留郵便に限る・締切日必着）
試　験　期　日	11月24日(日)
合格発表期日	12月 3日(火)
入学手続期間	12月 3日(火)～12月16日(月) ※入学時納入金は，入学手続期間内に一括納入となります

※ 出願方法，提出書類等の詳細は「入学試験要項」を確認してください

4　出願資格・出願要件

①学業・人物が優秀で，高等学校または中等教育学校等を2020年３月卒業見込みの者。
　ただし，本学付属高等学校等（26校）に在学の者は除きます。
②それぞれの分野に対する強い情熱を有し，芸術的資質に恵まれていて，将来性のある者。かつ合格した場合，本学部に入学することを確約できる者。
③下記の学科で定めた資格を有する者（調査書には必ず学年ごとに評定が記載されていること）。

学　科	学科別の詳細
写　真	全体の評定平均値が3.3以上の者。
映　画	下記のすべての条件を満たす者。 (1)映像作品制作の活動，評論，シナリオを含む作品を執筆，または演技において過去５年以内に積極的な活動を行ってきた者。 (2)全体の評定平均値が3.5以上の者。
美　術	下記のＡまたはＢの条件を満たす者。 Ａ　美術・デザイン・造形に関する専門科目を24単位以上修得見込みの者で，全体の評定平均値が3.0以上の者。 Ｂ　全体の評定平均値が3.5以上の者。
音　楽	音楽に関する専門科目を６単位以上修得見込みの者で，全体の評定平均値が3.3以上の者。
文　芸	全体の評定平均値が4.0以上の者。
演　劇	全体の評定平均値が3.5以上の者。
デザイン	全体の評定平均値が3.5以上の者。

5　推薦者

在学する高等（中等教育）学校長

6　試験科目

学　科	科　　目
写　　真	①書類選考 ②小論文（60分・800～1,000字） ③面　接
映　　画	①書類選考 ②小論文あるいは実技 映像表現･理論，監督，撮影･録音コース：小論文（100分・1,000字程度） 演技コース：実技（基礎的な音声及び身体表現） ※服装については，動きやすい普段着とします ③面　接
美　　術	①書類選考 ②小論文あるいは実技 絵画コース：絵　画－実技（油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し，静物を描く。［6時間］） ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンバス（F15号），画用紙，木炭紙，カルトン，イーゼル等は大学で用意します 版　画－実技（デッサン　鉛筆･木炭のいずれかを選択し，静物を描く。［6時間］） ※鉛筆，木炭，消しゴム等を持参してください ※画用紙，木炭紙，カルトン，イーゼル等は大学で用意します 彫刻コース：彫　刻－実技（デッサン　鉛筆･木炭のいずれかを選択して，モノと空間を描く。［6時間］） ※鉛筆，木炭，消しゴム等を持参してください ※画用紙，木炭紙，カルトン，イーゼル等は大学で用意します 地域芸術－小論文（60分・800字以内） ③面　接 ※両コースとも，出願後すみやかに，受験する専攻を選択してください（詳細は『入学試験要項』で指示します）
音　　楽	①書類選考 ②実　技（一部のコースで小論文も実施） 作曲･理論コース：作曲－（1）作曲　（2）ピアノ 理論－（1）小論文（60分・800字程度）（2）ピアノ 音楽教育コース：(1) 小論文（60分・800字程度）（2）ピアノ　(3) 声楽 声楽コース：(1) 声楽　(2) ピアノ ピアノコース：ピアノ 弦管打楽コース：(1) それぞれの専攻する弦楽器，管楽器または打楽器　(2) ピアノ 情報音楽コース：(1) 小論文（60分・800字程度）（2）演奏 ※課題曲等の詳細については，47～49ページ『2020年度音楽学科入学試験実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください。詳細は『入学試験要項』で指示します ③面　接
文　　芸	①書類選考 ②小論文または作文（60分・800字以内） ③面　接
演　　劇	①書類選考 ②実　技 舞台構想コース：ワークショップ 演技コース：(1)演技　(2)音感・リズム感 ※体操着及び上履きを持参してください。 舞台美術コース：プレゼンテーション ※舞台美術コース志願者は，入学後の専攻にかかわらず共通の試験内容となります 舞踊コース：日舞－各自所属流派修得の任意の曲目を踊る ※着物，帯，足袋，扇子，上履きを持参してください ※自由選択の曲については，カセットテープ，CDあるいはMDを持参してください 洋舞－リズム運動，舞踊的身体運動及びイメージ表現 ※稽古着（タイツ，レオタード，シューズ）を持参してください ※舞踊コース志願者は，出願後，指定された期日までに，受験する専攻の試験内容（日舞または洋舞）を演劇学科へ郵送してください（詳細は『入学試験要項』で指示します） ③面　接
デザイン	①書類選考 ②実　技 鉛筆によるデッサン（4時間）またはデザインプレゼンテーション（4時間）のいずれかを選択 ※実技試験科目は事前の選択が必要です（受験票の記載に従って入力していただきます。詳細は『入学試験要項』で指示します）。 ※選択にかかわらず，デッサン用鉛筆，クリップ，消しゴム（練ゴム），カッターナイフ等を持参してください(デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可) ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ③面　接

7　入学試験場

本学部校舎

8　出願資格確認等のための事前提出物

映画学科志願者は，出願資格の確認及び面接試験の参考とするため，下表の証明物を**出願期間内に提出してください**。審査の結果，条件を満たさないと判断された場合は，出願資格の⑴を充足しないことになり，出願書類は受理できません。

学　科	提 出 作 品 ・ 資 料 等
映　画	**映像表現･理論，監督，撮影･録音コースの各コース志願者** 過去５年以内で積極的な活動を行ったことを証明できる映像作品・評論・執筆作品・資料等（２点以内）。ここでいう積極的活動とは，コンクールでの受賞・入選や学校行事等での発表・上映等をさす。ただし，自分の担当が演技のみの作品は受け付けない。また，動画サイト，掲示板等への投稿は含まない。 **演技コース志願者** 過去５年以内で演技に関して積極的な活動を行ったことを証明できる作品・資料等（２点以内）。提出するものは発表，上演等で公表されたものでなければならない。また，その提出物の中で自分の担当が何であったかを明示する。出演作品などのＤＶＤ等で提出する場合は，役名及び出演箇所（シーン，冒頭からの時間）をわかるようにしておく。 **※全コースとも，入学試験要項に同封の「映画学科証明物提出票」を添付してください。** なお，インターネット上の動画情報は，提出物として認めません

※上記の内容については，「学部Ｑ＆Ａ」に補足説明があります（53 ページを参照してください）。
※証明物は，出願書類とは別に提出してください（詳細については「入学試験要項」でお知らせします）
※提出物については，下記の持参作品と同様に，面接試験終了後に返却します

9　持参作品等

写真学科，音楽学科作曲･理論コース（作曲），及びデザイン学科志願者は，面接試験の参考資料とするため，自作作品等を入学試験日当日に持参してください。演劇学科舞台美術コース志願者は，自作作品を試験当日に持参してかまいません（持参は任意とし，持参の作品は面接試験時の参考とします）。（下表参照）

学　科	持 参 作 品 等
写　真	積極的な写真活動を証明できる作品10点以上（受賞・入選作品がある場合は賞状や作品の掲載された印刷物も持参してください）。ただし，全体の評定平均値が 3.8以上の者の作品持参は任意とします ※上記の内容については，「学部Q&A」に補足説明があります（53ページを参照してください）
音　楽	**作曲･理論コース（作曲）志願者**は，３分程度の自作のピアノ曲の楽譜
演　劇	**舞台美術コース志願者**は，石膏像デッサン，水彩画等を試験当日に持参してかまいません
デザイン	自作作品５点以内とします。 なお，映像作品については，タブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

※持参作品等については，面接試験終了後に返却します

10　入学試験要項

入学試験要項は９月上旬より頒布予定です。請求方法については，本学部ホームページにて確認してください。

2019年度（昨年度）　一般推薦（公募制）入学試験結果

学科・コース ＼ 項目		募集人員	志願者数	受験者数（A）	合格者数（B）	競争率（A）/（B）	2018年度競争率
写真学科		25	27（13）	26（13）	22（12）	1.2倍	1.4倍
映画学科	映像表現・理論コース	8	7（5）	7（5）	2（1）	3.5倍	1.8倍
	監督コース		8（3）	8（3）	4（2）	2.0倍	3.7倍
	撮影・録音コース		3（2）	3（2）	1（1）	3.0倍	1.2倍
	演技コース		7（5）	5（3）	2（2）	2.5倍	12.0倍
	計	8	25（15）	23（13）	9（6）	—	—
美術学科	絵画コース	4	4（3）	4（3）	2（2）	2.0倍	1.5倍
	彫刻コース		3（2）	3（2）	3（2）	1.0倍	—
	計	4	7（5）	7（5）	5（4）	—	—
音楽学科	作曲・理論コース	14	0（0）	0（0）	0（0）	—	—
	音楽教育コース		3（3）	3（3）	2（2）	1.5倍	—
	声楽コース		0（0）	0（0）	0（0）	—	1.0倍
	ピアノコース		3（3）	3（3）	3（3）	1.0倍	1.0倍
	弦管打楽コース		0（0）	0（0）	0（0）	—	1.0倍
	情報音楽コース		4（1）	4（1）	1（1）	4.0倍	1.0倍
	計	14	10（7）	10（7）	6（6）	—	—
文芸学科		15	17（11）	16（11）	15（10）	1.1倍	1.0倍
演劇学科	劇作コース	27	0（0）	0（0）	0（0）	—	1.0倍
	演出コース		10（10）	10（10）	2（2）	5.0倍	1.0倍
	演技コース		45（33）	44（32）	9（2）	4.9倍	21.7倍
	装置コース		7（7）	7（7）	2（2）	3.5倍	2.3倍
	照明コース		5（4）	5（4）	3（2）	1.7倍	3.0倍
	日舞コース		4（4）	4（4）	2（2）	2.0倍	1.0倍
	洋舞コース		11（11）	11（11）	5（5）	2.2倍	2.3倍
	企画制作コース		5（4）	5（4）	3（3）	1.7倍	1.4倍
	計	27	87（73）	86（72）	26（18）	—	—
デザイン学科		15	19（15）	17（13）	15（11）	1.1倍	1.8倍
合計		108	192（139）	185（134）	98（67）	—	—

※放送学科は募集していません。　　（　）内は女子内数

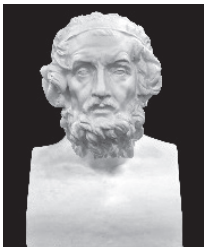
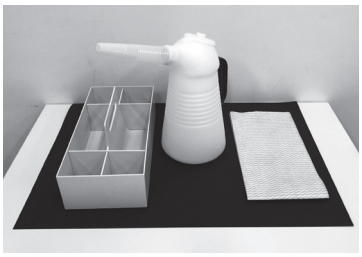
2019年度(昨年度)　一般推薦(公募制) 入学試験小論文・作文課題一覧

学科・コース		時間	字数	課　　題
写　　真		60分	800～1,000字	＜小論文＞ これは写真家・原直久氏が2001年に撮影した作品です。この写真を見てあなたが読みとったこと感じたこと考えたことを述べなさい。 ※原直久「8−10390　2001/9/10　14:59 ソウル 韓国」
映　　画 (演技を除く)		100分	1,000字以内	＜小論文＞ 以下の文章を読みあなたの考えを述べなさい。 ※近藤敦「メリット多く容認強まる」『東京新聞』記事より抜粋，中日新聞社，2018年9月30日
音楽	作曲・理論 (理論)	—	—	【当該コース志願者なし】
音楽	音楽教育	60分	800字程度	＜小論文＞ 次のテーマから1つを選び800字程度の小論文を書きなさい。 1 音楽教員としての音楽的能力について 2 社会活動としての音楽の役割について 3 あなたの目指す音楽教員像について
音楽	情報音楽	60分	800字程度	＜小論文＞ 下記の３つの題目から１つ選択し，800字程度の小論文を完成させてください。 1 情報音楽コースで研究したいことについて 2 調性が人間の感情に与える影響について 3 アコースティック楽器と電子楽器の違いについて
文　　芸		60分	800字以内	＜小論文または作文＞ 次の二つのうち一つを選んで，文章を書いてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください) ①「一貫性のない行いをする人」が登場する作文を書いてください。 ②「装うこと」について自由に論じてください。
演　　劇 (劇作，演出，照明，企画制作)		60分	600字	＜作文＞ 「人はなぜ服を着るのか」をタイトルにして，あなたの考えを述べよ。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2019年度(昨年度)　一般推薦(公募制) 入学試験実技科目(課題) 一覧

学科・コース		科　目　・　課　題
映　画 (演技)		**基礎的な音声及び身体表現** **発声 1　次の内容をはっきりと述べてください。** 受験番号（　　）番，（　氏名　）です。出身は（　都道府県名　）で，学校は（　学校名　）高校を卒業する予定です。年齢は，（　　）歳です。 **発声 2　次の文章を朗読してください。** ※伊丹万作著，「伊丹万作エッセイ集」筑摩書房，2010年，107～109ページより抜粋 **動　作　次の内容をしぐさのみで表現してください。** 〔設定〕夕方，クラブ活動が終わり帰宅する。両親は共稼ぎのため，家には誰もいない。 いつものように，玄関のカギを開け家に入る。 居間に入ると，本が散らかっていたり，タンスの引き出しが，引き出されていたりでびっくりする。 恐る恐る隣の部屋に入っていく。やはり部屋は荒らされている。窓を確認するが異常はない。 二階の自分の部屋に忍び足で上がっていく。ドアも窓も開いており，部屋が荒らされている。 窓を閉めて本棚に置いてある貯金箱を手にすると，お金が無くなっている。 一階で物音がする。 泥棒かもしれないと思い，恐る恐る一階を覗きに部屋を出る。 （そのまま退室してください）
美術	絵　画	**油彩による静物画** （アクリル絵の具併用可）（6時間）≪F 15号キャンバス≫ ［モチーフ］ 布　× 1 観葉植物　× 1 ガラスコップ　× 1 ビー玉 ポット　× 1
美術	彫　刻	**デッサン** （鉛筆・木炭のいずれかを選択し，モノと空間を描く）（6時間） ≪画用紙または木炭紙　65cm × 50cm≫ ［モチーフ］ フィロデンドロン　インペリアルグリーン× 1 箱イス　× 1
音楽	作曲・理論 (作曲)	【当該コース志願者なし】
音楽	作曲・理論 (理論)	【当該コース志願者なし】
音楽	音楽教育	**①ピアノ　②声楽**
音楽	声　楽	【当該コース志願者なし】
音楽	ピアノ	**ピアノ**
音楽	弦管打楽	【当該コース志願者なし】
音楽	情報音楽	**演奏**

学科・コース		科　目　・　課　題
演劇	演　技	**1.演技　2.音感・リズム感** **①演技** (1)台詞表現 川村毅作『春独丸』より春独丸の台詞 ※川村毅「春独丸」『春独丸　俊寛さん　愛の鼓動』論創社, 2010年, 26～27ページ (2)エチュード 「恋愛」をテーマにボールを用いて１分程度のシーンを作る。 **②音感・リズム感** (1)音楽を用いた即興表現 (2)アカペラで一人ずつ歌う（自由課題）
	装　置	**鉛筆による石膏デッサン**（２時間）≪Ｂ３画用紙≫ ［モチーフ］ 石膏（ホーマー胸像）　×１ 
	日　舞	**各自所属流派習得の任意の曲目を踊る**
	洋　舞	**リズム運動，舞踊的身体運動及びイメージ表現** **①基本運動** (1)バレエ・テクニック (2)ジャズ・テクニック (3)モダンダンス・テクニック **②イメージによる動き** 題『**圧力**』 ◆身体外部からの圧力を感じる（ポーズ約30秒） ◆次第に圧力の変化を感じる（状況の変化を伝える） （例えば，強い圧力，軽い圧力，無圧力など，状態の変化や状況の過程などイメージで自由に動く）
	デザイン	**鉛筆によるデッサン（４時間）またはデザインプレゼンテーション（４時間）のいずれかを選択** **①鉛筆によるデッサン**（４時間）≪Ｂ３画用紙≫ 与えられたモチーフを台紙の上にセットし，鉛筆でデッサンしなさい。 定規，コンパス，デッサンスケールは使用不可とする。 ※はかり棒は使用可 ［モチーフ］ オイルポット　　×１ ツールボックス　　×１ カウンタークロス　　×１  条件 (1)机の上に置いてある「オイルポット」と「ツールボックス」「カウンタークロス」をセットする。 「カウンタークロス」はそのままではなく変形させること。固定にはねりゴムを使用してもよい。 (2)台紙は描かなくてもよい。 (3)配布したコピー用紙（Ａ３）は下書きに使ってもよい。 **②デザインプレゼンテーション**（４時間）≪Ｂ３ケント紙＋ＰＭパッド１枚≫ 私たちの生活に関わる「エネルギー資源」に関わる問題を見つけ出し，あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。 この「エネルギー資源」に対してデザインでどのような問題を解決できるのか具体的に提案してください。もしくは，気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。 例えば，新しい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」などあなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。 条件 (1)用紙は２枚あります。ＰＭパッド（薄い紙）１枚はアイデアやメモとして自由に使い，ケント紙には最終回答を記入すること。 (2)表現方法は自由（持参した鉛筆，および配布された色鉛筆を使用すること） (3)用紙は横位置にて使用すること。 (4)用紙は２枚とも提出とし，２枚の総合評価とする。 (5)定規・コンパスは使用不可。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2020年度　その他の入学試験等

●外国人留学生・帰国生入学試験

出願資格・出願方法等の詳細は，**日本大学ホームページ**を確認してください。
なお，**出願受付は日本大学本部学務部入学課にて行います**。

●校友子女入学試験

出願資格・出願方法等の詳細は，９月上旬頃より頒布予定の「校友子女入学試験要項」で確認してください。
なお，**出願受付は本学部入試係にて行います**（事前に日本大学校友会本部事務局にて，校友の子女であることの確認手続が必要となります）。

1　募集学科・コース及び募集人員

<table>
<tr><th rowspan="2">学　科</th><th rowspan="2">コ　ー　ス</th><th colspan="3">募集人員</th></tr>
<tr><th>外国人留学生</th><th>帰国生</th><th>校友子女</th></tr>
<tr><td>写　真</td><td></td><td rowspan="2">若干名</td><td rowspan="2">若干名</td><td rowspan="8">各学科
２名</td></tr>
<tr><td>映　画</td><td>映像表現･理論，監督，撮影･録音，演技</td></tr>
<tr><td>美　術</td><td>絵画，彫刻</td><td colspan="2">４名</td></tr>
<tr><td>音　楽</td><td>作曲･理論，音楽教育，声楽，ピアノ，弦管打楽，情報音楽</td><td rowspan="4">若干名</td><td rowspan="4">若干名</td></tr>
<tr><td>文　芸</td><td></td></tr>
<tr><td>演　劇</td><td>舞台構想，演技，舞台美術，舞踊</td></tr>
<tr><td>放　送</td><td></td></tr>
<tr><td>デザイン</td><td></td><td colspan="2">15名</td></tr>
</table>

※ 映画，美術，音楽，演劇の各学科を志望する者は，コースを１つだけ選択してください
　なお，学科・コースの併願はできません
※ 外国人留学生・帰国生入学試験の美術学科及びデザイン学科募集人員は，両方の入学試験の合計数となります

2　入学試験諸日程（期日はすべて2019年となります）

内　容		期　日
出願期間	校友子女	10月28日（月）～10月30日（水）
	外国人留学生･帰国生	～10月 ９日（水）※1
試験期日	校友子女	11月10日（日）
	外国人留学生･帰国生	11月24日（日）
合格発表期日	校友子女	11月19日（火）
	外国人留学生･帰国生	12月 ３日（火）
入学手続期間	校友子女	11月19日（火）～12月 ２日（月）　※2
	外国人留学生･帰国生	12月 ３日（火）～12月16日（月）　※2

※1　出願受付開始日については，日本大学ホームページを確認してください
※2　入学時納入金の納入については，校友子女入学試験は入学手続期間内に一括納入となりますが，外国人留学生・帰国生入学試験は，所定の手続きを行うことにより，2020年３月11日（水）まで入学手続を延期することができます（二段階手続方式）

●編入学・転部試験

本学部では,「欠員補充」という形で編入学試験（２年次，３年次）及び本学学部在学生を対象とした転部試験（２年次）を実施しています。
募集人員はいずれも若干名で，募集する学科・コースは年度により異なる場合があります。
なお，編入学試験 （２年次)及び転部試験については，過去３年間において全学科･コースでの募集を行っています。
また，編入学試験 （３年次)の過去３年間の募集状況については，下表を参照してください。
2020年度の募集については，６月頃に公開する予定です。詳細については，本学部ホームページを確認いただくか，本学部入試係までお問い合わせください。
なお，美術学科及び演劇学科は，現行コース（専攻）に基づく試験を実施します。

【参考】編入学試験（３年次） 過去３年間の募集学科（コース）

年　度	募集学科(コース)
2017	美術学科（全コース），音楽学科（全コース），文芸学科，デザイン学科
2018	
2019	

2019年度（昨年度） 編入学・転部試験結果

※募集人員は，各学科すべて若干名

学科・コース ＼ 項目		編入学試験（２年次）			転部試験（２年次）			編入学試験（３年次）		
		志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
写真学科		8（4）	8（4）	4（3）	1（0）	1（0）	0（0）	実施せず		
映画学科	映像表現・理論コース	7（3）	6（3）	4（2）	0（0）	0（0）	0（0）			
	監督コース	1（1）	1（1）	1（1）	2（0）	2（0）	1（0）			
	撮影・録音コース	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	実施せず		
	演技コース	1（1）	1（1）	1（1）	1（0）	1（0）	1（0）			
	計	9（5）	8（5）	6（4）	3（0）	3（0）	2（0）			
美術学科	絵画コース	2（1）	2（1）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	1（1）	1（1）	0（0）
	彫刻コース	1（0）	1（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
	計	3（1）	3（1）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	1（1）	1（1）	0（0）
音楽学科	作曲・理論コース	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
	音楽教育コース	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
	声楽コース	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
	ピアノコース	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
	弦管打楽コース	0（0）	0（0）	0（0）	1（1）	1（1）	1（1）	0（0）	0（0）	0（0）
	情報音楽コース	1（1）	1（1）	1（1）	1（0）	1（0）	1（0）	1（1）	1（1）	1（1）
	計	1（1）	1（1）	1（1）	2（1）	2（1）	2（1）	1（1）	1（1）	1（1）
文芸学科		5（3）	5（3）	5（3）	3（0）	2（0）	2（0）	3（2）	3（2）	2（2）
演劇学科	劇作コース	0（0）	0（0）	0（0）	1（1）	1（1）	1（1）			
	演出コース	1（1）	1（1）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）			
	演技コース	3（3）	3（3）	2（2）	2（1）	2（1）	1（0）			
	装置コース	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）			
	照明コース	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	実施せず		
	日舞コース	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）			
	洋舞コース	0（0）	0（0）	0（0）	1（1）	1（1）	0（0）			
	企画制作コース	1（1）	1（1）	0（0）	1（1）	1（1）	0（0）			
	計	5（5）	5（5）	2（2）	5（4）	5（4）	2（1）			
放送学科		7（6）	7（6）	2（2）	5（3）	5（3）	3（2）	実施せず		
デザイン学科		3（0）	3（0）	2（0）	0（0）	0（0）	0（0）	1（0）	1（0）	1（0）
合計		41（25）	40（25）	22（15）	19（8）	18（8）	11（4）	6（4）	6（4）	4（3）

（ ）内は女子内数

2020年度　音楽学科入学試験実技課題曲案内

（実技試験科目・課題曲及び注意事項）

※実技課題曲等は各入学試験共通となります。ただし，一般入学試験Ａ方式（第２期）及び日藝オーディション〈AO入学試験〉については課題曲が異なりますので注意してください。（本冊子49～50ページ参照）

各入学試験共通
（一般入学試験 A方式(第2期)及び
日藝オーディション〈AO入学試験〉を除く）

作曲・理論コース

a．作曲志願者

①実　技

(1)作曲（100分）
与えられた旋律を素材とし，指定する楽器のための小形式の旋律創作

(2)和声または楽典（80分）
和声はソプラノとバスによる課題（転調を含む）を１題

(3)ピアノ
任意のピアノ曲（繰り返しなしで，暗譜とします）

(4)ソルフェージュ
次のイ，ロのどちらかを選択してください。
イ．聴音　旋律書き取りを２題
ロ．新曲視唱　１題（８～12小節程度）

②面　接

b．理論志願者

①実技及び小論文

(1)小論文（60分・800字程度）
音楽に関する小論文

(2)楽典（80分）

(3)ピアノ
任意のピアノ曲（繰り返しなしで，暗譜とします）

(4)ソルフェージュ
次のイ，ロのどちらかを選択してください。
イ．聴音　旋律書き取りを２題
ロ．新曲視唱　１題（８～12小節程度）

②面　接

音楽教育コース

①実技及び小論文

(1)小論文（60分・800字程度）
音楽に関する小論文

(2)楽典（60分）

(3) ピアノ
W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第１楽章または終楽章を演奏してください(繰り返しなしで，暗譜とします)。

(4)声楽
声楽コースの【声楽】課題曲A，B群の中から１曲を選び暗譜で歌ってください。
伴奏楽譜については※印**伴奏楽譜の提出について**（49ページ）の要領に従って郵送してください。

(5)ソルフェージュ
聴音　旋律書き取りを２題

②面　接

声楽コース

①実　技

(1)声楽
次の課題曲Ａ・課題曲Ｂより各２曲ずつ選曲してください。当日は選曲した課題曲Ａ・課題曲Ｂより１曲ずつ指定し，課題曲に続けて自由曲１曲を歌ってください。自由曲は課題曲Ａまたは課題曲Ｂより選曲しても構いませんが，選択した４曲と重複してはいけません。
いずれも原語で暗譜とします。また，各曲の調性は任意とします。
伴奏楽譜（全５曲）については※印**伴奏楽譜の提出について**（49ページ）の要領に従って郵送してください。

A イタリア歌曲

1. CACCINI, G.　Amarilli
2. SCARLATTI, A.　Già il sole dal Gange
3. SCARLATTI, A.　Le violette
4. BONONCINI, G. B.　Per la gloria d'adorarvi
5. GASPARINI, F.　Lasciar d'amarti
6. DURANTE, F.　Vergin, tutto amor
7. 作者不詳　Nina
8. GLUCK, CH. W.　O del mio dolce ardor
9. PAISIELLO, G.　Nel cor più non mi sento
10. GIORDANI, T.　Caro mio ben

※作曲者は全音楽譜出版社のイタリア歌曲集［新版］による

B 日本歌曲

1. 土井晩翠 作詞　滝廉太郎 作曲　山田耕筰 編曲　荒城の月
2. 武島羽衣 作詞　滝廉太郎 作曲　花
3. 吉丸一昌 作詞　中田　章 作曲　早春賦
4. 勝田香月 作詞　杉山長谷夫 作曲　出船
5. 鹿島鳴秋 作詞　弘田竜太郎 作曲　浜千鳥
6. 林　古溪 作詞　成田為三 作曲　浜辺の歌
7. 北原白秋 作詞　山田耕筰 作曲　鐘が鳴ります
8. 北原白秋 作詞　山田耕筰 作曲　この道
9. 清水重道 作詞　信時　潔 作曲　行々子
10. 北見志保子 作詞　平井康三郎 作曲　平城山

(2)楽典（60分）

(3)ピアノ
任意のピアノ曲（ソナチネ程度以上：繰り返しなしで，暗譜が望ましい）

(4)ソルフェージュ
F. Wüllner コールユーブンゲン（全訳版）第１巻48番～85番より当日指定します。

②面　接

ピ ア ノ コ ー ス

①実　　技

(1) ピアノ

次のA，B群より各１曲を選び，合計２曲を演奏してください（いずれも繰り返しなしで，暗譜とします）。

A　練習曲またはバッハ

次に指定する(イ)～(ニ)より１曲を演奏してください。ペダルの使用は，任意とします。

(イ) M. Moszkowski 15の練習曲（15 Études de Virtuosité Op. 72）より任意の１曲

(ロ) J. B. Cramer=Bülow 60練習曲（60 Ausgewählte Etüden）より任意の１曲

(ハ) F. F. Chopinの練習曲Op. 10またはOp. 25より任意の１曲

(ニ) J. S. Bach 平均律ピアノ曲集第１巻または第２巻（Das Wohltemperierte Klavier Teil Ⅰ, Ⅱ）より任意の１曲(プレリュードとフーガ)

B　ソナタ

W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください。

(2) 楽典（60分）

(3) ソルフェージュ

聴音　旋律書き取りを２題

②面　　接

弦 管 打 楽 コ ー ス

①実　　技

※専攻する楽器の演奏の詳細については，下記を参照ください。

(1) 専攻する弦楽器，管楽器，打楽器

・下記のいずれかの楽器で演奏してください。

・楽器は各自が持参してください（ただしマリンバ，練習台を除きます。また，コントラバスは大学の楽器を使用することもできます）。

・楽譜の版の指定がないものは，任意に選択してください。

(2) 楽典（60分）

(3) ピアノ

任意のピアノ曲（ソナチネ程度以上：繰り返しなしで，暗譜が望ましい）

(4) ソルフェージュ

次のイ，ロのどちらかを選択してください。

イ．聴音　旋律書き取りを２題

ロ．新曲視唱　１題（８～12小節程度）

②面　　接

弦楽器

各楽器の課題曲は次の通りです。（伴奏なし）すべて暗譜で演奏してください。

●ヴァイオリン

任意の協奏曲の第１楽章（カデンツァを除く）

●ヴィオラ

任意の楽曲または練習曲

●チェロ

任意の楽曲または練習曲

●コントラバス

任意の楽曲または練習曲

●ギター

F. SorまたはM. GiulianiまたはF. Tárregaのいずれかの独奏曲

管楽器

各楽器の課題曲は次の通りです。（伴奏なし）

●フルート

次の［１］～［３］よりいずれか１つを選択し，演奏してください

［１］W. A. Mozart : Concerto in G major K. 313 より第１楽章（カデンツァを除く）

［２］W. A. Mozart : Concerto in D major K. 314 より第１楽章（カデンツァを除く）

［３］任意の楽曲または練習曲

●オーボエ

W. Ferling:48 EtudesまたはL. Wiedemann:45 Etudesより任意の１曲

●クラリネット

次の［１］及び［２］を演奏してください。

［１］C. Rose:32 Etudes１番～12番より当日指定します。

［２］C. M. v. Weber:Concertino Es dur Op. 26（全曲）演奏部分は当日指定します。

●ファゴット

J. Weissenborn:Fagott Studien Op. ８第２巻のNo. ６，８，10，13，15より当日指定します。

●サクソフォーン（アルトサクソフォーンで受験すること）

M. Mule:Quarante−HuitÉtudes, d'après Ferling（A. Leduc版）より任意の奇数番号１曲及び任意の偶数番号１曲（計２曲）

●ホルン

W. A. Mozart:Konzert für Horn und Orchester Nr. ３ K. 447より第１楽章（カデンツァを除く）

●トランペット

次の４曲より任意の１曲

J. B. Arban:12の幻想曲とアリアよりNo. ３ Fantaisie Brillante Var. Ⅰまで

J. B. Arban:12の幻想曲とアリアよりNo. ５ The Beautiful Snow（Variations on a song）Var. Ⅱまで（くり返しなし）

J. B. Arban:12の幻想曲とアリアよりNo. 11 Fantaisie and Variations on The Carnival of Venice Var. Ⅰまで

G. F. Handel（Transcribed by Bernard Fitzgerald）:Aria con Variazioni Var. Ⅲまで（くり返しなし）

●トロンボーン

次の［１］及び［２］を演奏してください。

［１］The Remington Warm−UpStudies（Donald Hunsberger編／Accura Music版）31ページ Ex. 40（リップスラー）

［２］C. Kopprasch:60 Etudes for Trombone（全音楽譜出版社）No. ３～12より当日指定します。（くり返しなし）

●ユーフォニウム

次の［１］及び［２］を演奏してください。

［１］The Remington Warm−Up Studies（Donald Hunsberger編／Accura Music版）31ページ Ex. 40（リップスラー）

［２］J. Rochut:Melodious Etudes for Trombone（Carl Fischer版）No. ２，６，８より当日指定します。

●テューバ（B♭管またはC管を使用すること）

C. Kopprasch:Sixty Selected Studies For Tuba（Robert King版）のNo. ４，７，12，14，15より当日指定します。（くり返しなし）

打楽器

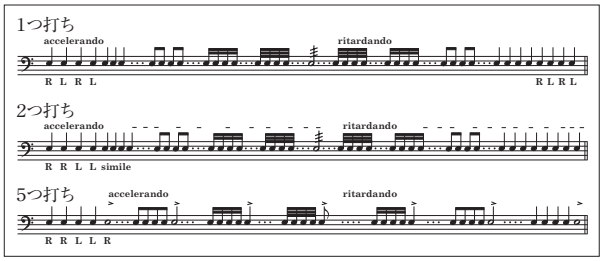
各楽器の課題曲は次の通りです。（伴奏なし）

a．小太鼓受験者

次の［１］及び［２］を演奏してください。

［１］基本奏法－１つ，２つ，５つ打ちより当日指定します（練習台を使用します）。

［2］M. Goldenberg:Modern School for Snare Drum（Alfred版）のRoll Exercise in 4/4（46ページ），Etude in 4/4（47ページ）より当日指定します。



b. マリンバ受験者

次の［1］及び［2］を演奏してください。

［1］小太鼓の基本奏法－2つ打ち（練習台を使用します）

［2］任意の楽曲または練習曲

情 報 音 楽 コ ー ス

①実技及び小論文

(1)小論文（60分・800字程度）

情報音楽に関する小論文

(2)演奏またはソルフェージュ

【演奏で受験する者】

演奏は，任意の楽器または歌唱によるもので，自由曲とします。使用する楽器は，各自持参していただきます。なお，エレクトーン，コントラバス，マリンバのような大型楽器は大学で用意することもできます。

歌唱や演奏は，必ず自分自身でおこなってください。ただし，伴奏などの補助的な部分はＣＤなどの音源を用いても構いません。また，歌唱でピアノ伴奏を希望する場合は，その伴奏楽譜を※印**伴奏楽譜の提出について**（下欄）の要領に従って郵送してください。

【ソルフェージュで受験する者】

次のイ，ロ，ハより2科目を選択してください。

イ．F. Wüllner コールユーブンゲン（全訳版）第1巻48番～85番より当日指定します。

ロ．聴音　旋律書き取りを2題

ハ．新曲視唱　1題（8～12小節程度）

②面　　接

※受験曲目の登録について

●受験曲目等を学科サイトより入力してください。詳細については，各入学試験要項にて指示します。

※伴奏楽譜の提出について

●音楽教育コース及び声楽コースの「声楽」，情報音楽コースの「演奏またはソルフェージュ」の歌唱受験者でピアノ伴奏の必要な者は，次の要領により伴奏楽譜を作成し，別便にて下記宛てに各入学試験の出願期間内に郵送してください。

●伴奏楽譜は，演奏の都合上，ヨコ22㎝×タテ30㎝の台紙に，楽譜を貼付してください。楽譜が2ページ以上のときは，全ページに台紙を貼り，一覧できるように「蛇腹式」に製本してください。
なお，表紙に志望コース，受験番号（事前に分かっているとき），氏名，曲名，調性を必ず記入してください。

●郵送先　〒176-8525　東京都練馬区旭丘2―42―1
日本大学芸術学部音楽学科入試伴奏譜係

一般入学試験　A方式（第2期）

作 曲 ・ 理 論 コ ー ス

a．作曲志願者

①実　　技

(1)作曲（80分）

与えられた旋律を素材とし，指定する楽器のための小形式の旋律創作

(2)ソルフェージュ

次のイ，ロのどちらかを選択してください。

イ．聴音　旋律書き取りを2題

ロ．新曲視唱　1題（8～12小節程度）

②面　　接

3分程度の自作のピアノ曲を当日持参してください。面接の参考にします。

b．理論志願者

①実技及び小論文

(1)小論文（60分・800字程度）

音楽に関する小論文

(2)ソルフェージュ

次のイ，ロのどちらかを選択してください。

イ．聴音　旋律書き取りを2題

ロ．新曲視唱　1題（8～12小節程度）

②面　　接

音 楽 教 育 コ ー ス

①実技及び小論文

(1)小論文（60分・800字程度）

音楽に関する小論文

(2)ピアノ

任意のピアノ曲

(3)声楽

任意の声楽曲

なお，伴奏楽譜については※印**伴奏楽譜の提出について**（左欄）の要領に従って郵送してください。

(4)ソルフェージュ

聴音　旋律書き取りを2題

②面　　接

声 楽 コ ー ス

①実　　技

(1)声楽

一般入学試験A方式（第1期）試験課題と同じ

(2)ソルフェージュ

F. Wüllner コールユーブンゲン（全訳版）第1巻48番～85番より当日指定します。

②面　　接

ピ ア ノ コ ー ス

①実　　技

(1)ピアノ

任意のピアノ曲

(2)ソルフェージュ

聴音　旋律書き取り2題

②面　　接

弦 管 打 楽 コ ー ス

①実　　技

(1) 専攻する弦楽器，管楽器，打楽器
一般入学試験A方式（第１期）試験課題と同じ

(2) ソルフェージュ
次のイ，ロのどちらかを選択してください。
イ．聴音　旋律書き取りを２題
ロ．新曲視唱　１題（８～12小節程度）

②面　　接

情 報 音 楽 コ ー ス

①実　　技

プレゼンテーション
口頭発表（５～８分程度で内容は自由）または演奏。演奏については一般入学試験A方式（第１期）試験課題を参照。口頭発表で使用する機器がある場合は，必ず事前に音楽学科事務室に問い合わせてください。

②面　　接

※受験曲目の登録について
※伴奏楽譜の提出について
●以上２点については〈**各入学試験共通**〉と同様（本冊子 49 ページ参照）

日藝オーディション〈AO 入学試験〉

作 曲 ・ 理 論 コ ー ス

a．作曲志願者

①実　　技

(1) 自作品（１曲の楽譜を当日持参，編成や長さは自由）の審査ならびに口述試問

(2) 作曲（120分）
与えられた旋律を素材とし，指定する楽器のための小形式の旋律創作

②面　　接

b．理論志願者

①実　　技

(1) 音楽に関するレポート（2,000字程度のレポートを１つ当日持参，タイトルは自由に設定して良い，書式は自由，手書きに限る）の審査ならびに口述試問

(2) 任意の器楽曲または声楽曲の演奏

②面　　接

音 楽 教 育 コ ー ス

①実　　技

(1) 小論文（60分・800字程度）音楽に関する小論文

(2) ピアノ：任意のピアノ曲

(3) 声楽：任意の声楽曲

②面　　接

声 楽 コ ー ス

①実　　技

声楽　一般入学試験A方式（第１期）と同じ
＊本冊子47ページのそれぞれの課題曲の中から曲目を選択してください。

②面　　接

ピ ア ノ コ ー ス

①実　　技

(1) 練習曲またはバッハ（＊）

(2) ソナタ（＊）
＊本冊子48ページのそれぞれの課題曲の中から曲目を選択してください。

(3) 任意のピアノ曲

②面　　接

弦 管 打 楽 コ ー ス

①実　　技

任意の楽曲または練習曲
（自分の能力を最大限アピールできる楽曲を選曲のこと）

②面　　接

情 報 音 楽 コ ー ス

①実　　技

プレゼンテーション　任意の楽曲を演奏（５分程度）及び演奏楽曲にまつわる口頭発表（３分程度）
＊演奏については，一般入試A方式（第１期）試験課題を参照。口頭発表では，コンピュータなどの機器の使用は認めません。

②面　　接

※受験曲目の登録について
※伴奏楽譜の提出について
●以上２点については〈**各入学試験共通**〉と同様（本冊子 49 ページ参照）

学　部　Q＆A

総合

Q 一般入学試験（A方式）の学力試験について教えてください。

A 一般入学試験（A方式）では，学力試験（一次試験）として外国語（英語），国語の試験を課しています。いずれも全問マークシート方式で，60分，100点満点となっています。

英語の出題は，高等学校等までで教わる範囲内の長文読解力，会話表現能力，文法・語法の知識，及び語彙力を試す内容となっています。英語の試験を課しているのは，入学後の学習と卒業後の進路に英語力の有無が大きく影響するからです。皆さんもご承知のとおり，今の世の中はグローバル化が急速に進展し，どのような分野にあっても英語でのコミュニケーション能力が不可欠になっています。そのため本学部では，入学者に高等学校等卒業程度の英語力を要求し，入学後にさらにその能力に磨きをかけて，国際的にも活躍できる人材の育成をめざしているために必要な試験なのです。

国語の学力試験は，国語総合（漢文を除く）が出題範囲となっています。試験の特徴は，全学科の学生に古文や文学史の知識が要求されていることです。これは，本学部が芸術の総合学部であり，入学後の皆さんが学科の枠を超えて勉強するときに必要となる基礎的な学力が求められているからです。日常的にどれだけ活字に触れているかが合否を大きく左右するのは言うまでもありません。

なお，学力試験（英語，国語）２科目の合計点が200点満点中60点未満の者は，総合点が合格最低点を超えていても自動的に不合格となります。

Q 一般入学試験（A方式）の場合，実技試験だけの基準点はありますか？

A 学力試験と専門試験を合わせた総合成績の上位から合格となるので，基準点はありません。

Q 小論文・作文試験について教えてください。

A **小論文**は，与えられたテーマに対して，真正面から捉え，短時間に思考を整理し，与えられた字数の中で，自分の言葉で文章として論理的に表現できるか，ということが問われます。

作文は，与えられたテーマから受けたイメージを，決してテーマからそれることなく，自分の感性や創造力を十分に発揮しながら，文章を創作してゆくことを求められます。もちろん，自分が体験したことを率直に書いても構いません。

どちらも，自分らしく述べること（オリジナリティ）が必要ですし，原稿用紙の基本的な使い方も身につけておく必要があります。

Q 実技試験について教えてください。

A 映画学科演技コース，演劇学科演技，舞踊コース（他コースでは，一部入学試験で実施）と，美術学科，音楽学科，デザイン学科において実施しています。

このうち，**演劇学科の舞踊コース**と，**美術学科，音楽学科，デザイン学科**の実技については，ある程度の経験を必要とします。これまで全く経験のない方については，人一倍の努力が必要となるでしょう。

一方，**映画学科，演劇学科**の演技コースについては，全く経験のない方でも十分対応することが可能です。

両演技コースの試験では，役者としての「素質」があるかどうかを見ます。その際，**映画学科**では発声，表情，身体の表現力などについて，**演劇学科**では発声，音感，リズム感，観察力やしぐさの柔軟さ（舞台上における感覚の保ち方と表現に対する方向性）などの観点からそれぞれ見ています。

Q 面接試験について教えてください。

A 一般入学試験N方式（第１期）を除くすべての学科・コースで実施します。

形式は，学科・コースによって若干異なりますが，複数の面接官に対し受験生１人を基本としています。

１人あたりの面接時間はおよそ10分から15分，結果については点数化し，その他の試験との総合点で判定を行います。配点は学科・コースにより異なります。

原則として，専門知識は問いません。熱意や目的意識，すなわち大学で何をやりたいか，将来何をめざしているのか，などを聞くのがねらいです。

Q 日藝オーディション〈ＡＯ入学試験〉を受験しようと考えていますが，「自己紹介アンケート」はどのようなものでしょうか？

A「自己紹介アンケート」は，本学部に興味や関心を持った「あなた」が，所定の様式のアンケート用紙で回答いただくもので，内容は学科により異なります。

入学試験概要に記載のとおり，「エントリーシート」は，「自己紹介アンケート」に回答いただいた方に送付していますので，日藝オーディション〈ＡＯ入学試験〉の受験を検討されているのであれば，所定の期間内に必ず提出してください。

その上で，日藝オーディション〈ＡＯ入学試験〉の受験を希望する場合は，エントリーシートの提出が必要です。また，審査時は，先に提出された「自己紹介アンケート」も参考資料とします。

Q エントリーシート受付時，高等学校等の調査書の提出は必要でしょうか？

A エントリーシート受付時の「出身学校調査書等」の提出は不要です。ただし，審査を経て，入学試験出願手続を行う際には，「出身学校調査書等」の提出が必要となります。

Q 日藝オーディション〈ＡＯ入学試験〉を受験して不合格となった場合，一般推薦（公募制）入学試験や一般入学試験を受験することは可能でしょうか？　また，その場合の志望学科は同じでなければならないのでしょうか？

A 日藝オーディション〈ＡＯ入学試験〉に不合格となった場合でも，一般推薦（公募制）入学試験や一般入学試験を受験することは可能です。また，その際の志望学科が異なっても構いません。実際，日藝オーディション〈ＡＯ入学試験〉で不合格になっても一般入学試験等で合格している受験生も多くいます。

Q 単位制高校または通信制高校に所属しており，２年間で３年分の単位を修得したのですが，一般推薦（公募制）入学試験に出願することは可能ですか？

A 調査書に必ず学年ごとに評定が記載されていることが出願条件になるので，出願することはできません。

【2019年度一般入学試験（A方式）　実技試験実施風景】

映画学科演技コースの実技

美術学科絵画コースの「人物を描く」

美術学科彫刻コースの「モノと空間を描く」

音楽学科情報音楽コースの実技

演劇学科演技コースの実技

演劇学科装置コースの「鉛筆による石膏デッサン」

演劇学科日舞コースの実技

演劇学科洋舞コースの実技

デザイン学科の「デザインプレゼンテーション」

写真学科

Q 一般入学試験に実技試験はないようですが，写真技術の経験などがなくても大丈夫ですか？

A 写真を一から学べるカリキュラムになっていますので，写真の技術的な経験はなくても大丈夫です。入学後に，しっかり勉強して技術を習得すれば，写真を使いこなすことができます。ただし，ある程度の専門知識や技術を持っていることが望ましいことは言うまでもありません。

Q カメラなどの機材や制作施設は大学で借りられますか？

A 作品制作の中心となるデジタル一眼レフカメラ，プリンター，パソコン等は個人での所有をしていただきます。
フィルム用一眼レフカメラ，大判カメラ，大型デジタルプリンターについては大学のものを利用できます。また，スタジオや暗室，デジタルフォトラボも貸し出しを行っています。

Q カメラなどの機材は，どの程度のものを持っていればよいのでしょうか？

A 写真を専門的に学ぶためには，現状主流のデジタル一眼レフカメラやプリンター，パソコンなどの機材は必須です。また，自分自身の表現や研究のための機材ですので，自分自身の制作傾向，将来の目的に合った機材が必要となります。さらに，フィルムによる写真制作をしたい場合は，フィルムカメラなどの機材もあるといいでしょう。必要な機材については，入学後の授業で詳しくご紹介します。

Q 一般推薦（公募制）入学試験の持参作品等について教えてください。

A 高等学校等で積極的な写真活動をしてきた方に，その成果を提示していただきます。コンクールで受賞や入選の実績がある場合は，作品とともに賞状または作品が掲載された印刷物を持参してください。
持参作品は，A4からA3あるいは六つ切から四つ切の黒白あるいはカラープリント10点以上（受賞・入選作を含む）としてください。また，活動を客観的に説明できるものとして，展覧会の記録写真や作品の掲載された学校新聞などをお持ちいただいても結構です。

映画学科

Q 映画学科では，映画配給などの映像ビジネスについて，勉強することはできますか？

A 映像表現・理論コースでは，映画ビジネスやマネージメントに関する授業を開講します。特に理論・批評専攻では映像理論や映画史を学びながら，将来の映画ジャーナリストや映画研究者だけでなく，企画者や配給会社などの映画ビジネスに携わる人材の育成も目指しています。

Q 将来は脚本家をめざしているのですが，映画学科で脚本を学ぶには映像表現・理論コースを選択すればいいのですか？

A 映画学科では数多くシナリオに関連する講座を開講しています。映像表現・理論コースは２年次からシナリオ専攻があり，シナリオライターをめざした専門教育が用意されています。１年次は映像理論や創作研究と共にシナリオ執筆の基礎を学びます。

Q 映像表現・理論コースでは，２年次以降の専攻はどのように決めるのですか？

A 基本的には本人の希望を尊重しますが，１年次の授業出席や課題提出の期限厳守など，勉学に対する姿勢を鑑みながら，相談の上で決定します。

Q 映画学科の施設について教えてください。

A 同時録音可能な大・中撮影スタジオ，微速度撮影や顕微鏡撮影が可能な小撮影スタジオ，16mm，35mm映写機に加えDLPシネマプロジェクターを備えた上映施設，現像の基礎となる工学・化学の研究，分析，処理を行う総合ラボラトリー，大小７つの録音スタジオ，アニメーション室，ネガ・ポジ編集室，ビデオ編集室，ハイビジョン制作システム，映画美術制作室，照明特殊機材倉庫，映画メーキャップ室など，映画制作に必要な環境が整っています。

Q 日藝オーディション〈AO入学試験〉映画学科の適性試験とはどのようなものを行うのですか？

A コースによって試験内容が変わりますが，作文，実技（撮影，身体表現，文章による創作，プレゼンテーションなど），批評などを含みます。どのような適性試験になるかは，その時の映画や映像を取り巻く環境によって変化するでしょう。

Q 一般推薦（公募制）入学試験の提出作品等について教えてください。

A 映像に関わる何らかの活動を，積極的に行ってきたことを証明するものを提出してください。この場合の積極的な活動とは，ただ執筆・創作したということに留まらず，発表をしたということが含まれます。コンクールで受賞・入選などにより発表された作品・シナリオ・評論など，専門誌・同人誌に投稿され採用されたシナリオ・批評など，俳優として出演し公開された映像作品・公演された舞台作品など，いずれも賞状，掲載誌の目次，出演作品のプログラムのコピーなど発表についての詳細がわかるものを同封の上，出願時に送付してください。なお，作品の場合は，タイトルによりご自身の担当がはっきりわかる作品にしてください。また，インターネット上の動画サイトや掲示板などへの投稿は発表に含まないので注意して

ください。

Q 演劇学科の演技コースと授業内容はどう違いますか？

A 俳優として必要な演技の“基礎”は両学科に共通ですが，映像と舞台に関する学科内容の違いから，映画学科の場合は「発声」，「音楽」，「日舞」，「洋舞」など，幅広く科目を設置している点に特徴があります。

Q アニメーションを勉強したいのですが，どのコースが適していますか？

A アニメーション専門のコースはありませんが，複数のアニメーションの講座があります。アニメーションの作品創作の学習が目的なら，講座の中だけでなく，卒業のための作品としてアニメーション制作できる映像表現・理論コース，監督コース，撮影・録音コースが良いでしょう。

Q 演技コースの実技試験用に着替える部屋はありますか？

A 特に着替えは必要とせず，動きやすい普段着で構いません（更衣室は設けません）。

Q 実技試験に要する時間を教えてください。

A 演技コースの受験生は，面接試験等の待ち時間も含め，ほぼ半日から一日の間拘束されます。
一連の実技試験を同じ会場で通して行い，練習時間を最低10分設けています。試験の所要時間は５分以内です。

美術学科

57ページをご覧ください。

音楽学科

Q 受験曲目の届出は，いつ行うのですか？

A 音楽学科受験生は，全員，**「受験曲目等」**を指定された期日までに学科サイトより入力し，自分の受験曲目を届け出なければなりません。詳細については，各入学試験要項にて指示します。

Q 情報音楽コースについて教えてください。

A 情報音楽コースでは，プログラミングなどの情報処理技術とともに，音楽理論や音楽表現を十分に学習します。
詳細については，情報音楽コースホームページをご覧ください（www.micnuart.com）。

Q 情報音楽コースの一般入学試験 A方式（第１期）の実技試験「演奏またはソルフェージュ」では，どのようなジャンルの楽器や歌が多く選ばれるでしょうか？また，電子楽器の使用はどの程度認められるのでしょうか？

A 情報音楽コースの「演奏」試験では，歌唱，クラシック楽器，ポピュラー楽器，尺八，笙などの邦楽器，民族楽器など多岐にわたっています。電子楽器では，エレキギター，エレクトーン，シンセサイザー，ターンテーブルなどで受験しています。演奏のジャンルや楽器によって得点に差が出ることはありませんが，自分の音楽性を十分に発揮できる楽器選択や曲目選択が重要です。
演奏については，基本的には独奏となります。ただし，歌唱の場合は大学で伴奏者を用意していますが，弾き語りも大歓迎です。
曲目に関しては，器楽ではソナタレベル，歌唱では歌曲，アリアが中心ですが，高等学校教材レベルの曲目やポピュラー音楽の演奏でも合格しています。中にはオリジナル曲で受験する人もいます。無理をして高いレベルの曲の演奏ができれば良いということではなく，あくまでも自分の音楽性を十分にアピールできる曲を選択すると良いでしょう。
時間については，これまでの平均では，歌唱では３～５分程度となっています。長い場合には途中で演奏を中止とすることもありますが，減点はされません。

Q 課題曲はいつごろ決まりますか？また講習会はありますか？

A 課題曲については，47～50ページをご覧ください。また，音楽学科志望者を対象とした受験準備講習会を夏期，冬期の年２回開催しています。毎年受験希望者の大半が参加しており，高校３年生だけでなく高校１・２年生の参加も可能です。
なお，受講には事前の申込み及び受講料が必要になります（詳細は音楽学科ホームページにて発表します）。

参加希望者は，本学部音楽学科WEBサイトより申込みをしてください。
〒176-8525　東京都練馬区旭丘２－42－１　日本大学芸術学部音楽学科講習会係
☎ 03-5995-8240　FAX 03-5995-8249　✉ongaku@nihon-u.ac.jp

Q 大学内に練習施設はありますか？
A 練習室が30室程度，ピアノが40台程度設置されています。使用時間は９:00～21:00の間で利用できます。使用料は無料です。

Q ライブやコンサートの音響を学ぶことはできますか？
A スタジオでの音楽制作が中心ですが，ライブやコンサートの音響技術者になる者も多数います。

文芸学科

Q 学生の作品発表の機会はありますか？
A 授業の中で年１回ゼミ雑誌を作成・発行する機会があり，その中で各自の創作を発表することができます。
さらに，文芸学科の学生は，入学と同時に江古田文学会（文芸学科学生，芸術学部校友により構成）の学生会員となり，文芸誌『江古田文学』（年３回発行，市販）において創作，批評などの執筆作品発表の機会があります。

Q 主な設備について教えてください。
A 文芸学科には，パソコン（ネットワーク接続）を多数設置したコンピュータ室があります。DTP（パソコン画面上での編集・版下制作）に使用されるソフトウェア（InDesign等）もインストールされ，ゼミ雑誌作成のほか，学生個人の創作物等にも利用が可能です。
また，多くの文芸関係専門書を取りそろえた文芸学科資料室があり，読書・自習の場として活用されています。

Q 他の大学の文学部と同じ内容でしょうか？
A 文学部とは違います。文学を小説や批評といった創作活動，またジャーナリズムの幅広い表現活動の両面でとらえ，その養成を目的とした，文芸表現主体の学科です。

Q 文芸学科ではどのような資格を取得できますか。
A 文芸学科では，中学校・高等学校の「国語」の教員免許状を取得するための科目を開講しています。平成29年度からは，図書館の司書資格，および学校図書館の司書教諭資格を取得するための課程が新設され，文芸学科生も数多く履修しています。また，博物館の学芸員資格を取得するための課程も開講されており，一部の文芸学科生は履修しています。これらの資格課程の履修には，追加の学費はかかりません。

Q「学内指定施設内の資料の参照も可」と書いてある試験がありますが，どのような試験形式でしょうか。
A 一般入学試験Ａ方式（第2期）の小論文・作文試験では，辞書の持ち込みが可能（電子辞書は不可）なほか，文芸学科資料室に所蔵されている図書や雑誌等を，自由に閲覧しながら解答することができます。試験会場も教室に受験番号順に座る形式ではなく，広くオープンなラウンジ，小さく区切られたゼミ室，資料室内の個人学習席やソファ席などの多様な空間から，自由に好きな場所を選んで座ることができます。皆さんが日常的に文章を書く時と近い環境で，日頃培ってきた執筆能力を発揮して頂ければと考えています。（例年の場合，AO入学試験の一次選考も同様の形式となっております。）

演劇学科

Q 舞台構想コースの専攻と入学試験について教えてください。
A 舞台構想コースには「劇作専攻」「演出専攻」「音響専攻」「舞台監督専攻」「企画制作専攻」の５専攻があります。１年次はこれらの分野を多角的に複数学び，２年次へ進級する際，学科へ志望専攻を申請してもらいます。入学試験では，将来どの専攻を志望するかによらず，全員同じ科目を受験します。

Q 舞台美術コースの専攻と入学試験について教えてください。
A 舞台美術コースでは，４月の学科ガイダンス時に「美術（装置）専攻」「照明専攻」のどちらを志望するか学科に申請してもらいます。しかし，入学試験では，舞台美術コースを志願する受験生は，両専攻志望とも，同じ実技科目（日藝オーディション＜AO入学試験＞のみワークショップ）で受験します。実技試験（プレゼンテーション）は，資料作成（60分）とそれを用いた口頭発表（５分程度）を行う予定です。また，舞台美術コース志願者は，志望専攻を問わず，面接試験の参考として石膏像デッサン，水彩画などを持参してかまいません。

Q 舞踊コースの入学試験について教えてください。
A 実技科目の「日舞」と「洋舞」から一つを選択してください。その際，志望する専攻に合わせた科目を選択してください。また出願後，「入学試験要項」に従ってどちらを選択するかを郵送にてお知らせください。それぞれの実技試験の内容は，これまでの「日舞コース」「洋舞コース」の過去問題を参照してください。

Q 試験科目であるワークショップについて教えてください。

A 日藝オーディション＜AO入学試験＞では舞台構想コース及び舞台美術コース，その他の入学試験では舞台構想コースにおいて，複数人数でのグループワークを行います。個人の発想力，技術力ともに，グループでの協調性，コミュニケーション力に着目します。

放送学科

Q 実習施設にはどのようなものがありますか？また，その施設では実際にどのような授業が行われているのか，教えてください。

A 施設としては**デジタルハイビジョン・テレビスタジオ**２つ，5.1chデジタル仕様などの**録音スタジオ**４つ，多数の**ビデオ編集室**のほか，**ビデオ収録車**や**CDライブラリー**などがあります。それぞれのスタジオは現在のテレビ局・ラジオ局とほぼ同じ機能を持っています。また，すべてをデジタルネットワークでつなぎ，多様な実習が行えるようになっています。
スタジオを使っての実習は，１年次から行われ，企画から番組完成までのプロセスをくり返し実作しながらトレーニングしていきます。さらには，受講生の個性的な企画も取り上げ，それぞれの創造力を引き出すよう配慮しています。また，テレビカメラをはじめとして，照明設備，音声調整卓の操作などの技術面の実習，屋外でのロケーションや取材・音楽録音の実習なども行います。

Q 実習の分野にはどのようなものがありますか？また，どのようにして履修するのか，教えてください。

A 放送学科は2020年度から実習の分野を「テレビ制作」「ラジオ制作」「映像技術」「音響技術」「ＣＭ」「脚本」「アナウンス」の７つとし，入学後にこの中から１つを選び，1年次後期，２・３年次と段階制で履修します。原則として，登録を行えば誰でも希望する実習を履修することができます。

Q 声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を目指しているのですが，放送学科ではそのための勉強はできますか？

A 声を使った職業は多岐にわたりますが，放送学科は放送局（テレビ・ラジオ）のアナウンサーを志望する者の育成をめざしています。人と話しをすることが好きで，自分の言葉で人に何かを伝えることに強い志を持つ者を求めます。声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を育成するための授業は設けていません。

デザイン学科

59ページをご覧ください。

美術学科

Q 美術学科の特徴を教えてください。

A 絵画コース絵画専攻では，絵画の基礎及び普遍性を重んじ色彩・フォルム・マチエールの問題を探求し，４年間じっくりと腰を据えて「絵画」を学び絵を描くことができます。また，版画専攻では，「感性を刺激する」ために，イメージ描写やドローイング，基礎的な素材や色彩にこだわり「紙」と「版表現」の可能性を探ります。そして，「表現を広げる」ために，活版による絵本制作やペンによるイラスト，ポートフォリオ，アートブックなどで，表現を深めていきます。

彫刻コースは，彫刻専攻に加え新たに地域芸術専攻が加わりました。彫刻専攻では，造形芸術における形の問題を，昨今忘れがちな基礎の反復と研究によって追求し，自らの表現に繋げていきます。また地域芸術専攻では，社会が抱える問題をアートの力を使って，直接社会と繋がりながら，人の心を豊かにするための実践力を身につけます。両専攻とも外部での発表を積極的に行っており，社会との接点を多数設けています。

Q 絵画コースに日本画の授業はありますか？

A 本学科では日本画の授業は開講していません。

Q 彫刻コース地域芸術専攻の受験を考えているのですが，彫刻にかかわる実技経験は必要ですか？

A １年次のカリキュラムの中で，「デッサン基礎」や「造形基礎」などの初歩的な技術指導がありますので，受験段階での実技経験の有無は問いません。

Q 過去の一般入学試験（A方式）の実技課題と評価ポイントについて教えてください。

A 2019年度（昨年度）の実技課題については，第１期は13ページ，第２期は21ページを参照してください。

2019年度第１期は，絵画コースについては，基礎となる人物のかたちを的確に捉えられているかが出題のポイントで，画面の構成力も含め判断，審査しました。彫刻コースについては，物が空間に置かれている様子をしっかり捉え，よく見て観察する力，空間を把握する力を捉えられる力を見ることが出題のポイントでした。

2019年度一般入学試験（A方式）の実技課題及び出題のポイントは，以下をご覧ください。

・絵画コース

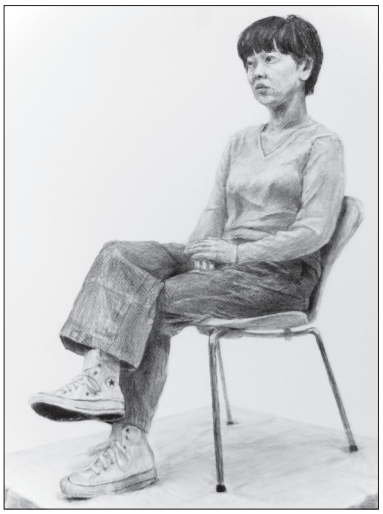
（第１期〔２月５日・６日試験〕）「油彩，アクリル，水彩，鉛筆，木炭のいずれかを選択し，人物を描く」（６時間）

人物（コスチューム）

コスチューム：ニット（長袖），パンツ

布×１，椅子×１

出題のポイント：人物モデルを四角い画面に安定した構図でおさめることができているか。また，着衣ですが，人物モデルの構造を意識しているか。そして各種素材の特性を活かせて描けているかを見ます。



絵画コース第1期（2月5･6日試験）参考作品

（第２期）「デッサン（鉛筆・木炭のいずれかを選択）」（６時間）

石膏像	×１
布	×１
手糸	×１
観葉植物	×１
たとう	×１

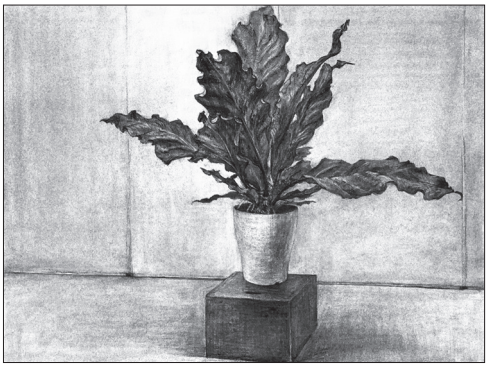
出題のポイント：モチーフの質やものとものの関係性を観察し，台の上に置かれた静物を通して，描写力，構成力，表現力を見るのがねらいです。

絵画コース第2期参考作品

・**彫刻コース**「鉛筆，木炭のいずれかを選択し，モノと空間を描く」（いずれも６時間）
（第１期［２月 ５日・ ６日試験］）コチレドン オルビキュラータ×１

（第１期［２月12日・13日試験］）アンスルム・フーケリー×１，箱イス×１

出題のポイント：アトリエの中に置かれたモチーフがつくる空間を把握し，画面上に構成することができるか。また，それぞれの素材を観察し，描き分けができているかというところを見ます。



彫刻コース入学試験での参考作品

デザイン学科

Q デザイン学科の特徴を教えてください。

A 1年次では，必修授業を通してデザインの基礎知識と技術の習得に専念します。併せてグラフィック・メディア・インタラクション・プロダクト・インダストリアル・スペース・アーキテクチャー等の基礎演習や実習からその概念や意義を学びます。2年次以降は自らが選択した授業（専門領域）を核に，必要とする他の領域を自由に学びながらデザイン手法を修得し，多様な社会の要請に応えられるデザイン力を学ぶことが出来ます。

Q 面接の参考資料とするための自作作品が大型の場合どうすればいいでしょうか？また評価について教えてください。

A 持参できる大きさの物にしてください。または写真に撮って持参することも可とします。
なお，持参作品は面接時の参考資料とし，作品そのものは採点しません。

Q 過去の一般入学試験（A方式）の実技課題と評価ポイントについて教えてください。

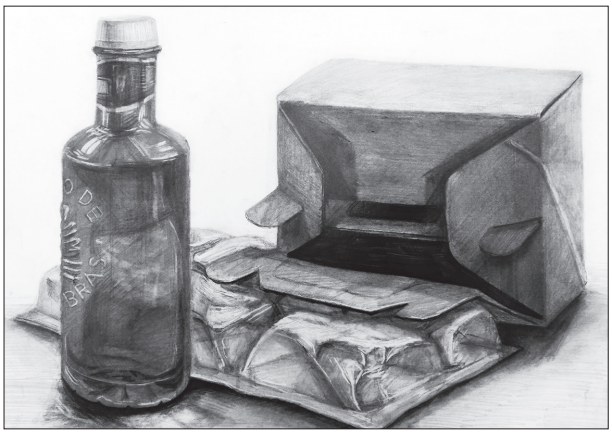
A 2019年度（昨年度）の実技課題については，第1期は15ページ，第2期は22ページを参照してください。

評価ポイントについては，以下を参照してください。

【鉛筆デッサン】

2019年度は，モチーフはセットで渡され，各自が自分の机の上でモチーフを組み，カルトンに画用紙をセットしてのデッサンでした。デザイン学科のデッサンは，対象物をよく観察し正確なプロポーションがとれているか質感の描きわけができているかを見ます。

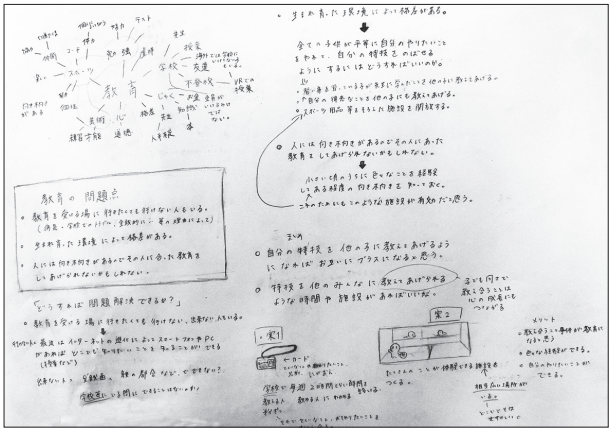
最終的にはモチーフに対する観察力・表現力といった総合的なデッサン力を重視しているのが出題のポイントです。

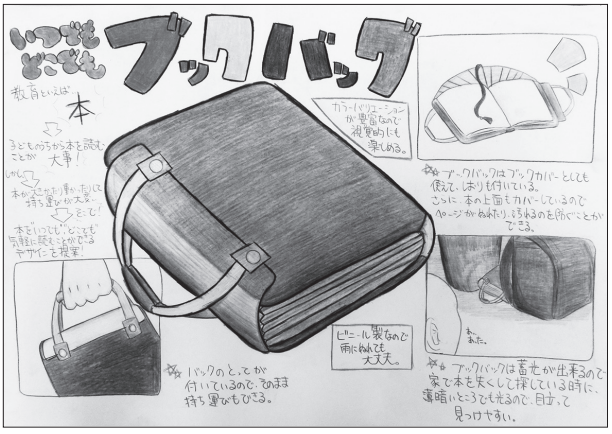


【デザインプレゼンテーション】

出題文から問題を見つける「問題発見能力」，そしてそれをデザインで解決する「問題解決能力」，更にはその解決法が「独創性」に富んだものか，「想像力」は豊かか，その中には「発想力とアイデアの展開力（幅広くアイデアが出せるか）」という点も含まれます。

最終的には，それらをわかりやすく表現するための工夫がなされているかという「プレゼンテーション力」を見ることが出題のポイントです。また，1枚目の最終案だけではなく，もう1枚提出する「最終案に至るまでの経緯」も重視していますので，そちらには思いついた案をすべて書き記してください。





※他の合格者作品をご覧になりたい場合は，デザイン学科ホームページをご確認ください
（http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/design/）

授業等について

授業について

本学部の授業形態としては，先生から専門の知識を教わる**講義科目**（90 分），先生の指導のもとに研究活動を行う**演習科目**（90 分～ 180 分），実際に機器の操作を行ったり，創作活動を行う**実験・実習科目**（135 分～ 270 分）といったものがあります。
本学部の特徴として，こうした演習や実験・実習科目が多く組まれていることが挙げられます。また，受講者 20 名以下の少人数の科目が半数近くを占めています。評価については通常のペーパーテストのほか，レポートや作品の提出，舞台発表や演奏等の審査によって行われています。
また，さまざまな芸術分野を網羅し，8 学科から構成される本学部には，他学科の学生も受講できる**「他学科公開科目」**を設定し，所属学科以外の芸術分野についても，学生一人ひとりの興味や関心に合わせて履修することができるようになっています。

取得資格について

●学位　　学士（芸術）

●教員免許状（教職課程）
各学科においては，右表の免許状を取得できます。

学　科	中学校一種	高等学校一種
美　術	美　術	美術，工芸
音　楽	音　楽	音　楽
文　芸	国　語	国　語
デザイン	美　術	美術，工芸

●学芸員資格（学芸員課程）
本学部では，学芸員（博物館，美術館等で資料の収集や保管，展示及び調査研究を行う専門職員）の資格を取得するための課程を設けています。

●司書教諭資格（司書教諭課程）
学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担う司書教諭の資格を取得するための課程です。司書教諭の資格を得るためには，所定の科目を修得し，教育職員免許状（免許の種類・教科は問いません）の取得が必要となります。

●司書資格（司書課程）
都道府県や市町村の公立図書館等で図書館資料の選択，発注及び受け入れから，分類，目録作成，貸出業務，読書案内などを行う専門的職員の資格を取得するための課程です。

●一級建築士＜デザイン学科＞
所定の建築士試験指定科目を修めて卒業し，卒業後２年以上の実務経験を経ることにより受験資格を得られます。

●二級建築士，木造建築士＜デザイン学科＞
所定の建築士試験指定科目を修めて卒業することで，受験資格を得られます。

転科・転コースについて

学部内で所属学科を変更することを**「転科」**と呼びます。転科試験については 11 月頃に受験資格，手続き要領などを掲示板に掲示します。また，学科内で所属コースを変更する**「転コース」**については，転科に準じて認められることがあります。
しかしながら，転科・転コースはあまり望ましいことではありません。入学試験の出願にあたっては，自分が何を目的としているか，何を学びたいのかといった視点から志望学科・コースを決めるようにしてください。

≪ 2019 年度転科試験実施状況≫

転科希望学科	出願者数	受験者数	合格者数
写　真	1	0	0
映　画	1	1	1
美　術	0	0	0
音　楽	1	1	1
文　芸	0	0	0
演　劇	3	3	3
放　送	2	2	0
デザイン	1	1	0
合　計	9	8	5

入学金・授業料等納入金について［2019年度（昨年度）参考］

昨年度入学者納入金は下表のとおりでした。2020年度入学者納入金については，後日，各入学試験出願書類に同封の要項等でご確認ください。
なお，２年次以降卒業年次までの納入金については，原則として，入学金を除く入学年度の納入金と同額になります。
また，入学後の学費等の納入期限は，前学期は４月末日まで，後学期は９月末日までとなります。

（単位：円）

学科・コース		納入区分	入学金（入学時のみ）	授業料	施設設備資金	実験実習料	後援会費	校友会費【準会員】	前学期 計 後学期 計	初年度 年　額	2年次以降 年　額
写　真		入学手続時（前学期）納入金	260,000	555,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,085,000	1,900,000	1,640,000
		後学期納入金	——	555,000	200,000	50,000	10,000	——	815,000		
映画	映像表現・理論	入学手続時（前学期）納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000
		後学期納入金	——	570,000	200,000	50,000	10,000	——	830,000		
	監督，撮影・録音	入学手続時（前学期）納入金	260,000	570,000	200,000	75,000	10,000	10,000	1,125,000	1,980,000	1,720,000
		後学期納入金	——	570,000	200,000	75,000	10,000	——	855,000		
	演技	入学手続時（前学期）納入金	260,000	570,000	200,000	40,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000
		後学期納入金	——	570,000	200,000	40,000	10,000	——	820,000		
美　術		入学手続時（前学期）納入金	260,000	550,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000
		後学期納入金	——	550,000	200,000	60,000	10,000	——	820,000		
音　楽		入学手続時（前学期）納入金	260,000	555,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,095,000	1,920,000	1,660,000
		後学期納入金	——	555,000	200,000	60,000	10,000	——	825,000		
文　芸		入学手続時（前学期）納入金	260,000	520,000	200,000	25,000	10,000	10,000	1,025,000	1,780,000	1,520,000
		後学期納入金	——	520,000	200,000	25,000	10,000	——	755,000		
演　劇		入学手続時（前学期）納入金	260,000	555,000	200,000	35,000	10,000	10,000	1,070,000	1,870,000	1,610,000
		後学期納入金	——	555,000	200,000	35,000	10,000	——	800,000		
放　送		入学手続時（前学期）納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000
		後学期納入金	——	570,000	200,000	50,000	10,000	——	830,000		
デザイン		入学手続時（前学期）納入金	260,000	550,000	200,000	45,000	10,000	10,000	1,075,000	1,880,000	1,620,000
		後学期納入金	——	550,000	200,000	45,000	10,000	——	805,000		

※卒業予定年次後学期に，校友会正会員費初年度分として10,000円徴収いたします。

2019年度　授業科目一覧

本学部においては，卒業するために必要な単位数を 128 単位以上と定めています。

科目区分		必要単位数	備考
芸術教養課程科目（各学科共通授業科目）	**芸術教養科目**	20単位以上	「自主創造の基礎１」２単位は必修 「自主創造の基礎２」２単位は必ず履修
	外国語科目 **（英・独・仏・伊・中・日本語から１外国語を選択必修）**	１外国語８単位以上	留学生のみ日本語を選択可
	保健体育科目	３単位以上	講義２単位，実技１単位は必修
学科別授業科目（各所属学科）		60単位以上	
その他		37単位以上	日本大学相互履修科目，他学科公開科目などを含む
合　計		128単位以上	

芸術教養科目は，大学の学生としてもつべき基本的教養，各芸術分野にまたがる総合的視野を身につけるために設置されている科目です。「自主創造の基礎１」「自主創造の基礎２」は日本大学全学共通初年次教育科目であり，能動的な学修行動，コミュニケーション能力及び社会人基礎力等を身に付けることを目的とした科目です。「自主創造の基礎１」「自主創造の基礎２」は必修科目です。

外国語科目は，基礎的な語学力を身につけるとともに，国際人としての基本的な教養を学ぶために設置されている科目で，英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・中国語・日本語（留学生のみ）の中から１外国語の選択必修となっています。必修のほかに，韓国語・スペイン語・ラテン語や，各外国語の応用・実践クラスを自由に履修することができます。

保健体育科目は，講義と実技に分かれています。講義では日常の健康法やスポーツの歴史などを学び，実技ではスポーツの技術を修得します。実技科目には，各種球技やフィットネストレーニング・ボクササイズなどのほか，スキー・スケートなどのシーズンスポーツが開設されています。

学科別授業科目とは，各学科の専門科目のことです。どの学科の専門科目も，A 理論・歴史 B 研究 C 表現技術の３部門により構成されています。A部門では，各分野の芸術について，基本から応用までの理論と歴史を学びます。B部門では，それぞれの芸術に特有のテーマについて，各先生の研究成果をもとに，より専門的な授業が行われます。C部門では表現の技術を実践的に身につけるための演習・実習授業が，コース別・専攻別に行われます。学科別授業科目は，自分の所属する学科以外の科目でも履修することができます。ただし，これには条件があり，学科別授業科目のうち，**「他学科公開科目」**として定められている科目に限られています。

また，特別プログラムとして**「芸術総合講座」**が開設され，さまざまな芸術領域の最新情報や技術を，オムニバス形式の授業により学ぶことができます。一部の授業では実際の作品創りやワークショップなど，実践的，創造的な授業を展開しています。2019 年度は，**「アート・マネジメント」**，広告の発想から，企画・表現までを，第一線のクリエイターがリレー方式で講義する**「広告企画実務」**，芸術の身体的･精神的治癒力を通して，芸術と社会との有機的関係を学ぶ**「芸術療法」**，映像ビジネスの基本構造を学ぶ**「映像ビジネス」**，メディア業界では必須の知識となっている著作権や作品の権利処理に関する実務を学ぶ**「著作権と文化・メディア契約」**が開講されています。また，寄付講座として，株式会社東北新社との提携による**「映像コンテンツプロデュース論―東北新社グループ―」**，AOI TYO Holdings 株式会社との提携による**「TYO 冠講座」吉田塾～時代の波と広告～**も開講されています。

このほか，卒業単位には含まれませんが，**教職課程，学芸員課程，司書教諭課程及び司書課程**の科目も設置されています。

大学での学習に何を求めるか，学生一人ひとりが主体的に考え，さまざまな授業科目を組み合わせて「自分だけの時間割」を作るところに，大学での学びの面白さがあります。学科・コースにより必修科目，必修ではないが履修することが望ましい科目がありますし，科目によっては履修する学年が指定されている場合もありますが，それでも各自の目的の違いによって，大学には学生の数だけの時間割が存在するといって良いのです。

インターンシップについて

芸術学部では，学生が自らの専門分野や将来のキャリアに関連した〈実社会の現場〉で業務体験を行うことを通じて，各自の〈職業観〉を身につけることを目的に，「芸術学部インターンシップ制度」を設けています。

写真，映画，デザイン学科においては，選択科目として年間の正規の授業に組み入れられており，原則的に３年生の夏休みに集中的に行われます。教室での授業では得られない実社会の体験を通して，社会人としての自覚を意識できるチャンスであり，また自分に合った職業を見つめ直すチャンスでもあります。

授業科目一覧の見方

①履修の細則については掲載しておりませんので，参考資料としてご覧ください。
②学科別授業科目には学科あるいはコースにより必修・選択必修指定の科目があり，また履修上いくつかの制約が設けられている科目もあります。
学生は，毎年4月に行われる各学科ごとのガイダンスにより，詳細について指示を受けます。
③網掛けの科目は，他学科公開科目を表しています。

芸術教養科目

自主創造の基礎1	芸術学Ⅱ
自主創造の基礎2	芸術学Ⅲ
知の探究Ⅰ	芸術学Ⅳ
知の探究Ⅱ	芸術の思想と表現Ⅰ
ロゴスの探究Ⅰ	芸術の思想と表現Ⅱ
ロゴスの探究Ⅱ	音楽と情報
エチカの探究Ⅰ	芸術文化と福祉
エチカの探究Ⅱ	コミュニケーション
歴史と文化	色彩の基礎
文学の世界Ⅰ	モード論
文学の世界Ⅱ	日本の芸能史
日本の先史文化と環境Ⅰ	民俗芸能文化論
日本の先史文化と環境Ⅱ	アートと教育
法と政治	シナリオ分析
日本国憲法	メディア・リテラシーⅠ
社会現象の解読Ⅰ	メディア・リテラシーⅡ
社会現象の解読Ⅱ	東アジア世界の考古学Ⅰ
芸術文化の経済Ⅰ	東アジア世界の考古学Ⅱ
芸術文化の経済Ⅱ	芸術と社会
人間の心理Ⅰ	形象文化論
人間の心理Ⅱ	表演芸術論
芸術と心理Ⅰ	メディア芸術論
芸術と心理Ⅱ	芸術理論研究
数学的思考の探究Ⅰ	芸術特殊研究
数学的思考の探究Ⅱ	芸術総合講座Ⅰ
情報Ⅰ	芸術総合講座Ⅱ
情報Ⅱ	芸術総合講座Ⅲ
自然科学Ⅰ	芸術総合講座Ⅳ
自然科学Ⅱ	芸術総合講座Ⅴ
自然の探究Ⅰ	芸術総合講座Ⅵ
自然の探究Ⅱ	芸術総合講座Ⅶ
言葉のしくみ	芸術総合講座Ⅷ
日本の文化	芸術と身体
美学Ⅰ	芸術理論演習
美学Ⅱ	芸術批評演習
美学Ⅲ	芸術リサーチ演習
美学Ⅳ	Culture and Society
芸術学Ⅰ	

司書教諭課程

学校経営と学校図書館	読書と豊かな人間性
学校図書館メディアの構成	情報メディアの活用
学習指導と学校図書館	

司書課程

生涯学習概論	情報サービス演習
図書館概論	図書館情報資源概論
図書館制度・経営論	情報資源組織論
図書館情報技術論	情報資源組織演習
図書館サービス概論	図書館基礎特論
情報サービス論	図書館総合演習
児童サービス論	

外国語科目

英語Ⅰ	応用英語Ⅰ
英語Ⅱ	応用英語Ⅱ
英語Ⅲ	応用英語Ⅲ
英語Ⅳ	応用英語Ⅳ
ドイツ語Ⅰ	実践ドイツ語Ⅰ
ドイツ語Ⅱ	実践ドイツ語Ⅱ
ドイツ語Ⅲ	実践フランス語Ⅰ
ドイツ語Ⅳ	実践フランス語Ⅱ
フランス語Ⅰ	実践イタリア語
フランス語Ⅱ	実践中国語
フランス語Ⅲ	実践日本語
フランス語Ⅳ	韓国語
イタリア語Ⅰ	スペイン語
イタリア語Ⅱ	ラテン語
イタリア語Ⅲ	海外語学研修Ⅰ
イタリア語Ⅳ	海外語学研修Ⅱ
中国語Ⅰ	海外語学研修Ⅲ
中国語Ⅱ	海外語学研修Ⅳ
中国語Ⅲ	検定英語
中国語Ⅳ	検定ドイツ語
日本語Ⅰ	検定フランス語
日本語Ⅱ	検定イタリア語
日本語Ⅲ	検定中国語
日本語Ⅳ	

保健体育科目

健康・スポーツ科学	体育実技Ⅳ
体育実技Ⅰ	体育実技Ⅴ
体育実技Ⅱ	体育実技Ⅵ
体育実技Ⅲ	

教職科目

教育原論	音楽科教育法Ⅳ
教育の社会学	美術科教育法Ⅰ
現代教職論	美術科教育法Ⅱ
発達と学習	美術科教育法Ⅲ
教育相談	美術科教育法Ⅳ
教育の方法・技術論	工芸科教育法Ⅰ
生徒指導・進路指導論	工芸科教育法Ⅱ
国語科教育法Ⅰ	道徳教育の理論と方法
国語科教育法Ⅱ	特別活動論
国語科教育法Ⅲ	教職実践演習(中・高)
国語科教育法Ⅳ	教育実習事前・事後指導
音楽科教育法Ⅰ	教育実習Ⅰ
音楽科教育法Ⅱ	教育実習Ⅱ
音楽科教育法Ⅲ	

学芸員課程科目

博物館概論	博物館情報・メディア論
博物館資料論	生涯学習概論
博物館経営論	博物館資料保存論
博物館展示論	博物館実習Ⅰ
博物館教育論	博物館実習Ⅱ

写真学科

A　理論・歴史部門	写真表現研究Ⅰ	写真技術Ⅴ
写真芸術学	写真表現研究Ⅱ	写真技術Ⅵ
写真史Ⅰ	写真表現研究Ⅲ	画像処理Ⅰ
写真史Ⅱ	写真表現研究Ⅳ	画像処理Ⅱ
写真概論	写真表現研究Ⅴ	写真表現Ⅰ
イメージングプロセス論Ⅰ	写真表現研究Ⅵ	写真表現Ⅱ
イメージングプロセス論Ⅱ	写真表現研究Ⅶ	写真表現Ⅲ
写真光学	写真表現研究Ⅷ	写真表現Ⅳ
写真化学	写真表現研究Ⅸ	写真表現Ⅴ
カメラメカニズム	写真表現研究Ⅹ	写真表現Ⅵ
電子画像概論	写真特別講座Ⅰ	インターンシップ
写真色彩学概論	写真特別講座Ⅱ	デザイン手法
写真色彩学応用	写真特別講座Ⅲ	写真基礎演習Ⅰ
写真印刷	**C　表現技術部門**	写真基礎演習Ⅱ
B　研究部門	写真技術Ⅰ	写真基礎演習Ⅲ
写真作家作品研究Ⅰ	写真技術Ⅱ	ゼミナール
写真作家作品研究Ⅱ	写真技術Ⅲ	卒業論文・制作
写真作家作品研究Ⅲ	写真技術Ⅳ	

映画学科

A　理論・歴史部門	映像特別講座Ⅱ	発声Ⅰ
映画芸術学	**C　表現技術部門**	発声Ⅱ
映画と諸芸術	映像表現・理論Ⅰ	発声Ⅲ
写真光学（映画）	映像表現・理論Ⅱ	音楽Ⅰ
映像概論	映像表現・理論Ⅲ	音楽Ⅱ
映像心理学	映画基礎演習	音楽Ⅲ
日本映画史Ⅰ	映画演出論	日舞Ⅰ
日本映画史Ⅱ	映画演技論	日舞Ⅱ
外国映画史Ⅰ	映画音楽	日舞Ⅲ
外国映画史Ⅱ	映画技術論	洋舞Ⅰ
外国映画史Ⅲ	センシトメトリー(映画)	洋舞Ⅱ
外国映画史Ⅳ	映画研究Ⅰ	洋舞Ⅲ
映画理論基礎	映画研究Ⅱ	映画技術基礎
前衛映画史	映画フィルム概論Ⅰ	映画技術Ⅰ
ドキュメンタリー映画史	映画フィルム概論Ⅱ	映画技術Ⅱ
B　研究部門	音響基礎	映画技術Ⅲ
シナリオ論	電気基礎	撮影研究Ⅰ
映画作品研究	録音機器	撮影研究Ⅱ
映画鑑賞批評Ⅰ	音響表現	映画編集
映画鑑賞批評Ⅱ	映画批評演習	録音研究Ⅰ
作品批評実習	映画理論演習	録音研究Ⅱ
映画文献研究	シナリオ作法Ⅰ	映像技術基礎
映画特講Ⅰ	シナリオ作法Ⅱ	映像メディア演習
映画特講Ⅱ	シナリオ作法Ⅲ	イメージプロセッシング
映画特講Ⅲ	シナリオ基礎	アニメーションⅠ
映画特講Ⅳ	シナリオ演習Ⅰ	アニメーションⅡ
映画特講Ⅴ	シナリオ演習Ⅱ	メディアアートⅠ
映画特講Ⅵ	映画演出Ⅰ	メディアアートⅡ
映画特講Ⅶ	映画演出Ⅱ	CGI演習Ⅰ
映像企画発想論	映画演出Ⅲ	CGI演習Ⅱ
映像メディア論	映画演出基礎	総合制作演習Ⅰ
映画ビジネスⅠ	演技指導実習Ⅰ	総合制作演習Ⅱ
映画ビジネスⅡ	演技指導実習Ⅱ	総合制作演習Ⅲ
映画ビジネスⅢ	映画演技基礎	卒業論文・制作・研究
映画ビジネスⅣ	映画演技実習Ⅰ	
映像特別講座Ⅰ	映画演技実習Ⅱ	

美術学科

A 理論・歴史部門	美術作品研究Ⅰ	絵画Ⅱ
美術学Ⅰ	美術作品研究Ⅱ	絵画Ⅲ
美術学Ⅱ	美術作品研究Ⅲ	絵画Ⅳ
解剖学Ⅰ	美術作品研究Ⅳ	絵画Ⅴ
解剖学Ⅱ	美術作品研究Ⅴ	絵画Ⅵ
美術史概論Ⅰ	美術作品研究Ⅵ	絵画Ⅶ
美術史概論Ⅱ	美術作品研究Ⅶ	絵画Ⅷ
美術史概論Ⅲ	美術作品研究Ⅷ	版画Ⅰ
美術史概論Ⅳ	美術特別講座Ⅰ	版画Ⅱ
西洋美術史Ⅰ	美術特別講座Ⅱ	版画Ⅲ
西洋美術史Ⅱ	古美術研究	版画Ⅳ
西洋美術史Ⅲ	版画作品研究	版画基礎
西洋美術史Ⅳ	美術特別研究Ⅰ	彫塑
日本美術史Ⅰ	美術特別研究Ⅱ	古典技法
日本美術史Ⅱ	C 表現技術部門	卒業論文・制作
日本美術史Ⅲ	デッサン	D 教職教科部門
日本美術史Ⅳ	彫刻Ⅰ	デザイン論Ⅰ
東洋美術史Ⅰ	彫刻Ⅱ	デザイン論Ⅱ
東洋美術史Ⅱ	彫刻Ⅲ	図学Ⅰ
B 研究部門	彫刻Ⅳ	図学Ⅱ
素材研究	彫刻Ⅴ	映像メディア研究
美的構成研究Ⅰ	彫刻Ⅵ	美術教材研究Ⅰ
美的構成研究Ⅱ	彫刻Ⅶ	美術教材研究Ⅱ
版画概論Ⅰ	彫刻Ⅷ	工芸演習Ⅰ
版画概論Ⅱ	絵画Ⅰ	工芸演習Ⅱ

文芸学科

A 理論・歴史部門	SF小説論Ⅰ	文芸研究Ⅱ
文芸理論	SF小説論Ⅱ	文芸研究Ⅲ
文学概論	ミステリー小説論	文芸研究Ⅳ
文化概論	ノンフィクション論	文芸特殊研究Ⅰ
言語学	マンガ論	文芸特殊研究Ⅱ
外国文芸史Ⅰ	ジャーナリズム論	編集演習
外国文芸史Ⅱ	メディア論	文芸創作実習Ⅰ
外国文芸史Ⅲ	マスコミ研究	文芸創作実習Ⅱ
古典文学史	出版文化論	文芸創作実習Ⅲ
現代文学史	翻訳文学論	ジャーナリズム実習Ⅰ
日本文化史	雑誌研究	ジャーナリズム実習Ⅱ
近代思想論	戯曲研究	ジャーナリズム実習Ⅲ
文芸入門講座	文芸特殊講義Ⅰ	文芸研究実習Ⅰ
B 研究部門	文芸特殊講義Ⅱ	文芸研究実習Ⅱ
作家作品論	文芸特殊講義Ⅲ	文芸研究実習Ⅲ
小説論	文芸特殊講義Ⅳ	DTP実習Ⅰ
文体論	文芸特殊講義Ⅴ	DTP実習Ⅱ
創作論Ⅰ	文芸特殊講義Ⅵ	DTP実習Ⅲ
創作論Ⅱ	文芸特殊講義Ⅶ	マンガ実習
創作論Ⅲ	文芸特殊講義Ⅷ	卒業論文・作品
伝記論	原書講読Ⅰ	D 教職教科部門
文芸批評論	原書講読Ⅱ	国語学
エッセイ研究	原書講読Ⅲ	国文学
児童文学論	原書講読Ⅳ	漢文学
現代詩研究	文芸特別講座Ⅰ	漢文学史
詩歌論	文芸特別講座Ⅱ	書道
シナリオ研究	C 表現技術部門	
幻想小説論	文芸研究Ⅰ	

音楽学科

A 理論・歴史部門	音楽特殊研究Ⅲ	弦楽器Ⅳ
音楽学Ⅰ	音楽療法特殊研究Ⅰ	副科弦楽器Ⅰ
音楽学Ⅱ	音楽療法特殊研究Ⅱ	副科弦楽器Ⅱ
音楽概論	音楽療法特殊研究Ⅲ	副科弦楽器Ⅲ
音楽形式学	音楽療法特殊研究Ⅳ	管打楽器Ⅰ
音楽教育学	音楽文献原典講読Ⅰ	管打楽器Ⅱ
音声学	音楽文献原典講読Ⅱ	管打楽器Ⅲ
作曲論Ⅰ	音楽特別講座Ⅰ	管打楽器Ⅳ
作曲論Ⅱ	音楽特別講座Ⅱ	副科管打楽器Ⅰ
演奏論Ⅰ	C 表現技術部門	副科管打楽器Ⅱ
演奏論Ⅱ	作曲Ⅰ	副科管打楽器Ⅲ
音楽史Ⅰ	作曲Ⅱ	オーケストラⅠ
音楽史Ⅱ	作曲Ⅲ	オーケストラⅡ
音楽史Ⅲ	作曲Ⅳ	オーケストラⅢ
音楽史Ⅳ	副科作曲Ⅰ	オーケストラⅣ
音楽史Ⅴ	副科作曲Ⅱ	吹奏楽Ⅰ
音楽史Ⅵ	和声Ⅰ	吹奏楽Ⅱ
B 研究部門	和声Ⅱ	吹奏楽Ⅲ
音楽学研究Ⅰ	和声Ⅲ	吹奏楽Ⅳ
音楽学研究Ⅱ	フーガ	室内楽Ⅰ
音楽教育学研究	編曲法	室内楽Ⅱ
音楽教育研究Ⅰ	ピアノⅠ	室内楽Ⅲ
音楽教育研究Ⅱ	ピアノⅡ	室内楽Ⅳ
音楽教育研究Ⅲ	ピアノⅢ	ミュージックコンピューティングⅠ
音楽情報処理Ⅰ	ピアノⅣ	ミュージックコンピューティングⅡ
音楽情報処理Ⅱ	副科ピアノⅠ	DSP演習Ⅰ
音響信号処理Ⅰ	副科ピアノⅡ	DSP演習Ⅱ
音響信号処理Ⅱ	副科ピアノⅢ	サウンドデザイン演習
音楽音響研究	副科ピアノⅣ	レコーディング演習
音楽知覚認知研究	オルガンⅠ	スタジオ演習
イノベーション	オルガンⅡ	デジタルコンテンツ演習
R&D研究	伴奏法Ⅰ	ソルフェージュⅠ
音楽療法研究Ⅰ	伴奏法Ⅱ	ソルフェージュⅡ
音楽療法研究Ⅱ	声楽Ⅰ	ソルフェージュⅢ
音楽療法研究Ⅲ	声楽Ⅱ	指揮法演習
音楽療法研究Ⅳ	声楽Ⅲ	音楽教材演習
音楽療法研究Ⅴ	声楽Ⅳ	教育用楽器等合奏法
音楽療法研究Ⅵ	副科声楽Ⅰ	音楽療法演習Ⅰ
音楽作品研究	副科声楽Ⅱ	音楽療法演習Ⅱ
音楽作品分析	副科声楽Ⅲ	音楽療法演習Ⅲ
日本の伝統音楽研究	合唱Ⅰ	音楽療法演習Ⅳ
民族音楽研究	合唱Ⅱ	音楽療法実習Ⅰ
ジャズ研究	合唱Ⅲ	音楽療法実習Ⅱ
ポピュラー音楽研究	合唱Ⅳ	ゼミナールⅠ
記譜法	オペラⅠ	ゼミナールⅡ
日本歌曲研究	オペラⅡ	音楽特別演習Ⅰ
外国歌曲研究Ⅰ	オペラⅢ	音楽特別演習Ⅱ
外国歌曲研究Ⅱ	弦楽器Ⅰ	音楽特別演習Ⅲ
音楽特殊研究Ⅰ	弦楽器Ⅱ	卒業論文・演奏・作品
音楽特殊研究Ⅱ	弦楽器Ⅲ	

日本大学相互履修科目について

日本大学は，あらゆる学問分野を網羅した16学部からなる総合大学です。本学部ではこうした特徴を生かした**相互履修制度**により，在学する学部以外の授業科目を履修し，単位を修得することができます。自分の専攻分野の隣接科目を中心に学ぶことはもちろん，自分の興味を生かし，勉学分野を広げるために積極的に活用することも可能です。

海外留学による単位の修得について

日本大学では，本学の正規課程に在学する学生を対象に，大学本部主催による 14 ヶ国 25 大学との交換・派遣留学制度（日本大学交換・派遣留学生）や短期海外研修を実施しています。また，本学部主催による夏期休暇期間中に行うサマースクールや，学生個人の留学に対して，本学部が教育上有益であるとして，留学が認められる認定留学制度を実施しています。
上記留学中に修得した単位は，本学部においてその履修科目の講義内容・時間数などを勘案した上で，卒業単位として認定する場合があります。これらの制度による認定単位数の上限は，相互履修科目の単位を含め 60 単位までとなります。

演劇学科

A 理論・歴史部門	装置研究	応用演劇演習	西洋舞踊実習Ⅰ
演劇概論Ⅰ	照明研究	特殊演習Ⅰ	西洋舞踊実習Ⅱ
演劇概論Ⅱ	舞台技術研究Ⅰ	特殊演習Ⅱ	西洋舞踊実習Ⅲ
演劇学	舞台技術研究Ⅱ	特殊演習Ⅲ	西洋舞踊実習Ⅳ
舞踊学	企画制作研究Ⅰ	特殊演習Ⅳ	企画制作実習Ⅰ
パフォーマンス学	企画制作研究Ⅱ	特殊演習Ⅴ	企画制作実習Ⅱ
劇場論Ⅰ	企画制作研究Ⅲ	特殊演習Ⅵ	企画制作実習Ⅲ
劇場論Ⅱ	演劇特殊研究Ⅰ	特殊演習Ⅶ	企画制作実習Ⅳ
戯曲論	演劇特殊研究Ⅱ	特殊演習Ⅷ	演劇特殊実習Ⅰ
演出論	演劇特殊研究Ⅲ	劇作実習Ⅰ	演劇特殊実習Ⅱ
演技論	演劇特殊研究Ⅳ	劇作実習Ⅱ	演劇特殊実習Ⅲ
舞踊論Ⅰ	演劇特殊研究Ⅴ	劇作実習Ⅲ	演劇特殊実習Ⅳ
舞踊論Ⅱ	演劇特殊研究Ⅵ	劇作実習Ⅳ	演劇特殊実習Ⅴ
演劇教育論Ⅰ	演劇特殊研究Ⅶ	演出実習Ⅰ	演劇特殊実習Ⅵ
演劇教育論Ⅱ	演劇特殊研究Ⅷ	演出実習Ⅱ	上演実習Ⅰ
演劇史Ⅰ	演劇特殊研究Ⅸ	演出実習Ⅲ	上演実習Ⅱ
演劇史Ⅱ	演劇特殊研究Ⅹ	演出実習Ⅳ	上演実習Ⅲ
演劇史Ⅲ	C 表現技術部門	演技実習Ⅰ	上演実習Ⅳ
演劇史Ⅳ	演劇基礎演習	演技実習Ⅱ	総合実習Ⅰ
演劇史Ⅴ	戯曲演習	演技実習Ⅲ	総合実習Ⅱ
舞踊史Ⅰ	演出演習	演技実習Ⅳ	総合実習Ⅲ
舞踊史Ⅱ	演技演習	舞台装置実習Ⅰ	総合実習Ⅳ
B 研究部門	舞台装置演習	舞台装置実習Ⅱ	舞台技術実習Ⅰ
演劇美学研究	舞台照明演習	舞台装置実習Ⅲ	舞台技術実習Ⅱ
応用演劇研究	日本舞踊演習	舞台装置実習Ⅳ	舞台技術実習Ⅲ
東洋演劇研究	西洋舞踊演習	舞台照明実習Ⅰ	ゼミナールⅠ
演劇批評研究	企画制作演習	舞台照明実習Ⅱ	ゼミナールⅡ
古典演劇研究Ⅰ	演劇教育演習	舞台照明実習Ⅲ	ゼミナールⅢ
古典演劇研究Ⅱ	舞台技術演習	舞台照明実習Ⅳ	ゼミナールⅣ
現代演劇研究Ⅰ	音響効果演習	日本舞踊実習Ⅰ	ゼミナールⅤ
現代演劇研究Ⅱ	舞台扮装演習	日本舞踊実習Ⅱ	ゼミナールⅥ
作家作品研究Ⅰ	演劇プロデュース演習	日本舞踊実習Ⅲ	卒業ゼミナール
作家作品研究Ⅱ	東洋舞踊演習	日本舞踊実習Ⅳ	卒業研究

放送学科

A 理論・歴史部門	作品研究Ⅶ	放送表現と人権	音響技術Ⅱ
放送概論	作品研究Ⅷ	放送美術論	CMⅡ
ラジオ史	作品研究Ⅸ	放送広告論	脚本実習Ⅱ
テレビ史	作品研究Ⅹ	放送技術概論	アナウンス実習Ⅱ
放送制度論	放送特殊研究Ⅰ	音響技術論Ⅰ	テレビ制作Ⅲ
放送契約論	放送特殊研究Ⅱ	音響技術論Ⅱ	ラジオ制作Ⅲ
放送文化論	放送特殊研究Ⅲ	映像技術論Ⅰ	映像技術Ⅲ
放送事業研究	放送特殊研究Ⅳ	映像技術論Ⅱ	音響技術Ⅲ
情報通信ビジネス	放送特殊研究Ⅴ	映像制作演習	CMⅢ
放送社会学	放送特殊研究Ⅵ	音響制作演習	テレビ企画構成演習Ⅰ
電気概論	放送特殊研究Ⅶ	アナウンス演習	テレビ企画構成演習Ⅱ
B 研究部門	放送特殊研究Ⅷ	脚本演習	ラジオ企画構成演習Ⅰ
番組編成論	放送特殊研究Ⅸ	企画演習	ラジオ企画構成演習Ⅱ
ラジオの編成と制作	放送特殊研究Ⅹ	取材調査演習	コピー・コンテ演習Ⅰ
視聴者調査論	卒業研究ゼミナールⅠ	テレビ制作Ⅰ	コピー・コンテ演習Ⅱ
スポーツ番組研究	卒業研究ゼミナールⅡ	ラジオ制作Ⅰ	照明演習
制作技術研究	放送特別講座Ⅰ	映像技術Ⅰ	ニュース分析Ⅰ
広告とマーケティング戦略	放送特別講座Ⅱ	音響技術Ⅰ	ニュース分析Ⅱ
作品研究Ⅰ	C 表現技術部門	CMⅠ	ルポルタージュⅠ
作品研究Ⅱ	放送脚本論	脚本実習Ⅰ	ルポルタージュⅡ
作品研究Ⅲ	ラジオ演出論	アナウンス実習Ⅰ	文章講座
作品研究Ⅳ	テレビ演出論	テレビ制作Ⅱ	卒業研究
作品研究Ⅴ	ドキュメンタリーの演出	ラジオ制作Ⅱ	
作品研究Ⅵ	テレビドラマの表現	映像技術Ⅱ	

デザイン学科

A 理論・歴史部門	ソーシャルデザイン
デザイン論Ⅰ	アーキテクチュアルドローイング
デザイン論Ⅱ	タイポグラフィックデザイン
ユニバーサルデザイン論	エディトリアルデザイン
美術学Ⅰ	フォトグラフィⅠ
美術学Ⅱ	フォトグラフィⅡ
施工概論	（ベーシックデザインⅡ）
構法概論	レンダリング
建築生産論	モデリング
環境論Ⅰ	CADⅠ
環境論Ⅱ	CADⅡ
日本建築史	（グラフィックデザイン）
西洋建築史	サイエンスⅠ
美術史概論	サイエンスⅡ
工芸概論	イラストレーション
グラフィックデザイン史	ビジュアルコミュニケーションⅠ
コミュニケーションデザイン史	ビジュアルコミュニケーションⅡ
インダストリアルデザイン史Ⅰ	ビジュアルコミュニケーションⅢ
インダストリアルデザイン史Ⅱ	ビジュアルコミュニケーションⅣ
B 研究部門	ビジュアルコミュニケーションⅤ
デザイン情報論	テクニカルイラストレーションⅠ
連携デザイン論	テクニカルイラストレーションⅡ
タイポグラフィ論Ⅰ	（メディアデザイン）
タイポグラフィ論Ⅱ	ネットワークデザインⅠ
エルゴノミクス概論Ⅰ	ネットワークデザインⅡ
エルゴノミクス概論Ⅱ	メディアイノベーションⅠ
プランニングⅠ	メディアイノベーションⅡ
プランニングⅡ	プロモーションデザインⅠ
力学	プロモーションデザインⅡ
ストラクチャーⅠ	（インタラクションデザイン）
ストラクチャーⅡ	インタラクションデザインⅠ
マテリアル	インタラクションデザインⅡ
メカトロニクス概論Ⅰ	インタラクションデザインⅢ
メカトロニクス概論Ⅱ	インタラクションデザインⅣ
インダストリアルデザイン論Ⅰ	インタラクションデザインⅤ
インダストリアルデザイン論Ⅱ	（インダストリアルデザイン）
建築デザイン論	インダストリアルデザインⅠ
インタラクションデザイン論Ⅰ	インダストリアルデザインⅡ
インタラクションデザイン論Ⅱ	インダストリアルデザインⅢ
デザインマネージメント論Ⅰ	インダストリアルデザインⅣ
デザインマネージメント論Ⅱ	インダストリアルデザインⅤ
建築設備	（プロダクトデザイン）
建築法規	プロダクトデザインⅠ
図学Ⅰ	プロダクトデザインⅡ
図学Ⅱ	プロダクトデザインⅢ
サイエンスコミュニケーション論Ⅰ	プロダクトデザインⅣ
サイエンスコミュニケーション論Ⅱ	プロダクトデザインⅤ
デザイン特別講座Ⅰ	（スペースデザイン）
デザイン特別講座Ⅱ	スペースデザインⅠ
デザイン特別講座Ⅲ	スペースデザインⅡ
C 表現技術部門	スペースデザインⅢ
（コミュニケーションデザイン）	スペースデザインⅣ
ドローイング	スペースデザインⅤ
製図Ⅰ	スペースデザインⅥ
製図Ⅱ	（アーキテクチュアデザイン）
カラー&コンポジション	アーキテクチュアデザインⅠ
スタイル&フォーム	アーキテクチュアデザインⅡ
マテリアル&コンストラクション	アーキテクチュアデザインⅢ
デザインフィールドワークショップ	アーキテクチュアデザインⅣ
ベーシックデザインワークショップ	アーキテクチュアデザインⅤ
（ベーシックデザインⅠ）	アーキテクチュアデザインⅥ
表現思考基礎	デザインプロジェクトⅠ
ビジュアルランゲージ	デザインプロジェクトⅡ
コンピュータ基礎Ⅰ	（コラボレーションデザイン）
コンピュータ基礎Ⅱ	総合演習
メディア基礎	インターンシップ
インタラクション基礎	デザインゼミナール
ネイチャー&サイエンスデザイン	卒業論文・制作

卒業制作等，学生の作品発表を見るには…

芸術学部では，教育の成果として，年間にわたり学生の作品が発表されています。写真・絵画・彫刻・デザインなどの展示，映画・放送等の映像作品の上映，文芸誌ほか各学科研究誌の出版，音楽・演劇・舞踊の上演といったように，発表の形式・内容もバラエティに富んでおり，こうした作品の中には，学外の各種コンクールにおいて審査を受け，受賞するものも数多くあります。
学部では，各学科の実習内容を理解していただくためにも，これらの発表をぜひ見ていただきたいと願っています。

※ 2019 年 4 月現在の予定について掲載しています。詳しくは，本学部ホームページをご確認ください。

学科	名　称	時　期	会　場	内　容
写真	卒業・修了制作 優秀作品展	随時 (ホームページにてご確認ください)	学部校舎 写真ギャラリー	前年度の優秀作品（卒業制作・修了制作）の展示（無料）
	学生選抜作品展 GRIP2019	5 /30 ～ 6 / 5	ポートレートギャラリー （四谷）	学内選考によって選ばれた学生による展示（無料）
	出て来い新人８	11 月（予定）	THE GALLERY 新宿 （Nikon）	学内選考によって選ばれた学生による展示（無料）
	日藝祭写真展	11/ 2 ～ 4	学部校舎	学生の個人・グループによる作品展示（無料）
	SELECT SELECT2020	2 月	学部校舎芸術資料館	「GRIP2019」「出て来い新人８」より選抜された作品の展示（無料）
	卒業制作集「LOCUS（ルーカス）」	3 月発行	学部校舎にて閲覧可	卒業制作・論文の抄録
	写真学科 2020 卒展	3 月下旬（予定）	学部校舎（予定） (ホームページにて告知します)	学生作品の展示（無料）
	問合せ先　☎03-5995-8210（写真学科事務室）		写真学科公式ホームページ	http://www.nuaphoto.com/
映画	映画学科機関誌 「映像研究」	3 月発行	学部校舎にて閲覧可	各年度の卒業論文，シナリオ，エッセイや作品題目一覧等を掲載
	映像表現・理論コース２年ゼミ誌 「書くことから」	4 月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現･理論コース2年　理論･批評専攻,シナリオ専攻によるゼミ誌。理論・批評専攻は約 5,000 字の批評，シナリオは 15 分程度の短編
	映像表現・理論コース３年ゼミ誌 「言葉と映画のあいだに」	4 月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現･理論コース3年　理論･批評専攻,シナリオ専攻によるゼミ誌。理論・批評専攻は約 10,000 字の批評，シナリオは 15 分～ 30 分程度の短編
	映像表現・理論コース 卒業論文・制作・研究発表会	3 月中旬	学部校舎	理論･批評専攻による卒業論文，シナリオ専攻による卒業制作（シナリオ），映像専攻による卒業研究の展示・上映（無料）
	FOCUS IN（フォーカスイン）	5 ～ 6 月頃 （１週間程度）	学部校舎　他	前年度の「映画演出Ⅲ」「映画技術Ⅲ」「卒業制作」の作品上映（無料）　※詳細はホームページに掲載予定
	問合せ先　☎03-5995-8220（映画学科事務室）		映画学科公式ホームページ	http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/cinema/
美術	個展，グループ展	随時	ホームページにて 告知します	学部・大学院生の個人・グループ展
	北野教育振興会 彫刻奨学生作品展	12/ 3 ～ 14	学部校舎芸術資料館	北野教育振興会彫刻奨学生受賞者による作品展（無料）
	全国大学版画展	12/ 7 ～ 22	町田国際版画美術館	版画教育を行っている全国の大学が参加する展覧会（無料）
	東京五美術大学連合 卒業・修了制作展	2 /20 ～ 3 / 1	国立新美術館	本学部のほか，武蔵野美術大学，多摩美術大学，女子美術大学，東京造形大学が一堂に会する連合卒業制作展（無料）
	美術学科卒業制作展（卒博）	3 月中旬（予定）	学部校舎芸術資料館 その他	絵画，版画，彫刻各分野の作品展示（無料）
	問合せ先　☎03-5995-8230（美術学科事務室）		美術学科公式ホームページ	http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/finearts/
音楽	第 128 回定期演奏会	7 / 3	練馬文化センター 大ホール	学生によるオーケストラ公演。協奏曲・オペラアリア・作品発表の演奏会（無料）
	第 129 回定期演奏会	8 / 6	学部校舎音楽 小ホール	試演会（公開実技試験）より選ばれた学生の独奏・独唱・作品発表の演奏会（無料）
	第 48 回ピアノコンサート	11/22	練馬文化センター 小ホール	試演会（公開実技試験）にて選ばれたピアノコース専攻生による演奏会（無料）
	第 31 回ウィンドオーケストラ 定期演奏会	11/26	練馬文化センター 大ホール	吹奏楽定期演奏会（無料）
	第 50 回オペラ公演	12/17	練馬文化センター 小ホール	声楽コースの学生による公演（無料）
	第 130 回定期演奏会	12/19	品川区立総合区民会館 大ホール	オーケストラ定期演奏会（無料）
	第 40 回新作室内楽の会	12/24	学部校舎音楽 小ホール	「作曲・副科作曲」授業の学習・研究成果の発表（無料）
	卒業演奏会	3 /15	練馬文化センター 小ホール	作曲，声楽，ピアノ，弦管打楽各コース卒業生より選ばれた学生による演奏会（無料）
	情報音楽フェス SWITCH2020	3 /22	学部校舎音楽小ホール 他	情報音楽コースライブエレクトロニクスコンサート並びに音の展示作品発表（無料）
	問合せ先　☎03-5995-8240（音楽学科事務室）		音楽学科公式ホームページ	http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/music/

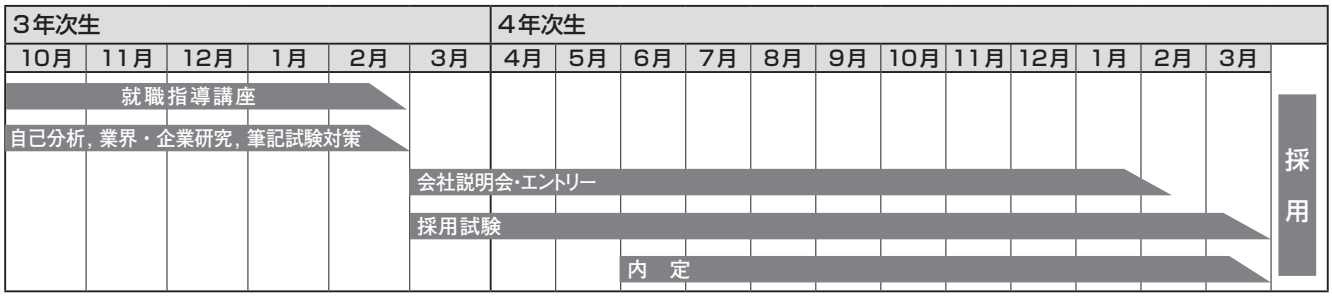
学科	名　　称	時　期	会　　場	内　　容
文芸	ゼミ雑誌	12月頃発行	学部校舎にて配布 学部祭等でも配布	ゼミでの学生の創作・評論・詩等をまとめた文集（無料）
	「雑誌研究」機関誌	12月頃発行	学部校舎にて配布	「雑誌研究」にて編集された評論集（無料）
	「ジャーナリズム実習」 「文芸創作実習」 「文芸研究実習」実習誌	1月頃発行	学部校舎にて配布	各実習授業の成果をまとめた雑誌（無料）
	「編集演習」実習誌 『江古田春秋』	1月頃発行	学部校舎にて配布	「編集演習」の実習誌として，学生が取材・執筆・編集を行った実習雑誌（無料）
	文芸学科 「優秀卒業論文・作品集」	3月発行	学部校舎にて入手可	芸術学部長賞・奨励賞受賞作を収録した，優秀卒業論文・作品集
	『江古田文学』	年3回発行	全国の書店にて 入手可能	学生やＯＢ，教員の作品を発表している文芸誌 （有料／1部750円）
	問合せ先　☎03-5995-8250（文芸学科事務室）　文芸学科公式ホームページ　http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/literature/			
演劇	総合実習Ⅱ B	6/28・29	学部校舎中ホール	3年生洋舞舞台発表
	総合実習Ⅱ A	7/11 ～ 13	学部校舎中ホール	3・4年生演劇舞台発表
	総合実習Ⅰ A－a b	8/10 ～ 12	学部校舎中ホール	2年生演劇舞台発表
	総合実習Ⅲ B	10/18・19	学部校舎中ホール	3年生洋舞舞台発表
	総合実習Ⅱ C	10/25・26	学部校舎中ホール	3年生創作舞踊（日舞）舞台発表
	総合実習Ⅰ B	11/15・16	学部校舎中ホール	2年生洋舞舞台発表
	総合実習Ⅰ C	11/23	学部校舎中ホール	2年生創作舞踊（日舞）舞台発表
	卒業制作（日舞）公演	11/30・12/ 1	学部校舎中ホール	4年生創作舞踊（日舞）舞台公演
	卒業制作（洋舞）公演	12/ 7 ・ 8	学部校舎中ホール	4年生洋舞舞台公演
	卒業制作（演劇）公演	12/20 ～ 22	学部校舎中ホール	4年生演劇舞台公演
	総合実習Ⅲ A	3/20 ～ 22	学部校舎中ホール	3年生演劇舞台発表
	問合せ先　☎03-5995-8260（演劇学科事務室）　演劇学科公式ホームページ　http://theatre.art.nihon-u.ac.jp/			
放送	卒業制作発表（朗読）	12月	学部校舎	卒業研究の朗読の発表会（無料）
	卒業制作発表と展示 (映像・音響・朗読・脚本など)	3月	学部校舎	卒業研究の映像作品の上映，音響作品と朗読の発表，脚本・アナウンス・論文の展示（無料）
	研究誌「放送と表現」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	放送学科教員の論文や学生の優秀卒業論文，卒業制作の台本，脚本等の発表の場として発刊された研究誌
	問合せ先　☎03-5995-8270（放送学科事務室）　放送学科公式ホームページ　http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/broadcast/			
デザイン	全国大学・高専 卒業設計展示会	9月初旬（予定）	未定	学生作品の出品（4年生作品）（無料）
	デザイン学科助手展	9月下旬	学部校舎 A&D ギャラリー	デザイン学科助手による作品展示（無料）
	芸術祭　作品展	11/2 ～ 4	学部校舎	学生作品の展示（無料）
	大学院修了制作展	2月中旬～下旬	学部校舎 A&D ギャラリー	大学院生の修士課程修了制作展（無料）
	卒業制作選抜展	3月中旬～下旬	学部校舎	デザイン各分野卒業制作優秀作選抜展（無料）
	問合せ先　☎03-5995-8690（デザイン学科事務室）　デザイン学科公式ホームページ　http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/design/			

入学後のキャリア形成について　～卒業後の「職」を考える～

大学入学前の皆さんが卒業後のことを考えるのは難しいですが，今では多くの大学で「職業」に対する教育に力を入れています。本学部も芸術に関する専門的な教育はもちろんのこと，就職指導委員会と就職指導課を中心に学生の就職活動に対しても全面的にバックアップしている態勢を整えています。

●キャリア形成に関するスケジュール［参考］

1年次生	2年次生	3年次生
幅広い芸術領域の体験を通して，将来の進路を見据えます。 就職指導課が実施する**キャリアガイダンスⅠ**（内容：「芸術学部に身近な業界紹介」ほか）を活用して，早い段階から「職」に「就く」意識を持ちましょう。	進路を決めるにあたっては，どんなことをすればよいのでしょうか。 就職指導課が実施する**キャリアガイダンスⅡ**（内容：「自分のキャリアの作り方」「就職活動前の大事なポイント」ほか）を活用して，自分の適性や自分が就きたい「仕事」を考えておきましょう。	4月 5月 6月 7月 8月 9月 就職指導講座　※下記一覧参照 自己分析，業界・企業研究，筆記試験対策 インターンシップ

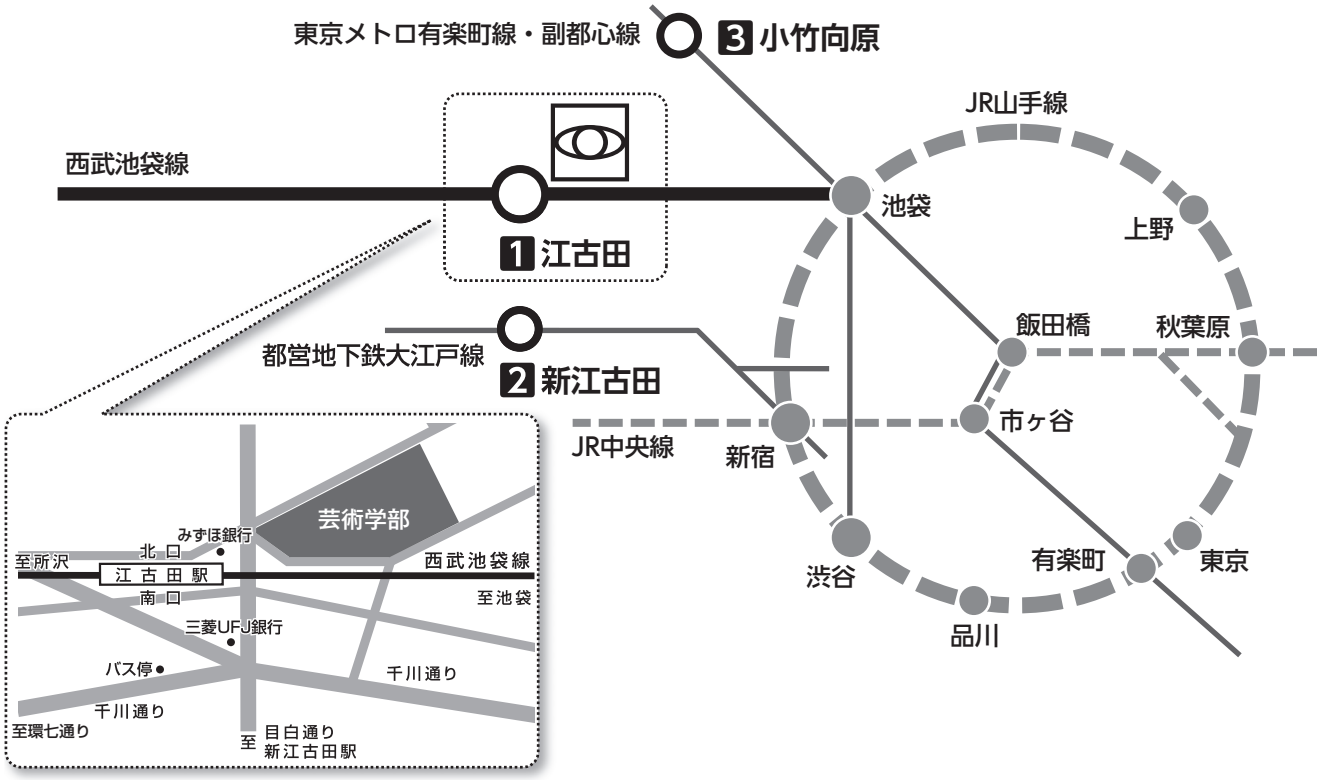


●就職指導講座（3年次生対象）の一部［参考］

講　座　名	内　容
就職活動入門講座Ⅰ	就職活動のスケジュールや事前に準備しておくべきことなどを説明するとともに，併せて卒業生の主な就職先や業界を紹介する
就職活動入門講座Ⅱ	芸術学部周辺以外の多種多様な業界を幅広く紹介
インターンシップ講座Ⅰ【概要編】	多種多様化するインターンシップの全体像を整理して具体的に解説
インターンシップ講座Ⅱ【選考編】	インターンシップに参加するために必要な書類選考や面接等の対策方法を具体的に解説
筆記試験対策講座Ⅰ【一般常識編】	出題範囲が非常に広い一般常識テストの出題傾向と対策を解説
筆記試験対策講座Ⅱ【SPI編】	適性検査の代表格であるSPI３を中心に適性検査の出題傾向と対策を解説
ポートフォリオの作り方講座	クリエイティブな職種希望者必須のポートフォリオ（作品集）の作成方法等のポイントを具体的に解説
ビジネスコミュニケーション基礎講座	挨拶・会話・敬語の使い方など，社会人とスムーズに接するためのノウハウを学び，相手に好印象を与えるための話の聞き方・伝え方のポイントを学ぶ
コミュニケーション力UP! 講座	
マスコミ業界対策講座Ⅰ	本学部の学生が多く就職を希望するマスコミ業界のうち，音楽・出版・放送等の分野に焦点をあて，各回ごとにゲストを招いてその業界の実情や採用動向などを解説
マスコミ業界対策講座Ⅱ	
マスコミ業界対策講座Ⅲ	
履歴書・エントリーシートの書き方講座	就職活動で最も基本的かつ重要な書類である履歴書・エントリーシートの書き方を具体的に解説
面接基礎講座	面接を受ける際の必要な知識を学んだ後，さらに模擬面接を受けて現在の自分の準備状況を把握することで，実力アップを図る
面接直前対策講座【模擬面接】	
就職活動におけるマナー・身だしなみ講座	就職活動に効果的な服装や身だしなみ，マナーの基本を徹底的に解説
女子学生のためのメイク講座	就職活動に効果的なメイク・ヘアメイクの方法を実演しながら解説

上記以外にも，企業研究講座，自己分析方法講座，筆記試験対策勉強会，就職対策模擬テスト，教員採用試験対策講座など各種就職に関する講座を実施しています。

校舎案内



アクセス

1 江古田駅（西武池袋線）
池袋駅から各駅停車で約６分，北口から徒歩約１分

2 新江古田駅（都営地下鉄大江戸線）
新宿駅から約 15 分，A2 出口から徒歩約 10 分

3 小竹向原駅（東京メトロ有楽町線・副都心線）
池袋駅から約６分，２番出口から徒歩約 15 分

キャンパス見学について

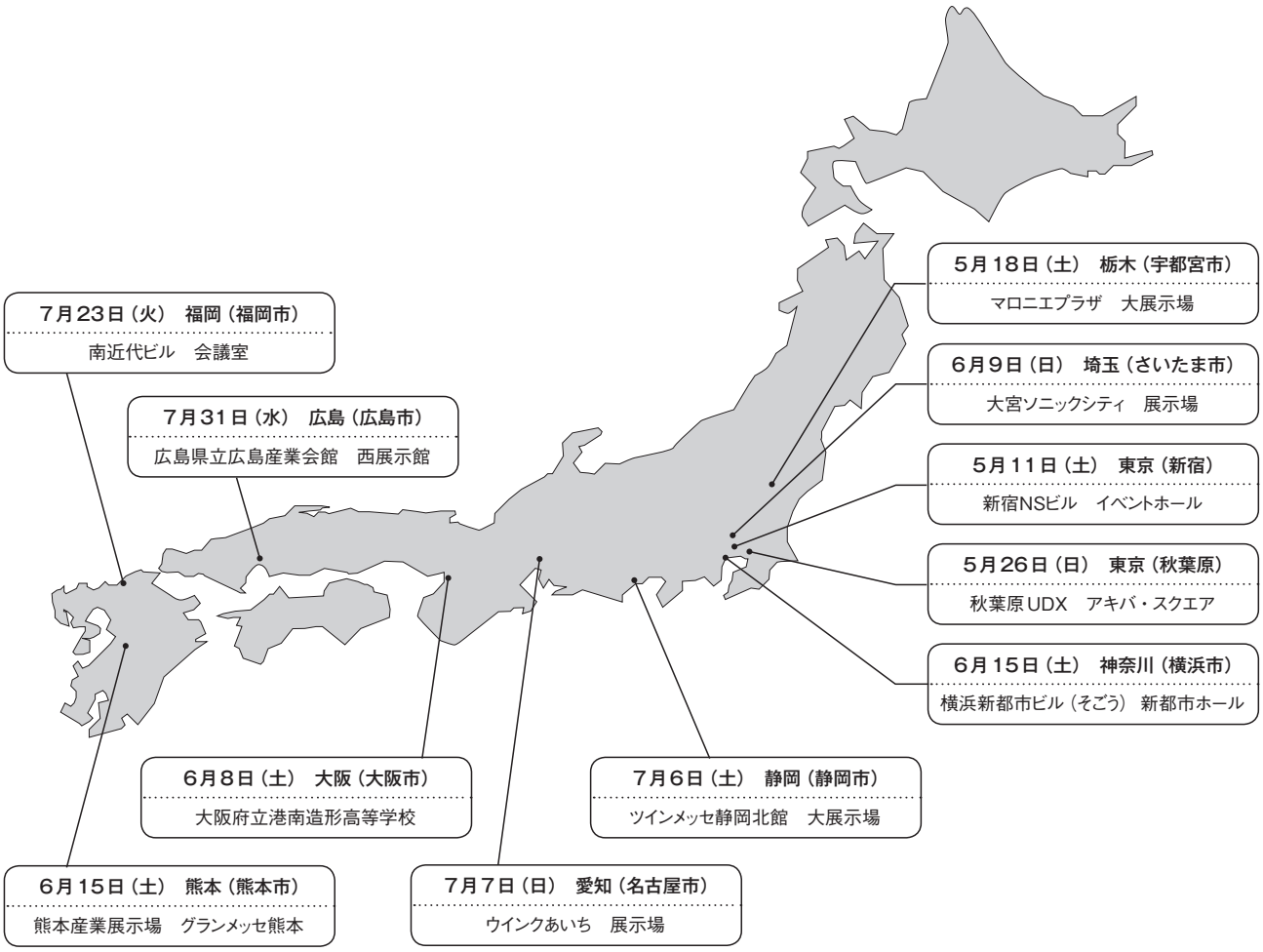
芸術学部では，以下の日時でキャンパス見学を行っています。見学には事前予約が必要となりますので，ご希望の方は本学部入試係までご連絡ください。
なお，修学旅行等の学校行事による見学希望については，学校単位での受付とさせていただきます。

1　**見学可能日時**　月曜日～金曜日／９：00～16：00，土曜日／９：00～12：00
※夏期期間（８月～９月中旬）については，月曜日～金曜日の10：00～15：00となります
※日曜日・祝祭日及び学部事務休止日は，見学を休止しております
※芸術学部の諸行事や授業等の事情により，上記日時であっても見学いただけない場合，または見学内容を制限させていただく場合がございますのでご了承ください

2　**見学の内容**
学部紹介ビデオの視聴，学科担当者による学科施設案内及び説明（見学内容は学科により異なります）
※上記の他に映画学科（演技コース）及び演劇学科（演技・舞踊［日舞・洋舞］の各コース）の実技試験参考ビデオの視聴も可能です。視聴希望の方は，見学予約の際にお申し出ください。

外部進学相談会について

芸術学部は，下記の芸術系進学相談会に参加する予定です。



※日程・会場は2019年４月現在の予定であり，追加・変更される場合があります。また，その他，資料参加のみの会場もあります。詳細については，本学部ホームページをご覧いただくか，本学部入試係までお問い合わせください
※上記と別に，日本大学が実施・参加する進学相談会等があります。詳しくは日本大学ホームページをご覧ください

熱気・やる気・元気

OPEN CAMPUS

6・23 予約不要・入退場自由

[日]10：00〜16：00

学部全体説明会／模擬授業／ワークショップ／
個別進学相談コーナー 他

美術学科・デザイン学科では作品を持参した方にアドバイスいたします

入試相談会

11・3[日／祝]・4[月]

各日10：00〜16：00 予約不要・入退場自由

個別進学相談コーナー／ビデオ上映コーナー 他

美術学科・デザイン学科では作品を持参した方にアドバイスいたします
11月2〜4日に芸術学部祭を実施していますので、学生主催のイベントやキャンパスの雰囲気もご覧いただけます

入試博覧会

2020年 3・22[日]

13：00〜17：00 予約不要・入退場自由

個別進学相談コーナー／ビデオ上映コーナー 他

美術学科・デザイン学科では作品を持参した方にアドバイスいたします
当日は日藝の卒博を実施していますので、学生の卒業作品やキャンパスの雰囲気もご覧いただけます

※各企画の詳細については，本学部ホームページをご覧ください